

第五十六回 貴族院議事速記録第三十二號

昭和四年三月二十三日(土曜日)	午前十時二十五分開議
議事日程 第三十二號 昭和四年三月二十三日	午前十時開議
第一 大正十四年法律第五十一號中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會
第二 國際汽船株式會社ノ整理ニ關スル法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會
第三 昭和二年法律第十五號中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會
第四 増稅法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會
第五 借入金整理ニ關スル法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會
第六 賠償金特別會計法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會
第七 電話事業公債法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會
第八 會計検査院法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會
第九 同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因 リ損害ヲ被リタル帝國臣民ノ追加救恤ニ關スル法 律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會
第十 製鐵所特別會計ニ於テ大藏省預金部ノ横濱正金銀 行ニ對スル債權ノ讓渡ヲ受クルコトニ關スル法律案 (政府提出)	第一讀會
第十一 登錄稅法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會
第十二 關稅定率法中改正法律案(政第六十六號) (政府提出) 衆議院送付	第一讀會
第十三 大正九年法律第五十三號中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會
第十四 特許法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會

第十五 實用新案法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會ノ續(委員長)
第十六 意匠法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會ノ續(委員長)
第十七 商標法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會ノ續(委員長)
第十八 酒造組合法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會ノ續(委員長)
第十九 陪審法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會ノ續(委員長)
第二十 船舶職員法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會ノ續(委員長)
第二十一 無線電信法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會ノ續(委員長)
第二十二 船舶職員法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會ノ續(委員長)
第二十三 鐵道營業法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會ノ續(委員長)
第二十四 關稅定率法中改正法律案(政第八十五號) (政府提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第二十五 大正十三年法律第二十四號中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會ノ續(委員長)
第二十六 製鹽地整理ニ關スル法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會ノ續(委員長)
第二十七 救護法案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會ノ續(委員長)
第二十八 造幣局特別會計法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會ノ續(委員長)
第二十九 日本興業銀行法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付	第一讀會ノ續(委員長)
第三十 昭和二年度歲入歲出總決算、昭和二年度 各特別會計歲入歲出決算報告	會 議(委員長)
第三十一 大正十五年度國有財產增減總計算書報告	會 議(委員長)
第三十二 昭和二年三月三十一日現在國有財產現在額	會 議(委員長)
第三十三 總計算書報告	會 議(委員長)
第三十四 衆議院議員選舉法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第三十五 議院法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第三十六 出版法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會

第三十七 新聞紙法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第三十八 権太ニ衆議院議員選舉法施行ニ關スル法律案 (衆議院提出)	第一讀會
第三十九 刑法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第四十 違警罪即決例中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第四十一 行政執行法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第四十二 刑ノ執行又ハ勾留ニ因ル補償ニ關スル法律案 (衆議院提出)	第一讀會
第四十三 家祿賞典祿給與未濟ニ關スル法律案(衆議院 提出)	第一讀會
第四十四 耕地整理法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第四十五 農會法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第四十六 質屋取締法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第四十七 古物商取締法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第四十八 牧野法案(衆議院提出)	第一讀會
第四十九 議院建築速成ニ關スル建議案(公爵近衛文庫 君外七名發議)	第一讀會
第五十 外人來遊ニ關スル建議案(公爵一條實孝君外 五名發議)	第一讀會
○議長(公爵徳川家達君)　是ヨリ書記官ヲシテ諸般ノ報告ヲ致セマス 〔小林書記官朗讀〕	第一讀會
去ル二十日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可 決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ	第一讀會
山口縣營軌道及筑後軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法 律案	第一讀會
大正十四年法律第二十九號中改正法律案	第一讀會
蠶絲業法中改正法律案	第一讀會
帝國鐵道會計法中改正法律案	第一讀會
絲價安定融資補償法案	第一讀會
臺灣事業公債法中改正法律案	第一讀會

健康保険特別會計法中改正法律案	工場法中改正法律案
健康保険法中改正法律案	同日本院ニ於テ可決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ
同日本院ニ於テ可決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ	取引所法中改正法律案
信託業法中改正法律案	同日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ
同日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ	外人來遊ニ關スル建議案(發議者公爵一條實孝君外四名贊成者公爵近衛文麿君外三十八名)
關稅定率法中改正法律案(政第六十六號)可決報告書	同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
大正九年法律第五十三號中改正法律案可決報告書	大正十五年度國有財產增減總計算書審査報告書
請願文書表第九回報告書	昭和二年三月三十一日現在國有財產現在額總計算書審査報告書
昭和二年國有財產增減總計算書審査報告書	同日救護法案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ
昭和二年國有財產增減總計算書審査報告書	委員長　侯爵　佐佐木行忠君 副委員長　阪本鉢之助君
同日本院ニ於テ探擇スルコトヲ議決シタル東亞保民會設立ニ關スル請願外 十八件ノ請願ハ各意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ	昨二十二日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
昭和四年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)	昭和四年度歲入歲出豫算追加案(特第二號)
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)	昭和四年度歲入歲出豫算追加案(特第三號)
昭和四年度歲入歲出豫算追加案(特第二號)	昭和四年度歲入歲出豫算追加案(特第三號)
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)	大正十四年法律第五十一號中改正法律案

國際汽船株式會社ノ整理ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

衆議院議員選舉法中改正法律案

議院法中改正法律案

出版法中改正法律案

新聞紙法中改正法律案

権太ニ衆議院議員選舉法施行ニ關スル法律案

刑法中改正法律案

違警罪即決例中改正法律案

行政執行法中改正法律案

刑ノ執行又ハ勾留ニ因ル補償ニ關スル法律案

家祿賞典祿給與未濟ニ關スル法律案

耕地整理法中改正法律案

農會法中改正法律案

質屋取締法中改正法律案

古物商取締法中改正法律案

牧野法案

同日外人來遊ニ關スル建議案提出者ニ於テ該案ヲ撤回シ同日發議者一名、

賛成者十六名ヲ增加シテ更ニ同案ヲ提出ヒリ

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

特許法中改正法律案可決報告書

實用新案法中改正法律案可決報告書

意匠法中改正法律案可決報告書

商標法中改正法律案可決報告書

酒造組合法中改正法律案可決報告書

陪審法中改正法律案可決報告書

船舶職員法中改正法律案可決報告書

無線電信法中改正法律案可決報告書

鐵道營業法中改正法律案修正報告書

關稅定率法中改正法律案(政第八十五號)可決報告書

大正十三年法律第二十四號中改正法律案可決報告書

製鹽地整理ニ關スル法律案可決報告書

救護法案可決報告書

造船局特別會計法中改正法律案可決報告書

日本興業銀行法中改正法律案可決報告書

請願委員會特別報告第五號

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左如シ

陪審法中改正法律案特別委員會

委員長 大島健一君

副委員長 富谷鉉太郎君

船舶職員法中改正法律案特別委員會

委員長 若林賛藏君

副委員長 澤山精八郎君

昭和二年度第一豫備金支出ノ件外九件(承諾ヲ求ムル件)特別委員會

委員長 伯爵松平賴壽君

副委員長 和田彦次郎君

○議長(公爵德川家達君)是ヨリ會議ヲ開キマス、昨二十二日斯波男爵病氣

ニ付キ鐵道敷設法中改正法律案外四件ノ特別委員及關稅定率法中改正法律案

外三件ノ特別委員ノ辭任ノ申出ガゴザイマシタ、總テ許可ヲ致スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君)御異議ナイト認メマス、補闕トシテ鐵道敷設法中改正法律案外四件ノ特別委員ニ福原男爵ヲ、關稅定率法中改正法律案外三件

ノ特別委員ニ今園男爵ヲ指名イタシマス

○議長(公爵德川家達君)日程第一、大正十四年法律第五十一號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

大正十四年法律第五十一號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月二十二日

衆議院議長 川原茂輔

貴族院議長公爵德川家達殿

大正十四年法律第五十一號中改正法律案

大正十四年法律第五十一號中左ノ通改正ス

別表甲號輸入稅表番號第二百三十號ノ内ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

二七二 編織絲

同第二百九十六號ノ内ノ項中「苧麻繩」ヲ「苧麻線、苧麻繩、黃麻線及黃麻繩」ニ改ム

同第三百二十六號ノ内ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

三三九ノ内ガニ一囊（關東州ノ生産ニ係ルガニ一布ヲ原料トシタルモノニシテ長九十五センチメートル、幅六十センチメートルヲ超エタルモノ）

同第四百三十六號ノ内ノ項ヲ左ノ如ク改ム

四三六 煉瓦（セメント製ノモノヲ除ク）

四三七 瓦（粘土製ノモノ）

同第四百七十六號ノ内ノ項中「線」ヲ「紐、帶及線」ニ改メ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

五七〇ノ内ジグラス

同第六百十七號ノ内ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

六三五ノ内安全燈（ホヤ）

別表乙號輸入稅表番號第二百二十號ノ内ノ項ノ前ニ左ノ一項ヲ加フ

— 五二ノ内 — 牛肉（生鮮ナルモノ） — 每百斤 — 一・〇〇

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

大正十四年法律第五十一號ハ關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入稅免除等ニ關スル法律ナリ

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（三土忠造君）只今議題トナリマシタル法律案ノ御説明ヲ申上ダ
マス、大正十四年法律第五十一號ハ關東州ノ生産ニ係ル生活必需品又ハ工業
原料品ニ對シ移入稅ヲ免除又ハ輕減シテ、關東州ニ於ケル產業開發ニ利スル
ト共ニ、本邦物資ノ補給ヲ圓滑ナラシムル趣旨ヲ以テ制定サレタモノデアリ
マス、依テ更ニ編織絲外八品ヲ其指定品目中ニ追加イタシマシテ、是等物品
ノ移入稅ヲ免除又ハ輕減スルヲ適當ト認メマシタノデ、茲ニ本改正法律案ヲ
提出スル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イ
タシマス

○議長（公爵德川家達君）本案ハ關稅定率法中改正法律案外三件ノ特別委員
ニ付託イタシマス

○議長（公爵德川家達君）日程第二、國際汽船株式會社ノ整理ニ關スル法律
案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

國際汽船株式會社ノ整理ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年三月二十二日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長川原茂輔

國際汽船株式會社ノ整理ニ關スル法律案

第一條 大藏省預金部ガ國際汽船株式會社ニ融通スル爲引受ケタル興業債
券ニ關シ日本興業銀行ニ對シテ有スル左ノ各號ノ債權ハ一般會計ニ於テ
之ガ讓渡ヲ受クルコトヲ得

一 第百一回興業債券額面二千九百二十萬圓

二 前號ノ興業債券ニ對スル昭和四年三月三十一日ニ於ケル經過利息百
六十萬千八百圓四錢

第二條 前條ノ場合ニ於テ一般會計ハ同條ノ債權額ニ相當スル金額ヲ額面
金額ニ依リ三分利附國債證券ヲ以テ大藏省預金部ニ交付ス但シ國債證券

ノ額面金額ニ滿タザル端數ハ現金ヲ以テ之ヲ交付ス

第三條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ
發行スルコトヲ得

第四條 國際汽船株式會社ガ資本ノ増加ヲ爲ス場合ニ於テハ政府ハ第一條

ノ規定ニ依リ一般會計ガ大藏省預金部ヨリ讓渡ヲ受ケタル日本興業銀行ニ對スル債權及其ノ利息債權ヲ債權額ヲ以テ拂込ニ充テ國際汽船株式會社ノ株式ヲ引受クルコトヲ得

第五條 前條ノ規定ニ依リ政府ガ國際汽船株式會社ノ株式ヲ引受ケタルトキハ政府ハ國際汽船株式會社ノ業務ヲ監督ス

國際汽船株式會社ハ定款ノ變更及毎營業年度ノ決算ニ付主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

主務大臣ハ國際汽船株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第六條 國際汽船株式會社ノ決議又ハ取締役若ハ監查役ノ行爲法令、定款又ハ主務大臣ノ命令ニ違反シタルトキハ主務大臣ハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ取締役若ハ監查役ノ改選ヲ命ズルコトヲ得

附 則

本法ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣三王忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三王忠造君) 國際汽船株式會社ノ整理ニ關スル法律案ヲ御説明

ヲ致シマス、國際汽船株式會社ハ其創立當初ニ於キマシテハ營業狀態ガ相當良好デゴザイマシタガ、大正九年下半期頃ヨリ海運界不況ノ爲ニ經營次第ニ困難トナリマシテ、昭和二年末ニ於キマシテハ、繰越損失千四百餘万圓、債務總額七千五百餘万圓ニ上ボリマシタ、又會社ノ資產ハ船價低落ノ爲ニ著シク減損ヲ來シマシタ、同年ニ於テハ借入金ノ利拂サヘモ完全ニ履行ガ出來ヌ

狀態ニ立至ツタノデアリマス、而モ昭和三年度ヨリハ社債元金ノ外多額ノ借入金ノ年賦償還ガ開始セラレタノデ、會社ノ資金狀態ハ一層窮迫ヲ告ゲ、若シ此儘デ推移イタシマスルニ於キマシテハ、會社ハ結局破綻ノ外ナキ窮境ニ陥ツタノデアリマス、茲ニ於テ同會社ハ其債務ヲ整理シ、經營方法ノ刷新ヲ圖リ、第一以テ更生ノ途ヲ講ズル爲、根本的整理ヲ企テ、之ト同時ニ一時債權者タル大藏省預金部及銀行ニ對シ、昭和二年十二月以降其借入金ノ元利支拂ノ猶豫ヲ請フテ參ツタノデアリマス、同會社ハ大正八年創立以來幾多ノ難關ヲ凌ギマシテ、其船舶ヲ世界ノ各地ニ運航セシメ、我ガ海運業ノ發展並ニ國際貸借ノ改善ニ貢獻スル所ガ頗ル多カッタノデアリマス、然ルニ今同社ニ於キマシテ、其

債務辨済ノ爲ニ約五十万噸ニ上ボル所有船舶ヲ一時ニ賣却スルガ如キコトガアリマシタナラバ、船價及船腹ノ需給ニ激變ヲ來シ、一般海運界ニ甚シキ悪影響ヲ及ボスノミナラズ、既往ニ於ケル官民ノ努力ヲ全然水泡ニ歸セシムルモノデアリマスガ故ニ、斯カルコトハ極力之ヲ避ケナケレバナラスト考ヘル

ノデアリマス、故ニ政府ニ於キマシテモ、會社ノ整理ニ相當援助ヲ與ヘ、其目的ヲ達成セシムルノ必要ガアルト考ヘルノデアリマシテ、預金部貸付金ノ元利支拂猶豫ヲ認メタノデアリマス、而シテ此根本的整理ト致シマシテハ、

政府及銀行ノ貸付金ハ之ヲ株式ニ引直シ、會社ヲシテ支拂ノ壓迫ヨリ免レシメ、且ツ其資本金ハ相當ナル程度ノ減資ヲ致シマス外ナイノデアリマス、然ルニ政府貸下金ハ當初主トシテ國策遂行ノ必要ニ出デタモノデアリマスカラ、今回整理ニ基ク犠牲ノ全部ヲ預金部ニ負擔セシメルコトハ預金部ノ本質ニ照ラシ穩當デナイト考ヘマスガ故ニ、適當ナル條件ヲ以テ該貸下金ニ關スル債權ヲ預金部ヨリ一般會計ニ讓渡セシメ、一般會計ノ責任ニ於テ整理ヲ遂行セシメルコトヲ適當ト信ズルノデアリマス、右ノ如キ理由ニ依リマシテ、本案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマスカラ、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

〔阪本鈴之助君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 阪本君ハドウ云フ御用デゴザイマスカ

○阪本鈴之助君 通告ガゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 通告ガゴザイマス

○阪本鈴之助君 ソレデハ濟ミマシテカラ……

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス、是ヨリ通告ニ依リマシテ深尾男爵ニ質疑ノ發言ヲ許シマス

〔男爵深尾隆太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵深尾隆太郎君 會期切迫ノ折柄本院ニ於キマスル時間ハ彌ガ上ニ貴重ナ場合デアリマスルカラ、極ク簡單ニ御質問ヲ申上ダタイト思ヒマス、第一ハ遞信大臣ハ我國海運ノ狀勢ヲ如何ニ御覽ニナルカト云フコトデアリマス、四面環海ノ我國ニ於キマシテハ海運業ト云フモノハ最モ重要ナル產業ノ一つデアリマス、海運ノ消長ハ國運ノ進展ニ大關係ヲ持テ居ルト云フコトハ申テ、其船舶ヲ世界ノ各地ニ運航セシメ、我ガ海運業ノ發展並ニ國際貸借ノ改善ニ貢獻スル所ガ頗ル多カッタノデアリマス、然ルニ今同社ニ於キマシテ、其

ト相策應シテ以テ我國ノ海運發展ヲ計畫サレナケレバナラヌト云フコトハ申上グマス迄モナイコトト思ヒマス、先ニ政府ハ頓稅改正法ト云フモノヲ御提出ニナリマシタ、是ハ頓稅增徵デアリマス、御承知ノ通り是ハ海外貿易船ニ課稅ヲセラレルノデアリマス、日本ノ船ガ海外ヘ出カケマシテ、英吉利ナリ、獨逸ナリ、外國船ト惡戰苦鬪ヲシテ我國ヘ歸ツテ參リマスト、御褒美ニ非ズシテオ炎ヲ据エラレルト云フ案デアリマス、今日「モーター」船「ディーゼル」機關船、是ノ有利ト云フコトガ證據立テラレマシテカラ、諸外國ニ於テハ「モーター」船ノ新造ガ盛ニ行ハレテ居リマス、ソレ故ニ比較的古船ヲ持ツテ……不經濟ナ船ヲ持ツテ居ル日本ノ海運ハ一ツノ危機ヲ孕ンデ居ルト思ツテ居ル際ニ、斯様ナ頓稅ノ増徵ヲセラレルト云フコトハ、海運發展ノ上ニ好マシカラスコト、私ハ思ツテ居リマシタノデアリマス、如何ナル御所見ニ依ツテ遞信大臣ハ之ニ御同意アラセラレタカト思ツテ委員會ノ模様ヲ拜聽シテ居リマシタ所、金額ハ誠ニ僅カデアルカラ大シタ壓迫ニハナラヌ、又海運界ハ段々好轉シツ、アルト云フ政府當局ノ御答辯デアリマシテ、成程斯様ナ御考デアルカラ、此案モ御提出ニナッタコト、思ツテ居リマシタ所、今回國際汽船ノ救濟案ガ出マシタ、若シ果シテ其際ニ御述ベニナッタヤウニ海運界ハ好轉シツ、アル、又船主ガ相當ナル利潤ヲ得テ居ルモノト御考ニナリマスレバ、此國際汽船モ其儘御置キニナッテモ三分位ノ利拂ハ出來ナイコトハナイダラウト思ヒウニ御考ニナリ、又後ニ惡イヤウニ御考ニナッタカノ如キ感ジガアリマス、此點ハ現内閣ノ海運政策ノ基調トナルコト、思ヒマスノミナラズ、本案審査ニ對シテ重要ナル點デアリマスカラ、第一ニ此點ニ對シテ遞信大臣ニ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、第二ハ國際汽船ノミラ救濟スル理由ハ何處ニアリマスカ、今、日本ノ社外船ノ多クハ國際汽船同様ニ隨分銀行カラ借金ヲシテ困ツテ居ルノモ澤山アル、同ジャウナ立場ニ置カレテ居ル船モ澤山アリマスガ、其中國際汽船ノミラ救濟スルト云フ理由ヲ御示シヲ願ヒマス、第三ハ大藏大臣ニ御尋ヲスルノデゴザイマスガ、株式ニ變形ヲナサル必要ガ何處ニアリマスカト云フコトデアリマス、成程目下ノ狀態ニアリマシテハ、三分ノ利拂モ隨分困難デアラウト思ヒマス、思ヒマスルカラ是ハ無利息デ長期ノ年賦ニデモシテ御置キニナレバ、十分返済ガ出來テ行クモノデアラウト思ハレルノ

デアリマス、成ルベクハ政府ハ債權者ノ位置ニ立タレテ、株主トナッテ事業ヲヤル中ヘ御這入リニナルト云フコトハ、少シ言葉ハ穢ウゴザイマスガ、所謂泥田ニ足ヲ突込ムト云フヤウナ結果ヲ來シハシナイカト云フコトヲ憂フルノデアリマス、之ガ株主ニナラナケレバナラヌト云フ理由ヲ御示シヲ願ヒタク、第四ハ假ニ株主ニナルトシタラ何處マデ踏ン込ンデ行ク御積リデアルカ、經營者ノ側カラ見マシマスレバ、何デモカンデモ大キクシタイト云フコトハ、免レナイコトダト思ヒマスルカラ、假ニ今度増資ヲスル計畫ガ出來タル時ニ、増資ノ新株ヲ御引受ケニナルヤウナ御考デモアリマスルカ、若クハ優先株ヲ發行スルト云フ方法ガモウ一ツアリマシテ、今マデノ……今度ノ新シイ株主、即チ政府ト三銀行ノ株券ハ只見タヤウニナッテ居ルノデアリマスカラ、優先株デ募集シテ擴張シテ行カウト云フ案ヲ立テレバ、相當優先株ノ應用ハアラウカト思ヒマス、サウスレバ政府ノ持株ハ愈、只見タヤウニナリマスガ、其優先株ヲ募集ナント云フコトガアッタラ御許シニナルカドウカ、モウ一ツノ方法ハ益、社債ヲ新タニ募ツテ擴張シテ行ク方法デアリマス、是モ今度ノ案ニ依リマシテ社債ガ全部無クナリ皆株券ニ變リマスルカラ、新シク社債ヲ募ルト云フコトモ強チ難事デハナイト思ヒマスカラ、經營者トシテ、サウ云フ風ニ進ムカモ知レマセヌ、此何レノ場合ヲ見マシテモ、株券ノ値段ガ非常ニ下落スル虞ガアル、若クハ新シイ資本ヲ注ギ込ンデ行カナケレバナラヌト此整理デ今ダケノ株主ニナッテ、ソレデモウ打切ルト云フ御考デアリマスル云フヤウナ立場ニナルト思ヒマス、ソコデソレガ前申シマスル株主ニナルトコトシマスルト、多數ノ社外船ガ又同ジャウナ御考デモナケレバナラヌカト思フノデアリカ、又ドコ～迄モ進ンデ行カウト云フ御考デアリマスカ、之ヲ進ンデ行ク結局船舶國有トマデナサルヤウナ御考デモナケレバナラヌカト思ヒマス、此點ヲ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス

〔國務大臣久原房之助演壇ニ登ル〕

○國務大臣(久原房之助君) 海運界ニ對シマスル所見ヲ御尋デゴザイマスルガ、前ニ申シマシタノハ政府委員共ガ申シマシタカ、私能ク存ジマセヌカ、從テ今私ガ申上ゲマスルコトガソレト符合シマスカドウカハ存ジマセヌガ、要スルニ多少宛好轉シツ、アルト云フコトハ認メ得ルノデアラウカトハ思ヒマスルガ、併シ尙ホ今不況ノ區域ヲ脫シテ居ナイ、所謂尙ホ不況ノ狀態ニア

ルト云フコトハ、是モ間違ナイコトデアラウト思フ、唯ソレガ幾分カズ、好轉シツ、アルト云フ状態デハナイカト私ハ見テ居ル次第ゴザイマス、今御尋ノ頓稅増徵ノコトデゴザイマスルガ、サウ云フ不況ノ時デアリマスルカラシテ、無論是ハ望マシイコトデナイコトハ言フヲ要サナイノデアリマス、併シ一方ニ非常ニ必要ガアリマシテ、即チ御承知ノアノ航路標識ノ整備ト云フ非常ナ必要ニ迫ラレテ居リマスル項目ガアリマスルガ爲ニ、之ニ應ジマスルノニハ止ムヲ得ズ頓稅ノ増徵ヲ目論マザルヲ得ヌ、斯様ニ思フ次第デ、而モ是ハ今男爵ノ御話ノ通リニ瑣細ノコトデモアリマスルシ、堪ヘラレヌ程度ノ問題デモナイ、一面ニハ航路標識ハ、御承知ノ通リニ年々海難ガ中多ウゴザイマシテ、之ニ對シマスル處置トシマシテ、一刻モ捨テ置ケヌコトデアリマスルガ爲ニ、即チ大イナル必要ノ爲ニ好マシクナイコトデハアリマスルガ堪ヘ得ラレル程度ニ於テ頓稅ノ増徵ヲシナケレバナルマイ、斯様ニ考ヘマシタ次第デ、必シモ海運界ガ非常ニ現在ガ樂境ニアルモノト見タ次第デハナインデゴザイマス、已ムヲ得ズ執ッタ處置デアルノデアリマス、第二ノ御質問ハ單リ國際汽船ヲ救濟スル必要ガナイデハナイカ、斯様ナヤウナ御尋ト拜聽シマシタガ、是ハ先刻大藏大臣モ説明セラレマシタガ如クニ、約五十万頓カラノ船ヲ持ッテ經營イタシテ居ル國際汽船デアルノデアリマス、即チ少々ナ船デナイノデゴザイマスノデ、組織的ニ今經營サレテ居リマス、即チ十年カラノ年月ヲ經テ漸ク其順ガ立チマシテ、組織的ニ經營サレテ居リマスル狀況デアルコトハ、御承知ノ通リデゴザイマス、其概要ヲ申シマスレバ、最近ノ收入ハ確カ二千二百万圓程ノ年收ヲ運貨デ舉ゲテ居リマスルノニ、其大部分、即チ二千二百万圓ノ中二千万圓程ハ海外デ得テ居ル、僅カ二百万圓程ダケガ近海ノ運貨デ、アトハ皆海外デ收メテ居ルヤウナ狀態デアリマス、即チ十年間苦心ヲシテ航權ヲ擴張シ維持シ來タ結果トシテ、左様ニ國際的ニ航行ヲ持續シテ收入ヲ得テ居ル會社デアルノデアリマス、是ガ一朝ニシテ其組織ヲ毀サレバラニナリマシタ場合ハ、其航權ノ維持ノ出來ヌコトハ申ス迄モナク、今迄得テ居リマスル海外カラノ二千万圓程ノ收入ハ直ニ毀サレテシマフ、即チ其組織ノ儘ニ引受手ガナイ限リハ、其持續ハ出來ナイコトデゴザイマス、即チ迄得テ居リマシタル國際的ノ收入ヲナクスルノミナラズ、其船ガ皆日本へ歸ツテ參リマスレバ、日本ノ近海ノ航海ノ……航行營業ニ非常ナル「ショック」ヲ與ヘ、非常ナル混亂ヲ來タス、即チ二重ニ損害ヲ來タス次第デ、之ヲ捨置キ

マスルコトハ何レノ點カラ見テモ不利益デアル、誰カ其航權ヲ害セズ、其收入ヲ傷ツケズニ引受手ガアリマスルナラバ、即チ銀行處分ニ委シマシテモサウ云フ結果ガ得ラレマスナラバ、一向差支ヘナイコトデアリマスルケレドモ、織ヲ保存シテ整理ヲスルト云フコトヨリ外ニナイ譯デアリマス、茲ニ特別ナル苦心ヲ要シ、特別ノ方法ガ編ミ出サレマシタル所以デアリマスル次第デゴザイマスル、ドウゾ御了承ヲ願ヒマス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君)深尾男爵ノ第一ノ質問ハ何故ニ株式ヲ引受ケルノカ、預金部ノ債權ヲ回収困難ナラバ、寧ロ利息据置キニシタ方ガ宜クハナイカ、斯ウ云フ御質問デアリマシタガ、今回ノ國際汽船會社ノ整理ト云フモノハ、債權者タル預金部並ニ興業銀行、第一銀行、十五銀行ノ、主ナル債權者ガ協定シタル整理デアリマシテ、此會社ハ多額ノ債務ヲ持ッテ居ラナケレバ、相當ニ成立ツテ行クノデアリマスルガ、如何セン非常ニ多額ノ債務ヲ帶ビテ居リマスルガ爲ニ、此債權ヲ取立テラレマスルト云フト、只今遞信大臣カラ御説明イタシマシタリマス、破產イタシマスルト云フト、只今遞信大臣カラ御説明イタシマシタリマス、然ラバ預金部ガ此方法ニ依ッテ株式ヲ持ッタラドウカト云フコトハ大體カラ申シマスルト云フト、國策上カラ出タモノデアリマシテ、云フコトハ、適當デナイト考ヘルノデアリマス、即チ此國際汽船ノ救濟ト云ウ、ソコデ預金部ト致シマシテハ、斯様ナ資金ヲ無利息デ以テ長ク据置クトコトハ、御承知ノ通リデゴザイマス、即チ此國際汽船ノ救濟ト云フコトハ大體カラ申シマスルト云フト、國策上カラ出タモノデアリマシテ、國策遂行ノ爲ニ預金部ガ犠牲ヲ拂フト云フコトハ、是レ以上ハ私共ハ適當デナイト考ヘマス、然ラバ預金部ガ此方法ニ依ッテ株式ヲ持ッタラドウカト云フ質問モ……考ヘモ起ルノデアリマスルケレドモ、預金部ハ勅令ニ依リマシテニ已ムヲ得ズ一般會計ガ肩替リ致シマシテ、サウシテ株式ニ致シ、他ノ債權者タル三大銀行モ矢張リ同様ナ株式ヲ持ット云フコトニ致スノデアリマシテ、此方法ガ一番此汽船會社ノ整理ニ適當デアル、斯ウ考ヘタ次第デアリマス、次ニ第二ノ御質問ト致シマシテ一般會計ガ株式ヲ持ッテ居ルト云フコト、將來増資等ノ場合ニ於テハドウスルカト云フ御話デアリマスガ、今回ノ整理ス、次ニ第二ノ御質問ト致シマシテ一般會計ガ株式ヲ持ッテ居ルト云フコト、

シ幸ニ此整理案ガ目的通り遂行サレマシテ、會社ガ堅實ナル基礎ノ下ニ將來増資ヲシ、或ハ社債ヲ發行スルト云フ風ナコトニナリマスト云フト、最早政府ト致シマシテハ之ニ對シマシテ手ヲ出ス必要ハナイノデアリマスカラ、左様ナ場合ニハ株券ヲ處分イタシマシテ、増資ニ應ジ若クハ會社ノ經營ニ深ク立入ル考へハ持ツテ居ラヌノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵深尾隆太郎君 只今御答辯ヲ承リマシテ了承イタシマシタコトモアリマスシ、又マダ御伺ヲ致シタイコトモアリマスガ、アトハ此以上ハ委員會ニ質問ヲ讓リマシテ此議場デハ是ヲ止メテ置キマス

○阪本鉄之助君 餘リ長クゴザイマセヌカラ、此處デ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 先づ議席デ御述ヲ願ヒマセウ、模様ニ依ツテ登壇ヲ促シマス

○阪本鉄之助君 本員ガ御尋ヲシテ見タイト存ジマスノハ、一部分ハ今深尾男爵ニ依ツテ既ニ御質問ヲセラレタノデアリマスガ、元來此國際汽船會社ナルモノヲマルデ私共ハ存ジマセヌ、故ニ國際汽船會社ナルモノハドウ云フ性質ノモノデアルカ、而シテ現狀ハドウ云フコトニナツテ居ルモノデアルカ、政府ハ國策上ト云フコトヲ度々述べラレマシタガ、此一會社ガ國策ト云フヤウナ大キナコトニドレ程ノ關係ガアルノデアルカト云フヤウナコトヲ、私共全

ク門外漢デアルモノニ對シテ了解スルヤウニ御述ヲ願ヒタイノデアリマス、

第二ニハ此巨額ナル借金ヲ政府ガ引受ケテ又公債ヲ發スルノデアリマス、ナシゾト申スト公債々々デ現金ガ出ルンデヤナイカラ宜カラウト云フヤウナ、私共ノ臺所ノヤウナコトヲ爲サルト云フコトハ、誠ニ遺憾ニ思フノデアリマスガ、此經費多端ノ際ニ是ダケノ公債迄發行シテ、サウシテ三分ノ利子サヘ拂ヘナイ所ノ此船會社ヲ助ケナケレバナラヌ、……拂ヘナイカラ助ケルノダト仰セラレマセウガ、私共ニハ此船會社ヲ保護シナケレバナラヌト云フ理由ガ分カラナイ、而モ此二千万圓餘ノ借金ヲ政府ガ引受ケマスレバ、綺麗薩張リ此會社ノ整理ガ出來ルカト云フニ、先刻ノ大臣ノ御話ニ依ルト、マダ後ニ五千万圓程借金ヲ持ツテ居ルト云フコトデアリマス、此後五千万圓ノ借金ヲ整理スルニハ相當骨ノ折レルコトデアラウト存ジマス、而シテ政府ガ斯ンナコトセネバナラヌト云フコトノ理由ガ第一分リマセヌガ、丁度震災手形ノ二ノ舞ヲ踏ムノトチヨットモ違ハナイト思フノデアリマス、震災手形ハ政府ガ損ヲ仕切ツテシマウノデアッテ、一時ハ非常ナ金ヲ出シマスケレドモ、マダ後腹

ガ痛マナイ、會社ニ金ヲ取替ヘルト申シマスガ、即チ借金ヲ政府デ引受ケル、サウシテ後ハ株主ニナル、即チ保護會社ノヤウナモノガ、特殊會社ニナルノデアリマス、此厄介ナ仕事ヲ引受ケテ、借金ノ引受迄シテ、サウシテ後ハノ目カラ見マスルト、恐ルベキ事柄ヲ政府ハ遂行ナサルトシカ見エナイノデアリマス、何故ニ國際汽船會社ナルモノニ對シテ斯ノ如キコトヲ爲サルカト云フコトヲ率直ニ御聽カセラ願ヒタイノデアリマス、チヨット感ジマシタ所デハ郵船會社トカ、商船會社トカ云フヤウナモノニ引受ケテ貰ツテ、其中ニ包容セラレテ整理ヲスルト云フヤウナコトハ、確カニ一つノ方法デアラウト存ジマスルガ、私共ハ素人デモサウ思フノデアリマスカラ、政府ハ既ニ其邊ニ付テハ御指圖ガアツテ相當ニ御苦心ニナッタコトトモ想像シマスルガ、斯ンナ破レ會社ト云フモノハ、逆モ郵船會社ヤ商船會社デ引受ケヌト云フヤウナ事情カトモ思ハレルノデアリマスガ、斯ウ云フモノヲ政府ガドウ云フ譯デ引受ケネバナラヌノデアルカ、ソコデ先刻國策ト云フコトヲ御述ベニナリマシタ、國策ト云フ名ノ下ニ於テ斯ノ如キコト迄爲サラナケレバナラヌト云フコトハ、私共ドウシテモ了解ガ出來マセヌ、了解シ得ルヤウニ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 阪本君ノ御質問ニ御答致シマス、成程突如トシテ考ヘマスト云フト、如何ニモ無理ナヤウニ見エマスカラ、大體是マデノ成リ行ヲ申上げテ見タイト思フノデアリマス、御承知デモアリマセウガ、歐洲ノ戰爭中ニ世界各國ガ非常ニ新造船ヲ造リマシテ、我ガ帝國ニ於キマシテモ、造船會社ガ澤山起リマシテ一時ニ多數ノ商船ガ出來タノデアリマス、然ルニ大正八年世界戰爭ノ平和克復後ニ於キマシテ、世界ニ有リ餘ッタ船ヲドウ處分スルカト云フ問題ガ起リマシテ、我ガ帝國ト致シマシテハ多數ノ船ヲ世界ノ市場ニ賣ツテ仕舞フカ、或ハ折角出來タ新造船ヲ維持シテ行クカト云フコトガ國家トシテ相當ナ問題ニナリマシタ、當時船會社ノ者、並ニ船會社ニ對シテ金融ヲ致シテ居リマス者、政府、寄ツテ協議ヲ致シマシタ結果出來ルダケ此船ヲ維持致シタイト云フノデ、各船主カラシテ現物ヲ提供セシメ、サウシテ國際汽船會社ト云フモノヲ造ツタノデアリマス、即チ一億圓ノ資本ト致シマシテ船ヲ約五十万噸程提供致シマシテ、其中デ幾分現金ヲ費ツタヤウナ關係ガアッ

タノデアリマスガ、兎ニ角一億圓ノ會社ニ致シマシテ、サウシテ預金部ヨリモ相當ノ融通ヲ致シマシテ、只今申ス所ノ興業銀行、十五銀行、第一銀行等モ相當ナ金融ヲ致シタノデアリマス、サウシテ大正八年七月ニ此會社ハ成立致シマシテ、其後大正八年ノ下半期、大正九年ノ上半期ニ於キマシテハ頗ル營業成績ガ宜シカツタノデアリマス、然ルニ大正九年ノ世界的ノ金融界……經濟界ノ恐慌ノ後ヲ承ケマシテ、世界ノ海運業ガ非常ニ悲境ニ陥リマシテ、此國際汽船會社モ同様ナ運命ニナツタノデアリマス、爾來營業成績ガ餘リ宜シクアリマセヌ爲ニ缺損ニ缺損ヲ續ケテ債務ノ支拂ガ十分ニ參ラヌト云フヤウナ狀況デアリマシタ、然ラバ此船ハドウ云フコトヲ致シテ居ルカト申シマスト、世界ノ各地ニ於キマシテ我ガ帝國ノ海運業者ガ未ダ足ヲ入レタコトノナイ所ニマデ航路ヲ擴張イタノデアリマス、現在ニ於キマシテモ、紐育「ハンブルヒ」間、伊太利紐育間ト云フヤウナ定ッタ航路モ持ツテ居リマスシ、世界ノ各處ニ隨分働イテ居ルノデアリマシテ、之ニ依ツテ一千三四百万圓乃至ハ五六百万圓ノ一箇年ノ船貨ヲ取ツテ居ルノデアリマス、是ハ國際貸借ノ上ニモ相當貢獻ヲ致シテ居ル、然ルニ先刻申上ゲマシタ通り、此會社ハ精密ニ申シマスルト四十八万噸ノ船ヲ持ツテ居リマスガ、現在ト致シマシテ船ノ噸當リ六十五圓ト見マスルト三千万圓ソコヽシカナイノデアリマス、資產ハ……之ニ對シテ七千四五百萬圓ノ債務ヲ持ツテ居ルノデアリマス、預金部ガ元金ト致シマシテ二千九百二十萬圓、第一銀行、興業銀行、十五銀行ガ矢張リ三千万圓以上ノ債權ヲ有ツテ居ルノデアリマス、其上此三銀行ハ預金部ノ貸付金ニ對シテ保證ヲ致シテ居ルノデアリマス、三銀行ガ保證イタシマシタ當時ニ於キマシテハ、此船會社ニ最モ關係ノアル川崎造船所、神戸ノ鈴木商店、個人トシテノ金子直吉、斯ウ云フヤウナ人ガ矢張リ此裏ニ又保證債務ヲ有ツテ居タノデアリマス、川崎造船所ガ相當ニ經營ヲ致シ、神戸ノ鈴木商店ガ昔ノ商店デアリマシタナラバ、此債務ノ履行ニ差支ナインオデアツタノデアリマス、然ルニ御承知ノ通リナ狀態デ、川崎ハヤット事業ヲ繼續スル狀態ニアリ、鈴木商店ハ破産ノ狀態ニナツタノデアリマス、故ニ預金部ト致シマシテ二千九百二十萬圓ノ元金ニ百何十圓ノ利子ヲ加ヘマシテ三千万圓餘リノ債權ヲ行使イタシマスルト云フト、法律上ハ三銀行ガ之ヲ引受ケニヤナラヌ、三銀行ハ此債務ヲ引受ケマスルト云フト、三銀行ハ此會社ニ對シテ破産ヲセシメナケレバイカヌノデアリマス、ソコデ此會社ヲ清算ニ附シテ債權ヲ行使シテシマフカ、或ハ之ヲ維持スル

カト云フ問題ニ直面イタシタノデアリマス、元來債權ヲ行使シテ此會社ヲ破産ニ導クト致シマスト、其影響如何ト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、即チ債權者ハ此船ヲ取ツテ一時ニ市場ニ出サヌケレバナリマセヌ、即チ四十八万噸ノ船ガ一時ニ我ガ帝國ノ市場ニ現レマスト云フト、全體ノ海運界ニ非常ナ影響ヲ及ボスノデアリマス、即チ船價ノ激變ヲ來シ船腹ニ激變ヲ來シマシテ、他ノ總テノ船會社ガ非常ナ影響ヲ被リ、從テ經濟界一般ニ相當ノ影響ヲ受ケルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、ソレカラ一面カラ考ヘマスト、我ガ帝國ノ如キ海運國ニ於キマシテハ、定期航路ノ船ノミナラズ、社外船ノ相當ニ發展セシメテ行クコトガ、最モ國策上必要デアリマス、此折角出來テ居ル大キナ船會社ヲ潰シテシマッテ、此船ヲ處分セシムルト云フコトハドウデアルカ、而モ將來ドウシテモ立行カヌト云フナラバ其外ハナイノデアリマスガ、段々ニ整理計畫ヲ立テ、參リマスト、今回御協贊ヲ仰イデ居ルヤウナ風ニモ同様ノ立場ニ立ツテ、サウシテ川崎、鈴木ノ一番ノ大株主ヲシテ保證債務ヲ免除イタシマスル代リニ、株式ヲ全部提供イタサセマシテ、サウシテ減資ヲシテ、サウシテ増資ヲ致シタ形ニシテ株券ニ換ヘルノデアリマス、左様ニ致シテ、サウシテ、預金部ノ債權ヲ一般會計ガ肩替リヲ致シテ、サウシテ今ノ三銀行モ良クナツテ參リマスル狀態デアリマスカラ、之ヲ先づ維持イタシテ見ヤウ、而シテ四十八万噸ト云フ船ハ或ハ多過ギルカモ知レス、ソコデ元金ト利子ト合セマシテ、約千万圓程ノ社債ノ償還ニハ船ノ一部ヲ處分シテ充テル、斯ウ致シマシテ、三十五六万噸ノ船ヲ以テ會社ヲ經營セシムル、而シテ段々ニ船齡モ古クナツテ參リマスルカラ、「ディーセル・エンヂン」式ノ船ニ段々替ヘテ參リマス、斯ウ云フヤウニシテ參リマスト、今申スヤウナ整理案ヲ立テマシテモ、段々ニ成立ツテ行ク、斯ウ云フ見込ガ立チマシタカラ、此處置ヲ致スノデアリマス、先刻深尾男爵ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シタ通り、預金部ト致シマシテハ是レ以上ノ犠牲ヲ拂フコトハ困難デアリマス、故ニ一般會計ガ之ヲ引受ケマシテ、預金部ノ債權ニ對シテ公債ヲ交付スル、即チ公債ヲ三分利附公債ニ致シマシテ、預金部モ相當ノ犠牲ヲ拂フノデアリマス、預金部ニモ相當ノ犠牲ヲ拂ハセマシテ、三分利附ノ公債ヲ以テ肩替リヲ致シテ、サウシテ政府ガ一般會計ニ於キマシテ三銀行ト同様ニ此株ヲ持ツト云フコトニ致シテ、マシタナラバ成立ツテ行クダラウ、而シテ整理ガ緒ニ就キマシテ、段々會社

ガウマク行クヤウニナリマシタナラバ、政府ハ此株券ヲ處分イタシマシテ、政府ハ成ルベク手ヲ引キタイト考ヘテ居ル次第アリマス、左様ナ次第デアリマシテ、國策上ト申スノハ、社外船ヲ維持イタシタイト云フコトト、ソレカラ現在ノ國際汽船會社ヲ處分イタシマスレバ、海運界、延イテ經濟界ニ非常ナ打撃ヲ及ボシマスカラ、已ムヲ得ズ此救濟策ヲ講ズルノデアリマス、即チ財界ノ大正九年ノ動亂、大正十二年ノ大震火災、一昨年ノ金融界ノ恐慌、斯ウ云フヤウナ重ネノ悲運ニ遭遇イタシマシタ其後始末ヲ政府ハ致シテ居リマシテ、是ガ先ヅ最後ト見テ可カラウト思フノデアリマス、即チ臺灣銀行ト云ヒ、或ハ特別融通ト云ヒ、色ノナモノヲ處分イタシテ參リマシタガ、今回ノ是ガ先ヅ財界ノ色ノナ遭難ノ後始末ノ最後ト云フヤウナ積リデ、國際汽船ハ此方法ニ依ツテ整理ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス

○阪本鉄之助君 承レバ承ル程政府ノ御世話ヲナサルノヲ甚ダ怪シムノデアリマス、併シ此以上ハ意見ト云フコトニナリマスルカラ、相當ノ機會ニ於テ又述ベルヨリ外アリマセヌガ、先刻深尾男爵モ株ヲ持ツト云フコトハ泥田ニ足ヲ踏入レルヤウナモノデナイカト云フ御杞憂ガアリマシタガ、全ク其通りアリマシテ、景氣ガ好クナレバ株ハ賣ル積リダト云フヤウナ、大藏大臣ノ御説明モアツタヤウデアリマスガ、左様ナ都合ニ參リマスレバ甚ダ結構デアリマスガ、何時マデモ斯ウ云フ貧弱ナ會社ノ株ヲ政府ガ持ツテ整理セナケレバナラヌト云フコトハ、ドウシテモ私ハ腑ニ落チマセヌ、社外船ト云フコトヲ仰シャイマシタガ、ドウシテ斯ウ云フモノヲ郵船會社商船會社等以外ニ存立サセナケレバ、國策上ドレ程ノ害ガアルノデアリマセウカ、是モ私共素人デ

分リマセヌ、是等ノ兩點ニ付キマシテ、尙ホ御説明ガゴザイマシタラ、伺ヒタイト思ヒマス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 只今詳細ニ申上ゲマシタノデ御了解下サッタコトト考ヘテ居ルノデアリマスガ、茲ニ政府ガ此整理案ニ應ジナイ、預金部ガ債權ヲ行使スルト致シマスト云フト、前申ス通リ興業銀行、十五銀行、第一銀行等ハ自分ノ債權ガ、政府ノ預金部ノ融通額ニ對シテ保證イタシテ居リマスル金額ヨリモ、モット多いノデアリマス、兩方ヲ合セマスト云フト六千万圓以上ニナルノデアリマスガ、此六千万圓以上ノ債權ヲ銀行トシテ已ムヲ得ズ行使イタサンケレバナラス、サウ致シマスト云フト、最初ノ保證債務ヲ帶ビタル貢獻ヲ爲シタノデアリマスルカ、私共ハ承知イタシテ居ラナイ、ドウカ具

當時ニ於キマシテハ、其後ロニ川崎造船所、神戸鈴木商店等ガアッタノデアリマスガ、此債務保證者ガアノ状態デアリマスカラ、已ムヲ得ズ十五銀行、第一銀行、興業銀行等ハ自分ノ資力ニ依ツテ此保證債務ヲ辨償スル外ハナイノデアリマス、然ルニ銀行ノ内容ヲ申スコトハ憚リマスガ、十五銀行ナドハ、斯ウ云フモノ、債務ヲ履行スルト云フコトハ、詰リ十五銀行ノ整理案ニ龜裂ヲ生ズルノデアリマス、十五銀行ノ整理案ハ諸君ノ御協賛ニ依リマシテ特別融通等ノ力ニ依ツテ著々整理ガ著イテ豫定通リニ整理ハ進行シテ參ツテ居ルノデアリマス、斯様ナ大キナ債務ヲ十五銀行ナドニ負ハセマスト云フコトハ、十五銀行ノ整理ニモ亦影響ヲ來シマス、彼此レヲ綜合イタシマシテ考ヘマスト云フト、斯様ニ致ス外ハナイノデアリマス、唯社外船ト云フモノハソンナニ必要カト云フ御質問デアリマスルガ、世界各國ノ海運業ノ盛ンナ國ト云フモノハ、寧ロ社外船が必要ナノデアリマス、定期航路ト云フモノヨリモ社外船ノ盛衰如何ト云フコトガ、其國ノ海運業ノ盛衰ニ關スルノデアリマス、我帝國ト致シマシテハ私共ハ飽マデモ社外船ノ發展ヲ希望スルノデアリマス、幸ニ近來段々社外船ガ發展シテ參リマシテ、國際汽船モ右申スヤウナ歴史デ以テ出來テ參リマシタカラ、出來得レバ之ヲ維持セシメテ行クト云フコトハ、國策上必要ト考ヘテ居ルノデアリマス

○阪本鉄之助君 ドウモ分リマセヌガ、モウ此邊デ止メテ置キマス

○關直彦君 簡單デゴザイマスカラ此席カラ御許シヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 御聲ヲ大キク願ッタラ宜カラウト思ヒマス、大キナ御聲デ願ヒマス

○關直彦君 承知イタシマシタ、此國際汽船會社ノ創立ハ私モ好クハ存ジマセヌケレドモ、大正九年ノ頃所謂世間デ申シマスル船成金ノ沒落ヲ救濟スル爲ニ、所謂ボロ船ヲ集メテ拵ヘタ會社ダト云フコトヲ承知シテ居リマス、而シテ其當時ニ於キマシテ此會社ヲ創立スル時ハ一頓何程ノ價デ以テ此會社ニ提供サレマシタノデアリマスカ、ソレヲ一つ伺ヒタイト思ヒマス、大藏大臣ノ御説明デハ現在一頓六百圓ト云フ御話デアリマスガ、如何デアリマスカ、六十……幾ラデシタカ、其當時ニ一頓ハドレ程ノ價格ヲ以テ船主ガ提供イタシタモノデアリマスカ、其コトヲ御伺ヒ致シマス、ソレカラ國際汽船會社ノ創立以來國策上非常ニ貢獻ヲ爲シタト云フコトヲ仰セラレマスルガ、如何ナシタモノデアリマスカ、私共ハ承知イタシテ居ラナイ、ドウカ具

體的ニ今少シ詳シク御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ成程今日此會社ガ行詰リマシテ、或ハ興業銀行ナリ十五銀銀ナリ多少ノ損失ハゴザイマセウガ、斯カル場合ニ之ヲ政府ガ……國庫ガ之ヲ償ハナケレバ經濟界ニ大變動ヲ起スト云フコトノ虞ガアルカラ救濟ヲスルト仰セラレマスルガ、左様ナ例ハ是迄ハ度々ゴザイマシタガ、モウ將來ハアルマイト思ッテ居リマシタガ、又此國際汽船會社ノ救濟ヲシナケレバナラヌ、其口實ハ何デアルカト申シマスレバ、矢張リ經濟界ノ動亂ヲ恐レルト仰セラレルノデアリマス、斯カル例ヲ繰返シマスト云フト、將來ニ於キマシテ、若シ大會社若クハ大銀行ガ破綻ヲ生ジマシタ場合ニ於キマシテモ、經濟界ノ動亂ヲ防グガ爲ニ、又國庫ガ之ヲ救濟シナケレバナラヌト云フコトニナリマスルト、殆ド國際限ガアルマイト思フノデアリマス、國民ハ到底左様ナ負擔ニハ堪ヘラレナインデアリマスカ、將來ニ於ケル大藏大臣ノ……將來ニ對スル大藏大臣ノ御考ハ如何デアリマスカ、之ヲ確カニ伺ッテ置キタイ次第、デアリマス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（三土忠造君）關君ノ第一ノ御質問ハ國際汽船會社創立ノ當時ノ事情デゴザイマスト考ヘマス、只今當時所謂船成金ナルモノガ沒落ニ瀕シタノヲ救濟スル爲ニ、ボロ船ヲ集メテ此會社ヲ作ッタヤウニ御考ニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、サウデハナイノデアリマス、御承知ノ通リ國際汽船會社設立ノ話ガ始まりマシタノハ大正八年ノ始メ頃デアリマス、經濟界ノ最モ好景氣ノ時デアッタノデアリマス、而シテ國際汽船會社ニ現物提供イタシマシタ船ト云フモノハ、何レモ最新式ノ船デアリマシテ、而シテ當時世界ノ市場ニ於キマシテ此國際汽船會社ノ船ノ如キ同種類ノ船ノ船價ハ頗當リ三百八十圓イタシテ居ツタノデアリマス、ソレヲ會社ハ三百五十圓ト見テ現物ヲ提供シテ株ニ換ヘタノデアリマス、預金部ガ之ニ對シテ當時二千五百万圓ノ融通ヲ致シマシタ、其二千五百万圓ノ融通ノ擔保ト致シマシテハ、……各銀行モ融通ヲ致シタノデアリマスルガ、其擔保ト致シマシテハ三百五十圓ト見タ其半額ト見タノデアリマス、即チ百七十五圓、百七十五圓ノ、半額ト見テ置ケバ、ondonナコトガアッテモ間違ガナイト見タノハ、其當時ノ事情トシテハ神ナラヌ身ノ考ヘラレナイコトデアリマス、先づ百七十五圓、半額ト見テ置ケバ擔保物件トシテ確實ダラウト見テ融資ヲ、融通ヲ致シタノデアリマス、所ガ先刻申上ゲマシタ通リ設立後、即チ大正八年ノ下半期、大正九年ノ上半期ハ營業

成績ハ頗ル宣シウゴザイマシタ、相當ノ利得ガアッタノデアリマス、然ルニ其後大正九年ノ世界的ノ動亂、經濟界ノ動亂ノ後ヲ承ケマシテ、世界共通ノ海運界ノ不振ノ爲ニ此會社モ非常ナ悲況ニ陥ツタノデアリマス、即チ設立當時トシマシテ船價ヲ三百五十圓ト見、百七十五圓ノ、半額ノ擔保品トシテ之ニ對第一銀行等モ致シタノデアリマス、御承知ノ第一銀行ノ如キハ最モ堅實ナル銀行經營ヲ致シテ居ツタノデアリマス、今日マデモアノ堅實味ヲ帶ビテ居ルノデアリマス、此第一銀行ノ如キスラモ百七十五圓ト見テ、之ニ對シテ金融ヲ致シタヤウナ次第デアリマスルカラ、當時ハ決シテ不堅實ナモノデハナカッタノデアリマス、其後此汽船會社ガ國家的ニ非常ニ貢獻シテ居ルト申シマスルノハ、此船ハ主トシテ海外ニ出テ勤イテ居ルノデアリマシテ、即チ大西洋太平洋各方面ニ勤イテ居リマシテ、是迄我國ノ手ノ出ナカッタ所ノ航權ヲ擴張イタシマシテ、即チ海運界ノ新天地ヲ開發イタシタノデアリマス、而シテ一箇年ニ二千二三百万圓カラ二千五六百万圓ノ收益ヲ生ジテ居ルノデアリマスルガ、其船貨ト云フモノハ殆ド全部外國ノ荷主カラ取ツテ居ルノデアリマス、國家ニ貢獻イタシタト申スノハ國際貸借ノ上ニ貢獻イタシタコトト、前人未發ノ帝國ノ海運權ヲ擴張イタシタト云フコトヲ申スノデアリマス、ソレカラ將來斯様ナ不成績ニナッタ事業會社ヲ國家ガ手ヲ出シテ救濟スルト云フト國際限ガナイ、政府ハドウスルカト云フ御質問デアリマスルガ、無論事業會社ト云フモノハ自主獨往デヤラヌケレバナラヌノデアリマシテ、國家ガ之ニ對シテ保護誘掖ヲスベキモノト私共ハ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ此會社ハ最初設立ノ當時カラシテ幾分カ國策遂行ノ意味ニナッテ居ルノデアリマス、アノ船ヲ唯事業會社ノ見地カラ考ヘマスルト云フト、市場ニ賣出シテ處分スルノ外ハナカッタデアラウト思フノデアリマス、併シソレハ前申スヤウナ次第デ折角出來タノ希望モアリ、金融業者ノ希望モアリ、政府モ之ヲ尤モト考ヘテ、預金部ノ融通ヲ特別ニ致シタヤウナ次第デアリマス、サウ云フ歷史ヲ持テ居リマスルノト、現在ニ之ヲ處分イタシマスト云フト、先刻申スヤウニ海運界、延

テハ經濟界一般ニ相當惡影響ヲ及ボシマスカラ、之ヲ避ケル爲ニ已ムヲ得ズ此手段ヲ執ルノデアリマス、即チ是迄放置シテ居ル債權ノ後始末ガ一ツ、當面ノ財界ニ影響ヲ及ボストヲ成ルベク緩和イタシタイト云フコトガ一ツデアルノデアリマス、將來ニ於キマシテハ斯様ナコトハ成ルベクナイヤウニ致シタイト考ヘマス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ御質疑モナイト認メマスカラ、本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ御質疑モナイト認メマスカラ、本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官朗讀

國際汽船株式會社ノ整理ニ關スル法律案特別委員

侯爵細川護立君	伯爵樺山愛輔君	子爵大河内輝耕君
男爵井上清純君	藤田四郎君	藤山雷太君
菊池恭三君	大川平三郎君	小林暢君

○議長(公爵德川家達君) 日程第三ヨリ第十一マデ、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

昭和二年法律第十五號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十八日

右特別委員長

伯爵二荒芳徳

貴族院議長公爵德川家達殿
會計檢查院法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十八日

右特別委員長

伯爵二荒芳徳

貴族院議長公爵德川家達殿

曇稅法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十八日

右特別委員長

伯爵二荒芳徳

貴族院議長公爵德川家達殿

同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタル
帝國臣民ノ追加救恤ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

借入金整理ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十八日

右特別委員長

伯爵二荒芳徳

貴族院議長公爵德川家達殿

賠償金特別會計法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十八日

右特別委員長

伯爵二荒芳徳

貴族院議長公爵德川家達殿

電話事業公債法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十九日

右特別委員長

伯爵二荒芳徳

貴族院議長公爵德川家達殿

會計檢查院法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十八日

右特別委員長

伯爵二荒芳徳

貴族院議長公爵德川家達殿

曇稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十八日

右特別委員長

伯爵二荒芳徳

貴族院議長公爵德川家達殿

同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタル
帝國臣民ノ追加救恤ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十八日

右特別委員長

伯爵 二 荒 芳 德

貴族院議長公爵徳川家達殿

製鐵所特別會計ニ於テ大藏省預金部ノ横濱正金銀行ニ對スル債權讓渡ヲ受クルコトニ關スル法律案右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十八日

右特別委員長

伯爵 二 荒 芳 德

貴族院議長公爵徳川家達殿

登錄稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十八日

右特別委員長

伯爵 二 荒 芳 德

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員長二荒伯爵ノ登壇ヲ望ミマス

〔伯爵二荒芳徳君演壇ニ登ル〕

○伯爵二荒芳徳君 昭和二年法律第十五號中改正法律案外八件ニ瓦リマシテ特別委員會ノ報告ヲ申上ゲマス、昭和二年法律第十五號中ノ改正ハ本來、國

有財產整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律デゴザイマス、即チ帝都復興拂代金等ハ帝都復興ノ爲ニ要スル經費ニ充テル爲ニ國有財產整理資金特別會計法第二條ニ拘リマセス、之ヲ一般ノ歲入ニ繰入レルコトガ出來ルノデアリマス、サウシテ其金額ハ千九百万圓ヲ超ユルコトヲ得ズト云フ規定ガゴザイマスノデアリマス、其特例ニ付キマシテ更ニ此提出サレマシタ改正法律案ニ依リマシテ此「千九百万圓」ヲ「一千三十萬圓」ニ改メタイト云フコト及特例中ニゴザイマス建築又ハ購入シタル國有財產ノ外ニ「埋立テタル國有財產」ト云フコトヲ入レタイト云フ法律案ニアリマス、是ハ埋立テマシタ土地ニシテ不

用ニ歸シマシタモノヲ賣リマシタ所ガ百三十萬圓ヲ得タノデアリマス、之ヲ帝都復興ノ費用ニ充當イタシマス爲ニ利用イタシタイト云フ考ヘデ即チ千九百万圓ニ百三十萬圓ヲ合セマシテ二千三十萬圓ニ改メル案デゴザイマス、此法律案ニ付キマシテハ、委員會全會一致ヲ以チマシテ可決スルコトニ決定イタシマシタノデアリマス、次ニ頓稅法中改正法律案ニ付キマシテハ、從來頓稅ハ一頓ニ付キマシテ五錢、石積モノニ對シマシテハ十石ニ付テ五錢、又何レモ一時ニ十五錢ヲ納メマスルトキニハ同一港ニ於テ一年間頓稅ヲ支拂ハナイデ宜シトイ云フ規定ガゴザイマスノデアリマス、然ルノニ之ヲ今回、局ニ質問ヲ致シマシタ、殊ニ此稅率ヲ上ゲマスコトニ付テ海運業ノ進展上如何デアラウカ、又海運界ノ不況ノ今日ニ於テ如何デアラウカト云フ問題ガ出マシタノデアリマスガ、外國ノ稅率ニ比シマシテモ、現行ノモノハ必シキ高クナイト云フ御答辯モゴザイマシタシ、又海運ノ今日振ハナイ時代ニ於キマシテモ、所謂燈臺又航路標識等ニ付テハ十分ニ此際完備ヲ要スルモノデアルト大キク一二ヲ爭フ程デアルト云フヤウナ説明デゴザイマシタ爲ニ、本委員會ニ於キマシテハ之ニ對シマシテ希望ノ決議ヲ加ヘマシタノデアリマス、其文言ヲ今讀ミマスガ

我國ニ於ケル燈臺其他航路標識等海難防止ノ設備未ダ全カラズ、海運ノ發達ヲ阻害スルモノ多シ、政府ハ本案提出ノ趣旨ニ鑑ミ速カニ其完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

件費、臨時軍事費等デゴザイマシテ、此債務ヲ相殺イタシマス爲ニ、一般會計ガ他ノ會計ニ對シテ有スル貸付金六千四百十萬九百圓ノ債權ヲ大藏省預金部ニ讓渡シマシテ、サウシテ一般會計ノ大藏省預金部ヨリノ借入金中同一額ノ債務ヲ償還セムトスル案デゴザイマシテ、是ハ滿場一致ヲ以テ可決スルコトニ決定イタシマシタ、次ニ賠償金特別會計法中改正法律案、此法律案ニ付キマシテハ實ハ色モ質問ガ出マシタノデゴザイマス、或質問ハ斯ノ如キ經費ガ若シアルナラバ、國債ノ償還ニ向ケテハドウデアルカト云フヤウナ質問モ出マシタノデアリマス、チヨット申シ落シマシタガ、此賠償金ノ特別法ノ改正ハ本會計ノ資金ハ豫算ノ定ムル所ニ依リ、之ヲ國際聯盟、移植民及航空施設ニ關スル經費ニ使用スルコトヲ得ルト云フコトヲ規定シヤウト云フ法律案デゴザイマスノデ、此三ツノモノニ向ケル位ナラバ、國債ノ償還等ニ向ケテハドウダト云フ質問ガゴザイマシタ、併ナガラ政府當局ノ説明ハ今日斯ノ如キ賠償金ヲ以テ得マシタ所ノ金ハ、矢張リ成ルベク國際的ノモノニ用キルトカ、或ハ交通ニ用キルコトガ適當デアルト認メル、又國債ノ償還ト云フヤウナコトヨリハ、寧ロ進ンデ人民全體ノ福利ヲ増進スルコトニ差向ケル方ガ宜カラウト云フ意味カラ移植民ト云フ方面ニモ向ケタイト云フ説明デゴザイマシタ、之ニ付キマシテ本委員會ハ全會一致ヲ以チマシテ可決イタスコトニ決定イタシタノデゴザイマス、次ニ電話事業公債法中改正法律案ニ付キマシテ御報告ヲ申上ゲマス、電話事業ニ付キマシテハ、長イ歴史ガゴザイマシテ、此擴張計畫ト云フモノハ關東地方ノ震災前ニ於キマシテハ、大體公債ニ依ルコトニナッテ居リマシタノデゴザイマス、然ルニ震災以後ニ於キマシテ財界ノ不振カラ架設ヲ希望スル者ニ對シテ、設備ノ負擔金ヲ課スルコトニ致シマシタ、約千百圓程ヲ架設ヲ希望スル者ニ負擔セシメテ居ル狀況デアッタノデゴザイマス、今日三億二千八百万圓ト云フモノノ中、既ニ起債ヲ了シマシタモノガ一億四千万圓、未ダ起債ヲ致シマセヌモノ即チ起債ノ能力ノ殘ツテ居リマスモノガ一億八千万圓程ゴザイマスノデアリマシテ、今回此公債法ヲ改正イタシマシテ、十分ニ電話ノ架設ヲ速カナラシメ、又電話ヲ持タムトスル者ニ、軀テハ負擔金ヲ課セナイヤウニ致シタイト云フ目的デ、約五億三千百万圓ニ増額ヲ致サウト云フノガ此公債法ノ改正ノ趣旨デゴザイマス、而シテ之ニ付キマシテ政府ハ現在ノ益金ニ付テハ色モ收入ノ方法ガ多岐ニ瓦ツテ居ル爲

ニハツキリ申スコトガ出來ナイケレドモ、約二千八百万圓程アル、事業ノ完成ノ後ニハ四百八十万圓程増スコトガ出來ルト云フ説明ガゴザイマシタ、又他ノ委員カラハ斯ノ如キ事業ヲ公債デ行フト云フコトハドウデアラウト云フ質問モ出マシタケレドモ、政府當局ハ電話ノ如キハ割合ニ資產ノアル者ガ之ヲ利用スルノデアッテ、一般公債ニ依ラナイデ國費ヲ以テ行フト云フヤウナコトハ寧ロ性質上避クベキデアラウト云フ御答辯デゴザイマシタ、又公債ト云フコトニ依ツテ斯ノ如キ事業ヲ起サナイデ、全然民營ニ移シテハドウダト云フ質問モ出マシタケレドモ、總テノ通信系統ハ今日電信電話郵便等官營ニ致シテ居リマス關係カラシテ、之ヲ民營ニ移スト云フコトハ、縱令全部ノ通信機關ガ宜イトシテモ……全部ノ通信機關ヲ民營ニスルコトガ宜イトシテモ、今日ニ於テ困難デアルト云フ説明デゴザイマシタ、而シテ度モ質問應答ヲ重ネマシテ、遂ニ斯ル希望ノ決議ヲ附ケルコトニ決定イタシタノデアリマシテ、ソレハ電話事業擴張ハ國家ノ進運上其必要ヲ認ムルモ本計畫遂行ノ後將來更ニ公債財源ニ依リ此事業ヲ繼續スルガ如キハ前途益々巨額ノ公債ヲ增發シ財政ノ危機ヲ招來スルノ虞アリ政府ハ大イニ此點ニ留意シ深甚ノ考慮アラムコトヲ望ム

ト云フ希望ヲ附ケマシタノデゴザイマス、サウシテ満場一致之ヲ可決イタシマシタ、次ニ會計檢查院法中改正法律案ニ付キマシテ報告申上ゲマス、此檢查院法中ノ改正ハ書記官專任一人ヲ專任二人ト改メマス改正案デゴザイマス、即チ定員ヲ增加イタシテ檢查事務ノ改善ニ資スル目的デアルト云フ説明デゴザイマシタ、之ニ付キマシテ本特別委員會ニ於キマシテハ色モ審議ヲ致シマシタ結果、満場一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、唯茲ニ一言申加ヘタイノハ、昭和二年五一議會ニ於キマシテ副檢查官專任十八名ヲ二十名ニ致シマシタ際ニ於キマシテ、當時ノ特別委員長カラ政府ノ機密費ニ關スル計算ハ會計檢查院ニ於テ檢查ヲ行フ限ニ在ラズト云フコトニ付キマシテ、若シ所謂機密費ノ性能ヲ害フコトナクシテ祕密ニ檢查院長ニ政府カラ報告スル……機密費ノ使用ヲ報告スルト云フヤウナコトニ付キマシテハドウカト云フ質問ガ出テ居リマスノデ、ソレモ其當時ノ委員長デアリマシタ曾我子爵カラ質問ガゴザイマシテ、之ニ付キマシテハ政府ハ此點ニ付テ相當ノ考慮ヲシテ見ルト云フ御答辯ガゴザイマシタ、併シ實際ニ於テ機密費ノ內容ヲ檢查院ニ報告スルト云フコトハ困難デアラウト云フコトヲ附加ヘラレテ居リマシタコトヲ御報

告イタシマス、次ニ第九、同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタル帝國臣民ノ追加救恤ニ關スル法律案、之ニ付キマシテハ曾テ貴衆兩議院ニ於キマシテ、此戰爭中及ビ後ニ於キマシテ損害ヲ被リマシタ者ニ對シテ相當ノ救恤ヲ致スト云フコトガ決定シテ居リマスノデアリマスガ其當時ニ於キマシテ、船舶業者ノ損害アリト致シマシテ申シ出シマシタ所ノ額ハ一億九千四百万圓デゴザイマシテ、審查會ノ決定ヲ經マシテ、是ガ四千九百万圓認メラレ、而シテ之ヲ救恤スル査定額ハ二百九十五万圓ニナッテ居ルノデアリマス、而シテ「ドーズ」案ノ結果、更ニ此財政ニ餘裕ガ出來マシタノデ、茲ニ此法律案ニ依リマシテ、救恤金ノ總額四百万圓ヲ限度ト致シマシテ、賠償金トシテ特別會計カラ支出シヤウト云フ提案ヲ政府ガ致シタノデアリマス、而シテ茲ニ四百万圓ノ程度ニ致サレマシタ理由ハ、多クハ船舶業者ノ損害、而シテ他ニ個人ノ損害モゴザイマスノデアリマスガ、大體ニ於テ此限度ヲ以テ救恤ラスルコトガ適當デアラウ、又之ヲ以テ此救恤ヲ打切ラウトスル政府ノ趣旨デアルサウデアリマス、之ニ付キマシテ委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決ヲ致シタノデゴザイマス、次ニ製鐵所特別會計ニ於テ大藏省預金部ノ横濱正金銀行ニ對スル債權ノ讓渡ヲ受クルコトニ關スル法律案ニ付キ御報告ヲ致シマス、此法律案ハ中華民國ノ漢治萍ノ製鐵所ニ對スル貸付資金トシテ、大藏省預金部ガ横濱正金ニ貸付ケマシタ二百万圓ニ關スル債權ノ讓渡ヲ受ケマシテ、其債權額ニ相當スル所ノ金額及利息ノ債務ヲ預金部ニ對シテ負擔スルコトヲ得ルト云フ法律案デゴザイマスガ、其中デ此製鐵所ノ方ニ漢治萍公司カイ説明ヲ承リマシタノデアリマスガ、其中デ此製鐵所ノ方ニ漢治萍公司カラ、鑛石即チ鐵ノ材料ニ致シマス石、鑛石ヲ取リマシテ、而シテ此鑛石ニ對スル代價ヲ今日マデ持ツテ居リマシタノヲ、ソレヲ相殺ニシヤウト云フ案デアルノデアルノデゴザイマス、之ニ付キマシテモ特別委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、次ニ登錄稅法中改正法律案ノ報告ヲ申上ゲマス、是ハ今マデ我國ノ登錄稅中ニハ外國ノ大公使館領事館等ノ敷地又ハ建物ニ對スル登記料ヲ免除スル法律ガ缺ケテ居ツタノデアリマス、而シテ外ノ諸外國ニ於テハ多クハ斯カル場合ニ免稅ヲスルコトニナッテ居ルサウデゴザイマスノデ、日本ニ於キマシテモ相互、即チ向フノ國ガ免除イタシテ居リマス場合ニ於テハ、我國ニ於テ其登記料ヲ免ズルト云フコトノ法律案デゴザイマシテ、是ハ簡単ナ法律デゴザイマシテ、滿場一致可決ヲ致シマシタ、尙ホ委員會ノ經過等ニ付キ

マシテ御質問ガゴザイマスレバ、御質問ニ應ジマシテ御答ヲ致シタイト存ジマス、之ヲ以チマシテ本員ノ特別委員會ノ報告ヲ終リト致シマス
○議長(公爵德川家達君) 此際御諒リテ致シタク存ジマス、只今ニ荒特別委員長ガ日程第三ヨリ第十一マデ一括シテ報告ヲ致サレマシタガ、議題トシテ採決イタスノハ、是モ矢張リ、日程第三ヨリ第十一マデ一括シテ差支ゴザイマスマイカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガナケレバ左様取計ヒマス、日程第三ヨリ第十一マデノ法律案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 各案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 總テ第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ニテ休憩ヲ致シマス、午後ハ一時三十分ヨリ開

會イタシマス

午後零時一分休憩

午後一時四十二分開議

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、日程十二、十三、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

關稅定率法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十日

右特別委員長

子爵 八條 隆正

貴族院議長公爵德川家達殿

大正九年法律第五十三號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十日

右特別委員長

子爵 八條 隆正

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵八條隆正君演壇ニ登ル〕

○子爵八條隆正君 關稅定率法中改正法律案竝ニ大正九年法律第五十三號中改正法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、此關稅定率法中改正法律案ニ於テ改正セムトセラレマスモノハ、僅ニ數種デゴザイマシテ、先づ「コールター」染料ニ屬スル所ノ「ベタナフトール」「オキシナフトエ酸及其ノ誘導體」ソレカラ金液、綿絲及綿線、「ピアノ」、最モ注目サレテ居リマス所ノ木材關稅引上げニ付テデゴザイマス、委員會ニ於キマシテ最モ論議サレ慎重ニ質疑應答ヲ重ねマシタモノハ、「コールター」染料、竝ニ木材關稅タ之ニ鑑ミマシテ政府ニ於カレマシテハ、色ニ染料ノ保護獎勵ノ途ヲ講ゼラレマシテ、今日ニ於テハ大體我國ニ於テ生産シ得ル見込ガ立ッタノデゴザイマス、尙ホ林業ノ保護ニ付キマシテハ、政府トセラレマシテハ、單ニ此關稅

マス、ノミニラズ染料工業ナルモノハ、我國ニ於ケル化學工業ノ基本タルモノデアリマシテ、且又軍事上ニモ關係ノ大ナルモノデアリマスカラシテ、之ガ確立ニ付テハ十分政府トシテ徹底的ノ保護獎勵ヲナスベキモノデアル、然ルニ今回ノ改正ハ僅ニ先程申シマシタ二種類ニ止ツテ居ルノデアリマシテ、而モ其稅率ハ左程保護ニ十分デアル程度マデハ達シテ居ラナイヤウニ思ハレル、是ハドウ云フモノデアルカ、又若シ之ニ依テ十分ナル保護ヲナシ得ナイト云フ風ニ思ッタトキニハ、政府ハ是等ノ染料工業ヲ十分ニ保護スル考ガアルノデアルカ、ト云フヤウナ質問ガ出マシタ、ソレニ對シテ政府ニ於キマシテハ今回、此二品以外ニ付テモ從來十分調査ヲ致シテ居ッタノデアルガ、併ナガラ尙ホ其二品以外ニモノニ付キマシテハ今後ノ狀況ヲ見マシテ、關稅ニ依テ保護シ得ベシトシタナラバ十分保護スル積リデアル、他日又改正案ヲ提出スルコトモアラウ、唯、今回ハ今マデニ於テ調査ノ出來タ所ノ二品ニ付テノ改正ヲ企テタノデアル、又此稅率ノ程度ニ付キマシテハ今日ノ我國ニ於ケル大量生産ニ關スル生產費ト外國ノ輸入品ノ價格トヲ考ヘマシテ、適當ナリトシテ此稅率ヲ盛ツタノデアル、併ナガラ將來ニ於テ或ハ外國ノ輸入品ノ價格ガ低落ヲ來シ、又ハ之ガ爲ニ會社ノ經營ガ困難トナッタ場合ニ於キマシテハ、申ス迄モナク染料工業ニハ大イニ力ヲ入レスケレバナラヌコトデアルカラシテ、其場合ニ於テ關稅或ハ其他ノ方法ニ依ツテ十分適當ノ保護獎勵ヲ講ズル考デアルト云フ御答辯ヲセラレタノデアリマス、又木材關稅ニ付キマシテハ、今回ノ案ハ大體我國ニ於ケル林業ノ根本的ノ方針ト云フモノヲ考ヘヌケレバナラス、又一面ニ於テハ今日外材ニ依ル我國ノ林業ノ打擊ト云フコトヲ考ヘテ、此提案ヲサレタノデアリマシテ、其大體ノ改正ノ要旨ハ從來樹種又ハ木材ノ形狀等ニ付テハ悉ク之ヲ細カク分ケナイデ、唯一本ノ稅率ヲ課シテ居ッタノデアリマスガ、今回ハ其木ノ種類竝ニ木材ノ形狀等ニ依ツテ相當細カク分類イタシテ、之ニ對シテ適當ナル稅率ヲ盛ツタノデアル、而シテ大體ニ於テハ資材ニ對シテハ從價一割二分五厘ヲ標準ト致シ、又製材ニ對シテハ從價二割ヲ標準アリマスガ、今回ハ其木ノ種類竝ニ木材ノ形狀等ニ依ツテ相當細カク分類イタシテ、之ニ對シテ適當ナル稅率ヲ盛ツタノデアル、而シテ大體ニ於テハ資材ニ對シテハ從價一割二分五厘ヲ標準ト致シ、又製材ニ對シテハ從價二割ヲ標準アリマスガ、今回ハ其木ノ種類竝ニ木材ノ形狀等ニ依ツテ相當細カク分類イタシタル所ノ從量稅ヲ以テ、之ニ依ツテ内地ノ林業ヲ保護セムトスルノデアル、無論之ニ對シマシテハ、工業用ノ材料タル所ノ樹種ニ對シマシテハ、更ニ低稅ヲ盛ツテ居ルノデアリマスガ、大體ニ於テ只今申上ゲマシタヤウナ稅率ニ依ツテ我國ノ林業ヲ保護セムガ爲ニ、此改正ヲ企テラレタト云フコトデアリマス、尙ホ林業ノ保護ニ付キマシテハ、政府トセラレマシテハ、單ニ此關稅

ニ依ツテ保護スルノミナラズ、根本的ノ方策ヲ立テヌケレバナラヌト云フ考ヲ致シマシテ、種々ノ施設ヲ計畫サレテ居ルノデアリマス、其説明セラレル所ニ依リマスト、造林促進並ニ林野保護奨励等ニ付テハ昭和四年度ヨリ始メマシテ昭和二十三年度ニ至ル二十年間ニ於キマシテノ根本的ノ方策ヲ立テ、造林促進ニ關シマシテハ、第一期二十年間ノ事業ト致シマシテ、造林ノ補助、樹苗養成ノ補助、森林組合ノ設立補助、森林利用ノ改善、山林會事業補助、或バ補助植林ノ設置ト云フヤナウコトニ付キマシテ、既ニ二十年間ノ第一期分ニ對シテ四千五百万圓程ノモノヲ計畫サレ、又此四年度分ニ付キマシテハ百三十餘万圓ニ該當スルノデアリマス、而シテ林野保護奨励ノ爲ニハ同ジク二十箇年ニ總額三百九十七万圓ノ支出ヲシ、此中四年度ニ於テハ七万六十圓ノ支出ニ依リマシテ林野ノ監視吏員ノ設置トカ、或ハ森林ニ電話ヲ架設スルトカ又ハ講習講話或ハ林野ノ巡視ヲ設ケルトカ、斯ノ如キ事柄ニ付キマシテ、長キニ瓦ツテ林政ノ根本方針ヲ立テテ、此關稅政策ト相俟ッテ我國ノ林業ヲ保護シヤウト云フ計畫ヲ立テタト云フ説明デゴザイマシタ、之ニ對シテ委員諸君ニ於キマシテハ、熱心ナル審議ヲ致サレマシタノデアリマス、其質疑應答等ヲ此處ニ於テ一々詳細ニ申上グルコトハ時間ノ關係上如何カト存ジマスルノデ對シマシテハ木材ノ關稅引上ニ依ツテ最モ影響アルノハ建築費デアル、所ガ此其中ノ主要ナルモノニ付テ此處ニ御紹介ヲ申上グマス、第一ニ關稅改正ニ依テ木材消費者ニ對シテドウ云フ影響ガアルカト云フ質問、デアリマス、ソレニ對シマシテハ木材ノ關稅引上ニ依ツテ最モ影響アルノハ建築費デアル、所ガ此建築費ノ中デ木材ハ大體三割ノ價格ヲ占メテ居ル、之ニ對シテ約一割ノ價格ノ昂騰アルモノトスレバ、其影響ハ建築費總體ニ對シテ百分ノ三位ノ影響ガアルノデアルト云フコトデアリマシテ、建築費ノ二三ノ御答ヲ具體的ノ例ヲ引カレテ説明ガアリマシタ、建築ニ付テハ此程度ノ影響ニ止マルノデアラウ而シテ我國ノ山林所有者ハ其戸數ガ四百六十戸モアルノデアリマシテ、相當多數ノ國民ノ死活ノ問題ニ關シテ居ルノデアルカラシテ、此際此程度ノ關稅ノ引上ハ已ムヲ得ナイデアラウト云フノデアリマス、又尤モ諸君ノ御手許ニモ色ム質問ガゴザイマシタ、之ニ對シテ政府ノ辯明セラレル所ニ依リマスル而シテ我國ノ山林所有者ノ側カラシテ意見ガ出テ居ルガ、其中ニハ或ハ資材ニ對スル課稅ガ重キニ過ギザルト云フノハ、政府トシテハ丸太ト割材トヲ一緒ニシテ、サウシテ之ヲ以テ原料材トシテ課稅ヲシテ居ラレル、割材ト云フモノハ

丸太ト比ベテ大變價格ガ高イノデアルカラ、此高イモノト丸太トヲ一緒ニシテ同一ニ課稅ヲセラレルノデスカラ、自然原料ト云フモノガ高イ稅ニナツテ居ル、斯ウ云フコトヲ云フノデアルガ、成程其丸太ト割材トヲ區別シテ細カク分ケテ課稅スルコトハ、分ケレバ分ケル程稅率ハ合理的ノモノニナルノデアルケレドモ、併ナガラ課稅ノ上カラ云ツテ、サウ細ク分ケルト云フコトハ困難デアラウ、大體ニ於テ割材ト云フモノハ原料材トシテ用キラレルモノデアルカラシテ、丸太ト割材トヲ一緒ニスルコト云フコトハ先づ已ムヲ得ナイモノト思ハレル、ト云フヤウナコトデアリマス、ソレカラ又製材業者側ニ於テハ資材ト加工材タル所ノ製材トノ間ニ於ケル開キガ少イト云フコトヲ申サル、ノデスガ、從來ノ現行稅率ニ依レバ原料材ハ無料デアル、之ニ對シテ製材ニ對シテハ從價六分ニ相當シテ居ル所ノ從量稅ガ掛カツテ居ルノデアルガ、尙ホ是ハ今日ノ木材ノ價格カラ見ルト七分乃至八分ノ割合ニ相當スルカモ知レヌ、併ナガラ今回ノ改正ニ依ルト、原木ニ對シテハ一割二分五厘ヲ標準トシテ、製材ニ對シテハ二割ヲ標準ト致シテ居ルノデアリマスカラ、其間差ト云フモノハ七分五厘ニ相成ツテ居ルノデアルカラシテ、先づ大體此程度ノ間差ヲ置イテ置ケバ、製材ノ輸入ヲ多ク來タスヤウナ心配ハナカラウト云フコトデアリマス、又非難サレル方カラハ、政府ノ輸入價格ノ標準ヲ單ニ昭和二年度一年ニ取ツテ居ル、併ナガラ是ハ昭和二年及三年ノ最近ノ二箇年ヲ平均シタモノヲ以テ標準トセスケレバナラヌト云フコトヲ申サレルノデアルガ、政府ガ此關稅改正ニ著手イタシタノハ昨年ノ夏デアル、是ハ當時ニ於ケル最近ノ價格ト云フモノハ、昭和二年度ト云フモノハ一番近イデアルカラシテ、其昭和二年度ノ最近ノ價格ヲ採用シタノデアル、而シテ多クノ場合關稅改正ニ當ツテハ、先づ最近一年ノ價格ヲ標準トスル例ニ相成ツテ居ルノデアルカラ、今回ニ限ツテ云フモノハ、昭和二年一度ト云フモノハ一一番近イデアルカラシテ、其昭和二年度ニ今回課稅スルコトニ相成ツタ結果、外國品ハ製材トナツテ日本ニ輸入ヲサレル、之ガ爲ニ我國ニ於テ幸ヒ近頃興隆シテ來タ所ノ製材業ニ對シテ非常ナ打撃ヲ與ヘルト云フコトヲ心配スルノデアリマスガ、從來米國ニ於キマシテハ我國ニ於テ最モ需要ノ多イ四分板ノ如キ板材ハ製造イタシテ居ラナイ、今後稅率ガ改正ニナツカラト云ツテ、我國ニ於テ特殊ノ需要品タル所ノ板材ヲ、米國ニ於キマシテ、特ニ工場ノ設備ヲ改善シ機械ヲ新シク設備イタシテ、他ノ國ニハ不向デアル所ノ我國ニ於テノミ多ク需要サレル所ノ板材ヲ製造サレ

ルト云フコトハ、餘程ノ危険ヲ負ハナケレバナラヌコトデアルカラ、米國ニ於テ製材トナッテ我國ヘ輸入サレ、我國ノ製材業ヲ壓迫スルト云フヤウナ心配ハ恐ラク杞憂デアラウト云フ答辯デゴザイマシタ、次ニ又滿洲ノ製材ニ對シテハドウ云フ影響ヲ持ツカト云フ質問ニ對シテハ、滿洲ノ奥地ヨリ日本ニ入ル所ノ板、木材等ハ現在三圓十錢又ハ一圓九十五錢ノ税率ヲ課セラレテ居ルノデアルガ、今回是ガ一圓十錢ノ低稅トナッタガ爲ニ、此點ヨリ見レバ滿洲ニ取ツテ有利デアル、併ナガラ安東縣ノ製材業ニ付テ考ヘルト云フト、現在朝鮮ニ於テハ關稅ニ對スル特例ガアリマシテ無稅ト相成ツテ居ルノデアルマスルガ、今回朝鮮ニ於テ特例ガ廢止セラレル結果、之ニ對シテハ此一圓十錢ノ輸入稅ガ適用サレルコトニナリマシテ、同ジク鴨綠江ノ對岸デアル朝鮮側ニ於ケル製材業者ト、安東縣ニ於ケル製材業者トノ間ニ於テ茲ニ特殊ノ差ガ生ズル譯デアルノデアリマスルカラシテ、此爲ニ滿洲ニ於ケル我國ノ製材業者ハ多少ノ打擊ヲ受ケルコトデアラウト思ハレル、併ナガラ政府ニ於テハ此點ニ付テハ考慮ヲシテ、此關稅ノ適用ヲ漸進的ニ進メルコトニシテ、四年度ニ於テハ先づ四十錢ノ課稅ヲスル、五年、六年ニ於テハ七十五錢、七年度以降ニ於テ初メテ原則タル所ノ一圓十錢ヲ適用スルコトニ致シテ居ル、尙ホ其他ニ是デモ滿洲ニ於ケル製材業者ノ打擊ガ止マナイト云フ時ニハ、相當考慮スル所ガアルノデアラウ、斯ウ云フヤウナ説明デアリマシタ、尙又今回木材關稅引上ニ依リマシテ、ドレ程ノ增收ヲ生ズルカ、而シテ木材關稅引上ゲニ依ツテ生ジタル所ノ增收ハ、大體林政ノ爲ニドレ程支出スルノデアルカ、其質問者ノ意思ハ此木材關稅引上ニ依リマシテ、生ズル所ノ增收ヲ以テ成ルベク林業保護獎勵ノ爲ニ使ツテ貰ヒタイト云フ御意思デアルヤウニ想像サレルノデアリマス、之ニ對シマシテ答ヘラレル所ニ依リマスルト、關稅增收ハ木材ノミニ付テ見マスルト四年度ニ於キマシテハ五百五十三万圓餘ニナル、五年度以降ニ於シテ七百二十二万圓、五年度ニ於キマシテ九百五十万圓、斯様ナ新規ノ施設ノ爲ニ支出ヲ增加スルコトニ相成ツテ居ルト云フコトデアリマス、主ナル質問ハ斯様ナ通リデアリマシテ、餘リニ細シク申上ゲマスルト時間ヲ要シマスノデ省キマスガ、此他ニ尙ホ或ハ森林保險ノコト、或ハ森林金融ニ關シ、或ハ民有林ノ基本調査ニ關シ、又ハ山林會、森林組合ノ狀況ニ關シ、又ハ南洋

材ニ對スル關稅ノ關係ニ付テ、或ハ又關稅引上ノ爲ニ我國ニ於テ山林濫伐ノ弊ガナイカト云フヤウナコトニ關シマシテ、種々御質問ガアッタノデゴザイマス、併ナガラ此際是ハ省略イタシマス、討論ニ於キマシテ或委員ハ木材ニ付キマシテハ、此法案實施ノ結果ハ外材ニ對スル課稅ノ率ガ引上ゲラレタガ爲ニ、我ガ製材家ニ對シテハ不適當ナル點ガアラウト思ハラレル、製材家ノ陳情ハ一理アルヤウニ思ハレルノデアル、サレバト云ツテ稅率ヲ細カクスレバ宜イヤウナモノデアルガ、之ヲ細カク定メルト云フコトハ又實行上困難ナ點ガアルノデアルカラ、此際ハ已ムヲ得ナイト思フガ、更ニ此製材業トノ關係ニ付テハ慎重ニ調查セラレタイ、或ハ調查ノ結果不權衡ナル點ガ發見サレルカモ知レヌ、ソレ等ノ場合ニ於テハ相當ノ考慮ヲシテ貴ヒタイ、又鴨綠江ノ對岸、安東縣ニ於テ製材スルモノト朝鮮側即チ新義州等ニ於テ製材スルモノトノ間ニ於テ同ジ我ガ日本人ガ製材スルノデアルガ、此間ニ於テ稅率ノ關係ニ於テ利害ノ相違セル點ガ起ツテ來ルノデアル、斯ウ云フ點ニ付テモ政府トシテハ今後能ク其經過ヲ注視シテ、當業者ノ言フ所ニシテ首肯シ得ベキモノガアッタナラバ、相當ノ考慮ヲシテ貴ヒタイ、斯様ナ希望ガ委員中カラアリマシタ、又二三ノ委員ヨリ染料ニ關シテ希望ヲ申述ベラレマシタ、染料ノコトタルヤ全ク我國ノ化學工業上、軍事上、極メテ大切ナコトデアルノデアル、之ニ對シテ政府ニ於テハ更ニ十分調査ヲシテ、此關稅ニ依ツテ保護ノ目的ヲ達シ得ルヤ否ヤト云フコトヲ十分考究セラレテ、改正ノ必要ヲ發見セラレタナラバ、來年度ニ於テモ改正セラレタイ、此重要ナル工業ヲ徹底的ニ保護シテ貴ヒタイト云フ熱心ニ唱ヘラレタノデアリマス、採決ノ結果ハ出席委員滿場一致異議ナク本案ヲ可決イタシマシタ、次ニ大正九年法律第五十三號中改正法律案ノ御説明ヲ申上ゲマスガ、是ハ朝鮮ニ於ケル關稅法又ハ關稅定率法其他ノ特例ノ廢止ト云フコトデアリマス、即チ朝鮮ニ於キマシテハ明治四十三年ニ韓國ヲ併合イタシマシタ際ニ、直ニ我國ノ關稅法或ハ關稅定率法等ヲ朝鮮ニ適用イタシマスルコトハ、當時ノ事情ヲ考ヘテ不適當デアルト云フ結果、十年間舊韓國ノ關稅ヲ其儘ニ適用サレテ居タノデアリマス、所ガ十年間ノ期間ガ大正九年ニ完了イタシマシテ、其際ニ關稅法或ハ關稅定率法等ヲ朝鮮ト内地トノ關稅ノ統一ヲ致スベキ筈デアッタノデアリマス、即チ大正九年當時ニ於キマスル特例ニ屬スル品目

ハ煙草、繩羊、木材、石油、馬、「コーエクス」、鹽、此七種デアツタノデアリマス、所ガ其煙草ハ大正十年ノ煙草專賣法ガ施行セラレマシタル結果、此特例ハ廢止ニナツタノデアリマス

〔議長公爵德川家達君議長席二幕外〕

又繩羊ハ内地ニ於キマシテ無稅トナリマシタ際ニ、朝鮮ニ於キマシテモ亦無
稅ト相成ツタノデアリマス、今日特例ト致シマシテ殘ツテ居リマスルモノハ、
木材、石油、馬、「コークス」、鹽此五種デアルノデアリマスルガ、時勢ノ進
運ニ鑑ミマシテ、今回此特例ヲ廢シテ全然朝鮮ト内地ト關稅ノ統一ヲ致サウ
ト云フノガ、此法律ノ改正ノ趣旨デアルノデアリマス、此中ニ付キマシテ、
矢張リ木材ハ委員諸君ニ於テ注意セラレマシテ、或ハ朝鮮ノ林業ノ狀況ト云
フヤウナコトニ付テモ細カイ質問ガゴザイマシタ、併ナガラ其木材ニ付テハ
先程ノ關稅定率法中改正ニ際シテ申上ゲマシタヤウナ點ニモ觸レテ居リマス
彼此レ關聯シテノ質問デアリマスカラシテ、此際茲ニ申上ゲマセヌ、大體斯
様ナ趣意デゴザイマシテ、探決ノ結果ハ滿場一致ヲ以テ是亦可決ニ相成リマ
シタ次第デゴザイマス、御報告イタシマス

〔長尾元太郎君演壇ニ登ル〕

○議長（公爵徳川家達君） 日程第十二、法律案、長尾元太郎君演壇ニ
ザイマスカラ、同君ノ發言ヲ許シマス、同君ノ登壇ヲ望ミマス
〔長尾元太郎君演壇ニ登ル〕

○長尾元太郎君 先刻委員長ノ報告ニナリマシタ關稅定率法中改正法律案ニ
對シテ贊否ヲ表シマスルニ當リマシテ、政府ニ御伺シタイノデアリマス、私
ノ御尋スルノハ、此法案中、主ニ木材關稅ノ引上ニ付キ農林大臣ニ御尋シ
タイト思ヒマス、此頃本案ガ提案ニナリマシタ當時ニ種々ノ御質問ガアリマ
シタノデアリマス、之ニ對シテ農林大臣ノ御答ニ曰ク、本案ニ依リマシテ得
ル所ノ收入ハ、決シテ地租委讓ノ補填ノ爲ニ増稅ヲスルノデハナイ、近時安
價ナル米材ガ多額ニ輸入セラレル爲ニ、内地ノ木材ハ非常ノ壓迫ヲ受ケマシ
テ、山林業ヲ主トスル所ノ山村ノ住民ハ頗ル窮状ニ陥ツテ居リマスルカラ、之
ガ救濟ヲ主トシテ、我國ノ林業政策ノ第一歩トシテ本案ヲ提出シタノデアル
トノ意味ヲ申サレタヤウニ存ジマス、私ハ之ニ依ツテ所謂林業政策ナルモノ
ニ付キ尙ホ農林大臣ニ御尋シタイノデアリマス、山本農林大臣ノ此頃御述ベ
ニナリマシタル通り、我國ノ林業政策ハ、單ニ林業ノミナラズ、農業ノ灌漑
用水上ニ對シマシテモ非常ニ大切ナルモノデアルカラ、林業政策ヲ立テルコ

トノ必要ナリト云フコトヲ御述べニナリマシテ、林業獎勵ニ付キマシテハ、大臣モ十分御了解ニナツテ居ルヤウデアリマスル、併ナガラ此救濟ノ方法タルヤ頗ル徹底シナイ所ノ方法デアルカト存ジマス、唯木材ノ關稅ヲ引上ゲマシテ、内地ノ木材ノ値上ヲ圖リマシテ、サウシテ林業ヲ獎勵スルト申サレマシタケレドモ、林業政策ノ根本タル所ノ植林ノ獎勵トシテハ、ソレハ間接ノ方法デアリマシテ、目下危急ニ迫テ居ル所ノ林業者ノ救濟法トシテハ、其效果ハ甚ダ僅少ニシテ甚ダ微溫的デアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、我國ノ國土ノ殆ド六割以上約七割ヲ占メテ居リマス所ノ林村ノ狀況ハ如何デアリマスルカ、年々ニ立木ハ伐採セラレルバカリデアリマシテ、植林ガ微々トシテ振ハナイノデアリマス、此儘ニシテ放任シテ置キマシタトキニハ、我國ノ山地ハ不毛ノ地トナリマシテ、林業上ノミナラズ國產上、治水上、電氣事業上非常ナル支障ヲ來シテ、實ニ由タシキ大事ニナルノデアリマス、サウナリマシタ曉ニハ、如何ニ悔イテモ取返シノ付カナイコトデアリマス、サウ云フ場合ニハ住宅用ノ木材ハ殆ド材料ガ無クナリマシテ、我ゝノ住宅材料ノ全部ニ對シマンシテ、外材ノ供給ヲ全部受ケネバナラヌヤウナ時代ガ來ルカモ知レマセスト存ジマス、又全國殆ド到ル處ニ點火サレテ居ル所ノ電燈ノ原動力タル水源ガ起ラナクナッテシマヒマシテ、暗黒ノ世界トナルノデアリマス、且又交通機關ノ主要タル所ノ電車ハ停止スルノ已ムナキニ至ルト存ジマス、一朝大雨ノ時ハ森林ノ雨水ヲ調節スルコトノ……山林ガ不毛ノ地ニナリマシタトキニハ直ニ大洪水トナリマシテ流レテ來マシテ、河水ハ溢レマシテ田畠ハ一朝ニシテ荒廢サレ、我ゝノ生命財產ト云フモノハ一夜ニシテ奪ヒ去ラレルヤウナコトモ頻々トシテ出來ルヤウニナルノデアリマス、ソレガ故ニ國策トシマシテ、山林政策ヲ徹底的ニヤラナケレバナリマセスト存ジマスルノデアリマス、少クモ年々立木ノ伐出サレルト面積ト同等以上ノ面積ニ對シテ、是非植林セシムルノ必要ガアルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ植林ノ獎勵ヲ第一步ニ、而モ直接ニヤルノガ山林政策トシテハ最モ急務デアルノデアリマス、山本農林大臣ハ此頃山林獎勵費ノ豫算モ計畫シテアルトノ御話デアリマシタ、又只今委員長ノ御報告ヲ承リマシテモ、昭和四年度、五年度ニ於テハ計上シテアルヤウデアリマスルガ、此重大ナル山林政策ノ爲トシテハ、餘り大キナ金額デハナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、尙ホ六年度以後ニ於キマシテモ其通り、尙ホヨリ以上ノ金額ヲ此山林政策ノ爲ニ繼續シテ御支出ニナル御

考ガアルノデアリマスカ、此點ニ付テ御答シタイノデアリマス、故ニ山林政策上尙ホ一步ヲ進メマシテ、今回ノ關稅改正案ヨリ舉ガリマスル所ノ增收入金ヲ山林保護獎勵ニ使用ナサレルコトハ出來ナイノデアリマスルカ、山林政策ノ爲ニ木材關稅ヨリ自然增收ニナル……增收シタル金ヲ山林保護ニ御使用ニナルコトハ、當然デアルカト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレガ故ニ將來年々此增收ニナリマシタル所ノ金ヲ其目的ニ向シテ御使用ニナサル御意思ハナイカト云フコトヲ御伺ヒシタインデアリマス、斯様ニナサレタナレバ色々御質問ノ……疑ヒヲ受ケラレマシタル地租委讓ノ收入減ニ補填利用スルヤウナ御疑モ受ケルコトモナク、又大臣ノ述ベラレマシタ山林保護ヲ基礎トスル所ノ政策ヲ確實ニ御證明ナサルコトガ、出來ルノデアルト存ジマス、又我國ノ如キ二千五百有餘年來皇統連綿トシテ變リナイ所ノ國體ニ於キマシテハ、今後モ勿論幾千万年無窮ニ繼續スルモノデアリマスルカラ、此國體上カラ考ヘマシテモ、國家百年後ノ計ヲナス所ノ山林植林經營ヲ徹底的ニ政府ガ獎勵シ、萬全ヲ期スルト云フコトハ最モ大切ナルコトデアルノデアリマス、然ルニ此大事業ニ對シマシテ、前述、大臣ノ述べラレマシタル如キ方法ニテハ甚ダ不徹底デアリマス、故ニ何カ他ノ政策ノ爲ニ本案ヲ提出セラレタノデハナイカト云フコトノ疑念ヲ生ズルノデアリマス、ソレ故ニ以上述ベマシタ如キ趣旨ヲ御實行ニナル御意思ハナイカト云フコトヲ、此際大臣ニ御尋シタイノデアリマス、真ニ農林大臣ハ山林政策ヲ重視セラレタナレバ此位ノ御決心ハナケネバナラナイト存ジマスルノデアリマス、以上述ベマシタコトニ對シ、詳細ナル御答辯ヲ御伺ヒシタイノデアリマス

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君)只今ノ長尾君ヨリノ御尋ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、今回提案イタシテアリマスル木材關稅ノ引上ハ固ヨリ山林政策ノ一部デハアリマスルケレドモ、全部デナイト云フコトハ勿論デアリマス、政府ハ山林ノ政策ニ付キマシテハ、只今長尾君ヨリ申述ベラレタ通リノ考ヲ以チマシテ、國策トシテ最モ大切ナルモノト考ヘマシテ、茲ニ從來ニ倍スル所ノ力ヲ費サナケレバナラナイト云フ考ヲ以チマシテ、計畫ヲ立テマシタ次第デアリマシテ、其計畫ノ端緒ハ既ニ本年度ノ豫算ニ現レテ居ル次第デアリマスルガ、是ハ決シテ一年ノ計畫デハナイノデアリマシテ、長ク相當期間將來ニ瓦ツテノ計畫デアルノデアリマス、唯併ナガラデス、造林ヲスル、植林ヲスルト

云フ方面ノ助長獎勵ト云フコトハ、固ヨリ大切デアリマスルケレドモ、同時ニ山林ノ生産物、就中木材ニ付キマシテ、其價格ガ相當ノ高サヲ保ッテ居ルト云フコトニ付テモ亦相當ノ心配ヲシナケレバ、如何ニ他ノ方面ニ於テ植林ヲ獎勵助長シヤウト致シテモ、材木ガ安クテ林業家ガ相償ハナイト云フ狀態ニ於テハ、造林、植林ノ目的ヲ到底達スルコトハ出來ナイト云フコトハ、私ガ申ス迄モナイコトデアリマス、ソレ故ニデス、關稅引上ニ依テ多少ナリトモ此方面ニ力ヲ添ヘヤウ、斯様ナ點カラ今回ノ提案ハ出發シテ居ル次第デアリマス、決シテ財源ヲ求ムルガ爲ニ、即チチヨット長尾君カラ御説モアリマシタガ、世間ノ彼此レ申スヤウニ、今回ノ政府ノ提案ニ係ル所ノ兩稅委讓ノ財源ヲ求メムガ爲ニト云フガ如キ考ヘハ毛頭ナイノデアリマシテ、此林業ノ政策ノ一部分トシテ提案シタル所ノ關稅引上ガ、是ガ成立イタスト云フコトニナリマスト、其結果ト致シテ六七百万ノ增收ガ茲ニ生ズルト云フニ過ギナインデアリマス、是ハドウゾ他ノ動機デナイ、山林政策ニ出發シタル提案ト云フコトハ、能ク御了知置キヲ願ヒタイト思フノデアリマス、山林ノ政策ニ付キマシテハデス、既ニ豫算ニ計上イタシテアリマスルカラシテ、大體御承知ノコト、存ジマスケレドモ、私ハ政府ガ唯關稅政策ノミニ依ツテ今日ノ林業ヲ助長シヤウト云フガ如キ考ヲ持ツテ居ルノデナクシテ、他ニ非常努力ヲ費シテ居ルノデアルト云フコトヲ御了知ヲ願フガ爲ニ、唯ホンノ一ツニツノ事例ヲ茲ニ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、現ニ本年度ニ於テ、豫算ニ於テ計上イタシテアリマスモノノ項目ダケヲチヨット一ツニツ申上ゲマスレバデス、大體ニ於テ私先達テ本會議ノ際ニモ申上ゲマシタ、此植林造林ト云フ方面カラ申シマスレバ、國有林ハ既ニソレぐ造林計畫ト云フモノガ立ツテ居ツテ著々トシテ是ガ行ハレテ居リマスノデアリマスガ、公有林及私有林ト云フモノニ付テハ、其様ニ參ッテ居ラナイノデアリマスカラ、此方面ニ力ヲ入レナケレバナラヌモノデアルト云フコトニ、私共ハ著目イタシタノデアリマス、即チ公有林ニハ其植付ヲ爲ス爲ニ市町村若クハ府縣ノ資力ガ足ラナイ場合ハ、國ガ代ツテ之ヲ造林シテヤツテ、後ニ於テ其成果ヲ國ト地方團體トノ間ニ於テ分ツト云フコトガ從來ノ公有林ノ官行造林ト云フ制度デアルノデアリマスガ、此制度ハ立ツテ居リマスケレドモ、數年來行政整理其他ニ崇ラレテ、遂ニ近年ニ至ツテハ名アツテ實ナシト云フ狀態ニナツテ居リマス、爲ニ公有林ノ植付ト云フモテノ計畫デアルノデアリマス、唯併ナガラデス、造林ヲスル、植林ヲスルト

片端カラ伐ルノミデアッテ、植付ハ十分之ニ伴ハナイ、十八九万、約二十万町歩ニ近イ伐採デ年々行ハレルニ對シテ、新ニ植付ヲシテ行ク分ト云フモノハ六七万町歩カ七八万町歩シカナイト云フ狀態ニナツテ居ル、之ニ對シテハ何等國家トシテ助長若クハ獎勵ノ方法ト云フモノガ立ツテ居ラナイノデ、ソレニ今回ハ、此公有林ノ官行造林ト云フコトガ今マデ段々ニ行ハレナクナツテ來テ居ル分ニ對シテ、更ニ新ニ此ニ力ヲ入レテデス、官行造林ヲ實行シテ行ク、是ガ先ヅ第一デアルノデアリマシテ、此分ニ對シマシテハ、昭和四年度ニ要求シタル金額六十五万圓デゴザイマシテ、五年度ニハ六十四万五千圓、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居リマス、ソレカラ民有林デゴザイマス、民有林ノ造林促進、是ハ矢張リ補助ノ形ニ依ルノデアリマスルガ、是ハ民有林其他造林促進ニ關スル經費トシテ要求シテアリマスルノデ、此全體ノ計畫ヲ申上グマスルトデス、公有林五十万町歩、社寺有林二十五万町歩、私有林二百十五万町歩合セテ三百万町歩ヲ造林促進ヲシタイト思フノデアリマスルガ、其中デハスル第一期分トシテ七十万町歩、之ヲ二十箇年ノ間ニ造林ヲサセヤウト云フ計畫、デアルノデアリマシテ、其外ニ之ニ伴フテ例ヘバ森林組合ノ設立ヲ促ス、是ハ極メテ必要ナコトデアルト云フコトハ、長尾サンハ岐阜地方ニ於カレテ森林ノコトニハ能ク御詳シイデスカラ御承知デゴザイマセウガ、例ヘバ林道ヲ開鑿スルトカ、或ハ防火工事ヲ施スト云フガ如キ森林經營ノ上ニ極メテ必要ナル事柄ハ、到底今日ノ個々ニ散在シタル小サナ山林業者デハ出來マセヌカラ、組合ヲ作ラシテ、サウシテ斯ノ如キ仕事ヲ行ハシムルト云フコトガ、是ガ又山林政策トシテハ最モ大切ナルコトデアリマスルガ故ニ、此方面ニ向ヒマシテデス、計畫ト致シマシテハ、四百万町歩ニ瓦ツテ組合ノ數ヲ四千設立サセルト云フノデアリマシテ、其第一期分トシテ二百八十万町歩ニ對シテ、二千八百組マシテ、ソレカラ森林利用改善ト云フ方面ニ向ヒマシテモ、同ジク林道、索道合ヲ拵ヘサセルスウ云フ計畫デアリマシテ、本年度ニ於キマシテハ、取敢ズ十万町歩ニ對シテ此計畫ヲ行ハシムルト云フコトニ相成ツテ居ルノデゴザイ云フヤウナコトニ付キマシテ、是モ同ジク第一期分ト致シマシテハ：一千八百團體ヲ拵ヘサセル積リニ此林道、索道ノ方ハナツテ居リマスルシ、木炭倉庫ノ方ハ九千棟ヲヤラセル、ソレカラ木炭籠ノ改良ノ方ニ向ツテハ約五十五万ト云フモノヲ改良築設サセルト云フコトニナツテ居リマシテ、是ガ全體ノ計畫デ

アリマスルガ、第一期分トシテ四百二十團體ヲ此林道、索道、貯木場ノ方ニ拵ヘサセル、木炭倉庫ノ方ハ二千百棟ヲ拵ヘサセル、ソレカラ木炭ノ改良竈等ヲ作ラセルコトニ付テハ十二万竈ヲ作ラセル、斯ウ云フ計畫ヲ第一期ノ計畫トシテ行ハセルコトニナツテ居リマス、其一部ガ今回ノ昭和四年度ノ豫算ニ計上サレテアル譯デシテ、其外山林會ノ補助トカ云フヤウナ細カイモノヲ合セマシテ、先刻委員長カラモ御報告ノ折ニ觸レラレテ居リマシタガ、第一期分ノ總額ガ四千万圓、之ヲ二十箇年ニ行フノデアリマシテ、ソレガ昭和四年度分ガ百三十五万圓、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、其外ニデス、此林野ノ保圓ト云フコトニナリマスノデスガ、是ガ即チ此林野ヲ監督シテ火災ヲ防止スルニ努メルトカ、或ハ電話ヲ架設スルトカ、講習ヲスルトカ、標札ヲ立テルトカ云フヤウナ事柄ニ是ダケノ經費ヲ投ズルノデアリマシテ、要スルニ此二十箇年程ノ間ニ此計畫ニ依リマスト、四千三百万圓バカリノモノヲ入レルト云フ計畫ニナツテ居リマス、ソコデ御尋ニハ今回ノ木材關稅引上ニ依ツテ得ル所ノ增收ヲ、之ヲ將來ノ山林政策實行ノ爲ニ投ズル意思ナキヤ否ヤト云フ御尋デアリマシタガ、マダ只今豫算計畫ニ於テ請求イタシテアルモノガ、是ガ山林計畫ノ全部デアルト云フコトハ私ハ申シマセヌ、マダ残ツテ居ルモノガ多モアルヤウニモ思ヒマスルシ、又之ヲ更ニモット計畫ヲ進メテ……言葉ヲ換ヘテ言ヒマスト、モウ少シ……科目ハ是ダケ、計畫ノ數字ハ是ダケトシテモ、モウ少シ經費ヲ増加スレバ宜イト云フモノモ、此中ニ澤山アルノデアリマスカラシテ、將來ニ於キマシテハ財政ノ都合ニ見マシテ、尙ホ更ニ此計畫ヲ充實スルコトモ一ツノ進メテ行カナケレバナラナイ道ト思ヒマスルト同時ニ、又此豫算計畫ニ現ハレテ居ラナイ、新タナ計畫モ立テ、之ニ附加ヘテ行カナケレバナラヌトモ思ツテ居リマスノデ、從ツテ之ニ付キマシテハ相當注意ヲ將來ニ於テモ要スルコトニ相成ルダラウト思ヒマス、但シデス、此木材關稅ニ全體ヲ見テ、而シテ歲出ト比較ヲ致シテ査定シテ掛カリマスカラ、此經費ヲ依ツテ生ズル所ノ收入ヲ是ニ全部引當テニスルト云フコトヲダ、只今カラ申上ゲルト云フコトハ私トシテハ致シニクイノデアリマスル、何トナレバ財政ノ限リハ出來ナイコトデアリマスルガ故ニデス、此木材關稅ノ增收ニ依ル所ノ經費ヲ之ヲ直接ニ山林政策ノ方ニ用キルコトニ致スノデアルト云フコトハ、

私ハ茲ニ申上ゲ兼ネルノデアリマシテ、併ナガラ繰返シテ申シマスルケレドモ、山林政策ハ決シテ今回ノ豫算計畫ヲ以テ盡キテ居ルモノデアリマセヌカラシテ、將來ニ於テハ尙ホ經費ヲ要スルコトト信ジマスルガ故ニ、當局ニ於キマシテ出來得ル限り財政ノ都合ヲ見計ラヒマシテ、此計畫ノ充實ヲ圖リタ

イト考ヘテ居ル次第デアリマス
○長尾元太郎君 簡單デアリマスルガ、モウ一度此席カラ質問シタイト思ヒ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○長尾元太郎君 只今農林大臣カラ御丁寧ナ御説明ヲ得マシテ、其點ハ満足ヲ致シマシタノデアリマス、併ナガラ其中ニ山林計畫ハ今後二十箇年ニ亘ツテ計畫ヲ立テタト、斯ウ云フ仰セノヤウデアリマス、之ニ對シテ四千三百万圓程ノ繼續支出ヲスル積リデアル、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、此中デ昭和四年ニハ七百万圓以上、五年ニハ九百万圓以上、御支出ニナルヤウナコトニ承リマシタヤウニ存ジマスルガ、サウシマスルト七百万圓ト九百万圓トヲ合セタモノヲ四千万圓カラ差引キマスルト殘リハ約二千五百万圓バカリノヤウニ考ヘラレマス、之ヲ昭和六年以降二十箇年ニ御支出ニナリマスト、僅ニ一年ニ百万圓バカリニナルヤウニ考ヘマスガ(聽取シ難シ)其點ヲ御説明願ヒマス、尙ホモウ一ツ承リタイノハ、只今關稅ノ引上ゲニ依ッテ得タ收入ヲ直接ニ之ニ使用スルト云フコトヲ今御答ハ出來ヌ、斯ウ云フ御話ノヤウニ承リマシタガ、ソレハ何カ特別ノ法律デモ設ケナイコトニハ直接ニ此モノニ使フト云

フコトハ出來ナイト云フ御答デアリマシタ、或ハサウカモ知レマセヌガ、承ル所ニ依リマスト、關稅ニ依ッテ得ル木材カラノ收入ハ約五六百万圓モアルヤウニ私ハ聞キ及ンデ居リマスルガ、其金額ニ相當スル以上ノ金額ヲ年々將來ニ於テ山林獎勵ノ爲ニ御使用ニナルコトハ出來ナイノデアリマセウカ、サウ云フ意味デ御尋ヲシテ居ルノデアリマス、此點モ御答ヲ願ヒマス

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 只今ノ御尋ハ直接ニ關稅ニ依ル增收ヲ山林政策

ノ方ニ用フルト云フコトデナクトモ、少クモ其金額ニ於テ、木材關稅ノ引上ゲニ依ッテ得ルダケノモノヲ將來山林ノ方ニ投ズル見込ミハナイカト云フ御尋デアッタ承知ヲ致シマス、只今申上ゲマシタ通リデス、昭和四年度ニ於キマシテハ七百万圓餘リ、六年度ニ於キマシテハ九百五十萬圓バカリノモノヲ

山林ニ投ズルコトニナッテ居リマスルガ、新規計畫ト致シマシテハ總額ニ於テ約四千三百万圓バカリノモノヲ計畫イタシテ居ル次第デアリマスケレドモ、是ガ即チ計畫ノ全部デハナインデアリマシテ、將來更ニ之ヲ種々又洩レテ居ル所ノ重要ナ計畫ヲ付加ヘテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、ノミナラズ今日ノ此立テタ計畫ニモ、モウ少シムヲ付ケテ行カナケレバナラヌカトモ思ツテ居ルノデアリマスノデ、從テ之ニ對スル所ノ經費增加ハ止ムヲ得ナイト思フノデアリマス、其經費ノ增加ガ丁度關稅增收ニ相當スルモノニナルカ、ドウカト云フコトハ、是カラ計畫ヲ立テテ行キマセヌト云フト、ハッキリ申上ゲ兼ネル次第デアリマス、但シ當局ニ於キマシテハ出來ル限り、財政ヲ許ス限リハ、此山林ノ方面ニ向ツテ相當ノ經費ヲ支出イタシテ、山林國策ノ遂行ヲ全ウセシメント欲シテ居ル次第デゴザイマス

○長尾元太郎君 只今ノ御答デ了解イタシマシタケレドモ十分其邊ニ、將來ニ於テ尙ホ此以上ニ山林經營ニ使用セラレルカ、又ハ昭和五年以後六年カラ(聽取シ難シ)是ヨリ減ルカ殲エルカト云フコトハ了解出來マセヌノデアリマス、マア此以上餘リ質問應答スルノハ會期切迫ノ際デアリマスカラ、此程度ニ考ヘラレマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ通告セラレテ居ル御方モゴザイマセヌシ、又別段發言モナイト認メマスカラ採決イタシマス、只今特別委員長ノ報告セラレマシタ兩案ヲ一括シテ問題ト致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筍隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマカヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴ

ザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異存ナイト認メマス

○子爵西路吉光君 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 贊成

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案共第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 兩案共第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌ

カ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十四ヨリ十七マデ法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長ノ報告ヲ求メマス

特許法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十二日

右特別委員長

子爵 東園基光

貴族院議長公爵徳川家達殿

實用新案法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十二日

右特別委員長

子爵 東園基光

貴族院議長公爵徳川家達殿

意匠法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十二日

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長
子爵 東園基光

○子爵東園基光君 只今上程イタサレマシタ特許法外三件ノ改正ニ關シマスル件ニ付キマシテ、特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上グマス、本案ハ去ル第五十一議會ニ帝國議會ノ協賛ヲ經マシタル改正民事訴訟法ノ實施ニ伴ヒマスル改正ガ主要ナル點デアリマス、特別委員會ハ前後二日間開會イタシマシテ、當局ノ説明ヲ求メマシタ、特許法、實用新案法、意匠法及商標法、何レモ民事訴訟法ノ規定ヲ準用イタシタモノガ多クゴザイマスルノデ、來ル十月ヨリ實施ニ相成リマスル民事訴訟法ノ趣旨ニ則リマシテ、此四法ノ準用ニ關シマスル點ヲ改正イタサレタノデアリマス、其重モナル點ヲ申上グマスルト、主トシテ手續ニ關シマスルコトデアリマスルガ、第一不適法ナル審判又ハ抗告審判ノ請求ノ處理ヲ鄭重ニ致シマスコト、尙且ツ迅速ニ致シマスコト、次ハ審判官ノ除斥及忌避デアリマスガ、是等ノ點デ不明デアリマス點ヲ明確ニ致シマシタ點デアリマス、第三ニ證據調ニ關シマスル規定ヲ整頓イタシマシタ點デアリマス、尙又抗告審判ニ關シマスル規定ノ足リマセヌ所ヲ補充イタシマシタ點モ四箇條程ゴザリマス、又再審ノ請求ニ付キマシテ取消ノ請求、ソレト原狀恢復ノ請求ノ區別ヲ廢シマシタノデアリマス、且ツ其爲ニ規定ヲ極メテ簡明ニ致シマシタ譯デアリマス、其他代理ニ關シマスル規定ヲ改正イタシマシテ、手續ノ進行ノ便ヲ圖リマシタコト、又法定期間ノ懈怠ノ結果、免除ノ手續ナドモ簡易ニ致シマシタノデアリマス、或ハ又通事ノ呼出及宣誓ニ關シマスル規定ヲ設ケマスル等、主トシテ是ハ手續ニ關シマスルコ

トガ主ナルコトデアリマス、質問ニ入リマシテ或委員ヨリハ、此準用ニ關シマスル規定ノ或ハ過ギテ居リハセヌカ、又ハ及バザル點ガアリハセヌカト云フヤウナ質問ガゴザイマシタガ、之ニ對シマシテ極メテ此點ニハ留意イタシタルコトヲ當局ノ説明モゴザイマシタ、尙又此民間ニ關係ノアリマスル團體ノ辦理士會トノ關係ハ如何デアラウカト云フヤウナ質問ニ對シマシテハ是ハ非公式ナガラ辦理士會等ノ意図モ打合サレマシテ、何レモ同意デアルト云フヤウナ答辯ヲ得タノデアリマス、大體此特許法外三法ニ付キマシテハマダ根本的ニ色ム重要ナル改正ヲ要スルモノガアルノデアリマス、併ナガラ是等ニ付キマシテハ、今回豫算デ決定イタサレマシタ中ニ、特許局ノ主管法規改正委員會ト申シマス、斯ウ云フ會ノ費用ガ確定サレテ居リマスルガ、之ニ依リマシテ明年度以降此重要ナル問題ニ對シマシテ更ニ慎重ナル審議ヲ遂ゲマシテ、他日法案ノ改正ヲ見ル時期ガアルデアラウスウ云フヤウナ答辯ヲ承リマシタ、斯ノ如ク重要ナルモノハ他日ニ残ツテ居リマスルガ是ハ何レモ手續キニ過ギマセヌノデ、來ルベキ改正民事訴訟法ノ改正ニ伴ヒマスル……改正ノ實施ニ伴ヒマスル結果此際最モ手續上急デアリ、且ツ簡單デアリ致シマスルモノヲ此際改正イタシマシタ次第デアリマス、討議ニ入リマシテハ何モ格段ナ議論モゴザイマセズ、出席委員滿場一致ヲ以テ原案ニ可決決定イタシマシタ次第デゴザイマス、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 通告ニ依リマシテ關直彦君ニ質疑ノ發言ヲ許シマス

○關直彦君 簡單デゴザイマスカラ自席デ……

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○關直彦君 特許法ノ改正ニ付キマシテ、國務大臣ノ御説明ヲ承リタイノデアリマス

〔聞エマセヌ「ト呼フ者アリ」〕

本案提出ノ御説明ニ依リマスレバ、民事訴訟法ノ改正實施ニ關シテ、之ト釣合ヲ圖ランガ爲ニ手續ヲ改良セシムルト云フ御説明デアリマシタ、然ルニ本案ヲ見マスルト云フト、第九十五條ノ忌避ニ關スル點デアリマス、民事訴訟法並ニ刑事訴訟法ニハ、忌避ノ決定ニ對シマシテハ即時抗告ヲ許スコトニナッテ居リマスガ、本案ニ付キマシテハ此決定ニ對シテハ異議ヲ申立テルコトヲ得ズト云フコトニ相成ツテ居リマス、ドウ云フ理由デ民事訴訟法並ニ刑事訴訟

ト特許法ノ審判トノ間ニ斯様ナ區別ガアリマスルカ、御説明願ヒタイノデアリマス、特ニ理由ガゴザイマスレバ本員ハ何事モ申シマセヌ、併ナガラ若シ大シテ理由ガゴザイマセヌデアリマスレバ、説明ノ御趣旨ニ從ヒマシテ、民事訴訟法、刑事訴訟法同様ニ、即時抗告ヲ許スト云フコトノ修正ヲ提出イタシタインデアリマス、若シ其修正案ヲ提案イタシマシタル節ニ於テ、當局ニ於キマシテモ御異議ガナケレバ御同意ガ出來ルコトデゴザイマセウカ、念ノシタインテ置キマス、ソレカラ今一ツハ九十一條デアリマス、九十一條ノ除斥ノ點ニ付キマシテ、「審判官ガ事件ノ當事者、參加人又ハ特許異議申立人ノ代理人ナルトキ又ハナリシトキ」トアリマスルガ、之ニドウ云フ譯デ、輔佐人ト云フモノヲ御除キニナリマシタノデアリマセウカ、他ノ民事訴訟法及ビ刑事訴訟法ニハ輔佐人ト云フコトガアルヤウデアリマス、本案ニ付キマシテノミ之ヲ御除キニナリマシタノハ如何ナル理由デアリマセウカ、或ハ特許ノ審判ニハ輔佐人ハナイト仰セラレルカモ知レマセヌガ、審判ニ對シテ上告ヲ致シマスル場合ニ輔佐人ガ存在シテ居ル、重モニ特許辦理士ハ大審院ヘ參リマスルト、概ネ輔佐人ト稱シテ居ルヤウデアリマス、矢張リ輔佐人モ同ジヤウニ代理人ト同ジャウナ權限デゴザイマスルカラシテ、之ヲ御加ヘニナリマスレバ完備ヲ致シマスルノカト存ジマスルガ、何故ニ御除キニナリマシタカ、此點ヲ承ハリタイ

見ノ趣旨ニ付キマシテ論議ノ餘地ガアラウト存ジマス、此種ノコトモ亦近ク開カレントスル委員會ニ付議シテ決定ヲ致シタイト存ジマス、幸ニシテ委員會ニ關スル豫算ハ貴衆兩院ヲ通過イタシテ居リマスカラ、遠カラズ之ガ開設ヲ見ルコトト存ジマス、左様ニ御了承ヲ願ヒマス

○關直彦君 只今ノ御答辯ハ甚ダ其要ヲ得ヌト存ジマスル、今回ノ御改正ハ民事訴訟法ト改正民事訴訟法ト手續ノ上ニ釣合ヲ取ルガ爲ニ改正ヲスルト言ハレタノデアリマス、只今伺ヒマシタル點ハ矢張リ手續上ノ點デアリマス、是等ガ即チ改正ヲ要スベキ點デアル、成程他日審査會ヲ設ケテ根本的ニ御改正デアルカモ知レマセヌガ只今私ガ伺ヒマシタヤウナ點ハ根本問題デモ何デモナイ、甚ダ枝葉ノ點デアル、手續上ノ頗ル枝葉ノ點デアリマス、故ニ此枝葉ノ點ニ付キマシテ、手續ニ矛盾ガナイヤウニ致スノガ相當デハナイカト思ヒマシテ伺ッタヤウナ譯デゴザイマス、強ヒテ御反對デアレバ致方アリマセヌガ、何等別ニ大シタ根本的ノムヅカシイ問題デアリマセヌ、ホンノ枝葉ノ點デアリマス、枝葉ノ點ニ付テ澤山御改正ニナツテモ少シモ御差支ナイト思ヒマス、別ニ審査會ノ慎重審議ヲ要スル問題デハナイト思ヒマスガ如何デゴザイマスカ

〔政府委員牧野良三君演壇ニ登ル〕
○政府委員(牧野良三君) 只今重ネテノ御質問ニ御答ヲ致シマス、御質問ノ御趣旨ハ敬承イタシマスル、當局改正案立案ノ方針ハ只今申述ベマシタ通リデアリマス、從テ其點ハ當局ノ考ヘト致シマシテハ、近ク開カレントスル委員會ニ付議スルノ方針デアリマス、從テ左様ノ方針ヲ維持スルコトヲ御了承ヲ戴キタイト存ジマス

○關直彦君 基本問題ニ付キマシテ論議ノ餘地ガアラウト存ジマス、此種ノコトモ亦近ク開カレントスル委員會ニ付議シテ決定ヲ致シタイト存ジマス、幸ニシテ委員會ニ關スル豫算ハ貴衆兩院ヲ通過イタシテ居リマスカラ、遠カラズ之ガ開設ヲ見ルコトト存ジマス、左様ニ御了承ヲ願ヒマス

○關直彦君 只今ノ御答辯ハ甚ダ其要ヲ得ヌト存ジマスル、今回ノ御改正ハ民事訴訟法ト改正民事訴訟法ト手續ノ上ニ釣合ヲ取ルガ爲ニ改正ヲスルト言ハレタノデアリマス、只今伺ヒマシタル點ハ矢張リ手續上ノ點デアリマス、是等ガ即チ改正ヲ要スベキ點デアル、成程他日審査會ヲ設ケテ根本的ニ御改正デアルカモ知レマセヌガ只今私ガ伺ヒマシタヤウナ點ハ根本問題デモ何デモナイ、甚ダ枝葉ノ點デアル、手續上ノ頗ル枝葉ノ點デアリマス、故ニ此枝葉ノ點ニ付キマシテ、手續ニ矛盾ガナイヤウニ致スノガ相當デハナイカト思ヒマシテ伺ッタヤウナ譯デゴザイマス、強ヒテ御反對デアレバ致方アリマセヌガ、何等別ニ大シタ根本的ノムヅカシイ問題デアリマセヌ、ホンノ枝葉ノ點デアリマス、枝葉ノ點ニ付テ澤山御改正ニナツテモ少シモ御差支ナイト思ヒマス、別ニ審査會ノ慎重審議ヲ要スル問題デハナイト思ヒマスガ如何デゴザイマスカ

案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳篠隆督君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クト云フ西大路子爵ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス、關直彦君ニ伺ヒマスガ、關君ノ修正案ハ文書ニシテ御作リニナツテ居リマスカ

○關直彦君 別ニ書イテハゴザイマセヌガ、此處デ草案ヲ讀上ゲマシテ差支ゴザイマスマイカ

○議長(公爵德川家達君) 基本問題ニ付キマシテ論議ノ餘地ガアラウト存ジマス、此種ノコトモ亦近ク開カレントスル委員會ニ付議シテ、諸君ガ御聽取リガ困難ダラウト思ヒマスカラ、演壇デ御述ヲ願ヒタウゴザイマス

〔關直彦君演壇ニ登ル〕

○關直彦君 趣旨ハ只今質問ノ節申シマシタ通リノコトデ、別段大シタ説明イタシタイト思ヒマスルガ、咄嗟ノ間ニ二十名ノ賛成ヲ得兼ネマスカラ若シ之ヲ出シマシタ時ニハ諸君ノ中カラ修正案ニ御賛同アラムコトヲ豫メ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 議長ハ最初日程第十四ヨリ第十七マデ一括シテ委員長ノ報告ガゴザイマシタカラ、一括シテ二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノコトヲ御諮リヲ致サウト存ジマシタガ、關君ガ只今日程第十四ノ法律案ノ第二讀會ニ移ッテカラ、修正案ヲ御提出ニ相成ル御豫告ガゴザイマシタカラ、便宜上日程第十四ノ議案ダケニ付テ採決ヲ致シマス、日程第十四、特許法中改正法律

○議長(公爵德川家達君) 少々御待チ下サイ……土方君ハドウ云フコトデゴ

〔土方寧君發言ノ許可ヲ求ム〕

○土方寧君 只今關君ガ提出サレマシタ修正案ヲ能ク聽取レマセヌデシタカ

ラモウ一遍伺ヒタイ
○議長(公爵德川家達君) 今書記官ヲシテ修正案ヲ朗讀ヲ致サセヤウト思ツ

テ居リマス

○土方寧君 左様デゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 而シテ諸君ニ念ノ爲ニ御注意ヲ致シテ置キマス
ガ、關直彦君ノ修正案ニハ議院法ノ命ズル所ニ依リマシテ、二十人以上ノ贊
成ヲ得マセヌデハ問題ト致スコトガ出來マセヌ、豫メ此事ヲ申上ゲテ置キマ
ス、念ノ爲ニ書記官ヲシテ關君ノ修正案ヲ朗讀イタサセマセウ

〔瀬古書記官朗讀〕

第九十一条第五號中「特許異議申立人ノ代理人」ノ下ニ「輔佐人」ヲ加フ

第九十五條第四項ヲ左ノ如ク改ム

忌避ヲ理由アリタル決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス之ヲ理

由ナシトスル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得
○議長(公爵德川家達君) 只今書記官ノ朗讀イタシマシタ通リデ間違ハゴザ
イマセヌカ

○關直彦君 間違ゴザイマセヌ

○議長(公爵德川家達君) 此修正案ニ定規ノ賛成ガナイト認メマスカラ……

○若槻禮次郎君 賛成

○佐竹三吾君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御起立ヲ願ヒマス

〔起立者……〕

○議長(公爵德川家達君) 十六人デゴザイマスルカラ定規ノ賛成者ガゴザイ
マセヌ、故ニ問題ト相成リマセヌ

○議長(公爵德川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイ
マセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵鶴筈隆督君 賛成
○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十八、酒造組合法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

酒造組合法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十二日

右特別委員長

土 方 寧

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔土方寧君演壇ニ登ル〕

○土方寧君 酒造組合法中改正法律案特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、此度ノ此改正案ノ要點ハ四ツ程ゴザイマス

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

ソレハ現行法ト改正案文ト御對照ニナレバ直グ分ルコトデアリマスシ、過日本議場デ大藏政務次官カラ巨細ノ御説明ガアリマシタカラ、繰返シテ申ス必

要ハナイト思ヒマスカラ略シマス、特別委員ハ去ル二十日午前ニ參集シテ、

先づ委員長副委員長ノ互選ヲ致シマシタ、直ニ第一回ノ委員會ヲ開キマシテ、

政府委員カラ大要本議場デ大藏政務次官カラアッタ御説明ト同様ナ説明ヲ聽

キマシタ、二三ノ質問ガゴザイマシタガ、委員ノ一人カラ改正案ト現行法ト

對照シテ見テ分リ易イ何カ材料ハ無イカ、有レバ提出シテ貴ヒタイト云フ希望ガアリマシテ、幸ニ豫メ用意シテアッタ見エマシテ、現行法文ハ黒字デソ

レカラ改正案文ハ朱字デ書入レタモノガ出來テ居リマシタ、ソレカラ昨日午

ヲ戴キマシタ、所デ委員ハ戴イタダケデアッテ、マダ讀ンデ居リマセヌカラ、

一應精讀ノ上、デナケレバ意見ノ決定ヲシャウモナケレバ、質問ノシャウモゴ

ザイマセヌカラ第一回委員會ハ此程度デ散會イタシマシタ、ソレカラ昨日午

後ニ第二回ノ委員會ヲ開キマシテ政府委員トノ間ニ質問應答ガアリマシテ、

タダケデ、ドナタモ反對ノ意見ヲ述ベル方モアリマセヌカラシテ採決シマシ

タ所ガ、全會一致デ可決イタシマシタ、委員會ノ經過等ハ時間ヲ省略スルタ

メ省キマスカラ速記録ヲ御覽ヲ願ヒタイ、委員長ハ此決議ニハ加ハリマセヌ、

委員長自身ハ實ハ組合法ハ根本カラ改ムベキモノヂヤナイカト云フ考ガゴザイマスノデ、ケレドモソレハ目前ノ問題外ノコトデアリマス、旁々、委員長ハ表決ニハ加ハリマセヌデシタケレドモ、他ノ出席委員全會一致デ可決イタシマシタ、此段御報告イタシマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筍隆督君 贊成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第十九、陪審法中改正法律案、政府提出、

衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

陪審法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十二日

右特別委員長

大島健一

貴族院議長公爵德川家達殿

〔大島健一君演壇ニ登ル〕

○大島健一君 陪審法中改正法律案ノ特別委員會ニ於キマシテ審議イタシマシタ經過ヲ簡単ニ申上ダマス、委員會ハ政府ノ説明ヲ聽キ、尙ホ幾多ノ質問應答ヲ重ねマシテ慎重ニ審議致シマシタ、デ本案ハ治安維持法ノ犯罪ハ其性質上陪審手續ヲ以テ審理スルニ適シナイ、故ニ陪審法ノ第四條即チ除外：

陪審除外規定ノ中ニ「治安維持法ノ罪」ナル一項ヲ加ヘマシテ、陪審ノ評議ニ掛ケナイコトニスルト云フノデアリマス、之ニ付テハ本會議並ニ委員會等ニ於テノ政府ノ説明ガゴザイマシタ、本會議ニ於テノ説明モアリマシタカラ

大體既ニ御承知ノコトデアリ、且ツ簡単ナ案デゴザイマスカラ、一ト纏メニシマシテ質疑應答ヲ一言申上ダマス、陪審員ハ冷靜ニシテ外物カラ動カサレズ、又公平ニシテ極ク公正ナル所見ヲ持シテ移ラヌト云フ性質ガ最モ肝要デ

アリマス、然ルニ廣イ地域ニ瓦リ多數犯罪ノ連累ガアルト云フヤウナコトニナリマスト、自然其地方人士ノ耳目ニ多クノ事柄ガ入りマスルデ、是等ノ人ガ言ッタコトヲ或ハ陪審員トシテ任務ノ上ニ付テ多少ノ便宜ヲ感ズルト云フコトモアリマセウケレドモ、其見聞スル所ハ必シモ正確デナイ、疎密輕重正鵠ニ當ッテ居ラヌト云フヤウナコトガ多イノガ普通デアリマシテ、從テ一方ニ偏シ公平ヲ缺クト云フヤウナコトガ普通有リ勝チナノデアリマス、即チ斯ウ云フヤウナ犯罪ニ對シテハ陪審員ノ評議ヲ取ルト云フコトガ甚ダ危險デアルト云フノデ、此既ニ規定サレ居ルガ如ク内亂トカ騒擾罪トカ云フヤウナモノハ、何レモ陪審員ノ評議ニ係ラヌヤウニ除外サレテ居リマス、治安維持法ノ犯罪ハ殊ニ其範圍モ廣ク又其性質トシマシテ長期間ニ瓦ツテ居リマスノデ、前申シタト同ジヤウナ感應ヲ人ニ與ヘテ居ルノデアリマス、現ニ此大檢舉後彼等ガ自分ノ主義ヲ擴張シ、又此主義ノ爲ニ捕ハレタル者ヲ救援スル爲ニ、

彼等ハ其捕ハレタル者ヲ共産黨ノ戰士トカ、或ハ勞農階級ノ前衛トカ云フヤウナコトヲ申シマシテ、之ヲ救フ爲ニハ下層階級ニ向ッテ「デモンストライキ」ヲ勧メル、多分「デモンストラチオン」ト云フ字ト「ストライキ」ノ二ツヲ結付ケタ魯威龍業ト云フヤウナコトデ、或ハ救援入費ヲ出セトカ、甚シイノハ工場或ハ農村等ニ向ッテ、是ガ救濟ノ爲ニ公判庭ヘノ動員ヲ行ヘ、前進ヲシロト云フヤウナコトヲ盛ンニ宣傳ヲシテ居リマス、斯ウ云フヤウナコトガ地方人士ニ感應ヲ與ヘマシテ、從テ其正シイ判断力ヲ誤ラスルト云フヤウナコトガアル、斯様ナコトガ政府當局並ニ委員ノ間ニ問答審議サレマシテ、委員會ニ於キマシテハ一人モ此案ニ對シテ反対ノ意見ハアリマセヌ、依テ決議ニ入リマシテ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、右報告申上ダマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵鶴翁隆督君 贊成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案全部ヲ問題ト致シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵鶴翁隆督君 贊成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第二十、船舶職員法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

船舶職員法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十二日

右特別委員長

若林賛藏

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔若林賛藏君演壇ニ登ル〕

○若林賛藏君 船舶職員法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過ヲ申上ゲマス、政府當局ノ本案提出ノ經由ハ、船舶職員法ハ明治二十九年ノ制定ニ係ルモノデアル、爾來三十八年ニ一度小部分ノ修正ガアッタノミデ、

其間三十年間ノ我國ノ海運ノ發達ハ顯著ナルモノデアル、例ヘバ二十九年ニハ登簿噸數ガ汽船ト帆船ト合セテ三十六万噸デアッタガ、現今ニ於テハ其十倍以上ノ三百七十五万噸ニナッテ居ル、汽船ノミデ……之ニ帆船ト植民地ニアル所ノ船ヲ合セルト優ニ五百万噸ニ達スル狀態デアル、航路ニ於キマシテモ二十九年ノ三月ニ初メテ歐洲航路ヲ開イタガ、其當時迄ハ近海航路トシテ

支那、印度、浦鹽等ニ國外ノ定期トシテ航海シテ居ルノミズアッタ、然ルニ現今ハ歐米等ノ遠洋方面ノミニテモ二十三線路アルノデアル、之ニ近海航路ノ支那、印度、南洋等ヲ合セルト五十四線路デアル、之ニ不定期ノ航海ノ盛ナル數トヲ合セルト、本邦船舶ノ航跡ハ世界海上ニ普キ盛況ヲ呈シテ居ル、

從テ船ノ形態モ大キクナリ、船用ノ機關モ亦甚ダ著シク進歩ヲ致シタノデアリマス、斯ノ如ク船舶ニ關スル諸般ノ事情ハ本法制定當時ニ比ベマスト、大イニ變化ヲ來シテ居ルノデアリマス、其間省令等ノ改正ニ依ツテ出來得ル限り本法ノ適用ノ便利ニ努メテ居ツタ、本法適用ノ便ヲ圖ツテ居ツタ次第デアル、

斯ノ如キ狀態デアルカラ船主、海員其他關係ノ方面カラ屢々之ガ改正ヲ請願シ、若クハ陳情シテ來ルノデアッタ、ソコデ十分調査考究ノ上本案ヲ提出シタ

次第デアル、斯ウ云フコトデアリマス、改正案ノ要旨ハ第一ハ船舶ノ大型船舶ニ付キマ・シテハ旅客船ト貨物船トノ區別ニ應ジテ乗組ノ職員ヲ増加スルコト、第二ハ機關部職員ノ配置ハ從來ハ噸數ノ大小ニ應ジテ配置シテ居タガ、

今度ハ機關ノ馬力ニ依ツテ配置スルト云フコト、第三ハ乙種免狀ノ者ハ是マデ近海航路ノ千噸未滿ノ船ニノミ乗ルコトニ制限シテアルガ、此法制定ノ當時ハ千噸ト云ヘバ相當ニ大キナ船デアッタニ相違ナイ、現今ノ狀態デハ近海航路ニ於テ千噸ト云フモノハ殆ド僅少ニナツテ、乙種免狀ノ者ノ活動スル範圍……使用スル範圍ガ極ク僅少ニナツタカラ、之ヲ一千噸迄擴張シテ、二千噸未滿ノ船ニ乘ルコトヲ得ル、斯ウスルノダ、第四ハ小型船舶ノ職員ニハ實地ノ經歷ヲ重ク見テ、學術試驗ヲ受ケズシテ即チ學術試驗ヲ行ハズシテ免狀ヲ授與スル所ノ途ヲ開イタ、斯ウ云フノデアリマス、ソコデ二三ノ質問應答ハアリマシタガ、全會一致ヲ以テ本案ハ可決イタシマシタ、御報告申上ゲマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筍隆督君 贊成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案全部ヲ問題ト致シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案全部ヲ問題ト致シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筍隆督君 贊成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第二十一、無線電信法中改正法律案、政

府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

無線電信法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十二日

右特別委員長

内田嘉吉

貴族院議長公爵德川家達殿

〔内田嘉吉君演壇ニ登ル〕

○内田嘉吉君 只今議題トナリマシタ無線電信法中改正法律案ノ特別委員會ノ経過及結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ガ委員會ノ議ニ付託ニ相成リマシテ、引直ニ委員會ヲ開キマシテ、例ニ依リマシテ正副委員長ノ互選ヲ致シマシテ、引續イテ會議ニ移リマシタ、主務大臣ノ説明ヲ承リ、更ニ委員ヨリ政府委員ニ對シテ種々ノ御質問ガアリマシタ、主務大臣ノ説明竝ニ政府委員ト委員トノ間ノ質問及應答ニ依リマシテ綜合イタシマシタ所ノ大體ヲ申上ゲタイト思ヒ研究ヲ遂ゲラレマシタノデアリマス、而シテ十一月下旬ニ及ビマシテ各國ノ線電信會議ガ開催イタサレマシテ、從前ノ規定ニナイ事項ニ付キマシテ種々

月ニ御批准ニ相成リマシテ本年ノ一月一日カラ實施ヲスルコトニ相成ッタノデゴザイマスル、此國際條約ノ實施ニ伴ヒマシテ現行法無線電信法ニ修正ヲ加ヘル必要ガアルコトガ、今回ノ無線電信法中改正法律案ノ提出ニナッタ

セヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

ガ制定ニ相成リマシタ當時ニアリマシテハ、無線電信ニ關スル局ト云フモノハ僅ニ八十有餘箇所ニ過ギナカッタノデゴザイマスル、然ルニ最近ニ於キマシテハ千五百有餘箇所ニ上ボツ居リマシテ、而モ其中ノ千有餘箇所ト云ノモノハ私設ニ屬シテ居ルノデゴザイマスル、加之無線放送ノ發達モ亦著シク、是ハ皆サンノ御承知ノ通リデゴザイマシテ、聽取者、即チ聽キ取り者ノ數ガ五十有餘万人ニ上ボツ居ル次第ニアリマス、從ヒマシテ電波ノ統制、若クハ無線電信、無線電話ノ取締上規定ヲ更ニ必要ト致スモノガ少ナクナインデアリマシテ、其發達ガ第二ノ理由デゴザイマシテ、即チ今回ノ改正案ガ起草セラレマシタガ、是ハ速記錄デ御覽ヲ願フコトト致シマシテ、簡單ニ申上ゲマスト云フト四ツノ點ヨリ成立ツテ居ルノデアリマス、第一ガ只今申上ゲマシタ電話ノ通信ノ祕密ノ保護ノ範圍ヲ擴張イタシマシタコト、第四ガ公衆通信ヲ無料取扱ヲ致シマスル、範圍ヲ擴張ヲ致シマシタコト、此四ツノ點ガ大體總括ヲ致シテ居ル譯デゴザイマスル、更ニ種々ナル罰則ガ設ケラレテ居リマスガ、是ハ現行法其他是ニ類例ノアリマスル法例ノ規定ニ照シマシテ權衡ヲ得ルヤウニ制定ガシテアリマスルノデアリマスル、終リニ一委員カラ段々無線電信無線電話ガ發達ヲシテ參ルニ付テハ、種々研究ニ從事スル人ガアッテ、或場合ニハ政府ガ干涉ヲスルト云フコトノ意見モアルヤウデアルガ、如何デアルカト云フ御質問ニ對シマシテ、政府ハ決シテ干涉ヲスルコトガナイ、斯ウ云フコトデアリマシタ、而シテ最後ニ討論ニ入リマシテ、大體皆サンガ贊成デアリマシテ、而シテ其場合ニ無線電信電話ノ發達ニ關シマシテ研究等ノアル場合ニハ政府ハ固ヨリ便宜ヲ與ヘテ助成ヲスルヤウニシテ貴ヒタイト云フ御希望ガアリマシテ、政府委員ヨリソレニ對シテハ勿論其通リニ取計フ積リデアルト云フ御答ガアリマシタ、滿場一致ヲ以テ原案ノ通り可決ヲ致シタ次第デゴザイマスル、御贊成アラムコトヲ希望イタシマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマスノ理由デゴザイマスル、更ニ我國ニ於キマシテモ外國ニ於ケルガ如ク無線電信、無線電話ノ發達ガ顯著ナルモノガゴザイマシテ、現行法ノ無線電信法

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案全部ヲ問題ト致シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ直ニ第三讀會ヲ開クト云フ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第二十二、大禮記念帝室博物館復興翼賛會事業費ノ補助ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

〔大禮記念帝室博物館復興翼賛會事業費ノ補助ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和四年三月二十日〕

右特別委員長

子爵前田利定

貴族院議長公爵德川家達殿

〔大禮記念帝室博物館復興翼賛會事業費ノ補助ニ關スル法律案
記念帝室博物館復興翼賛會事業費ノ補助ニ關スル法律案
昭和四年三月二十日〕

〔子爵前田利定君演壇ニ登ル〕

○子爵前田利定君 大禮記念帝室博物館復興翼賛會事業費ノ補助ニ關スル法律案、本案ノ特別委員會ハ去ル二十日ニ第一回ヲ開キマシテ、正副委員長ノ選舉後引續キ開會ヲ致シマシタ、本案提出ノ要旨ヲ申上ゲマスレバ、先般大

禮記念帝室博物館復興翼賛會ト申シマスル會ガ出來マシテ、去ル大正十二年大震災ノ災厄ニ罹リマシタル東京帝室博物館ヲ復興イタシマシテ、之ヲ帝室ニ獻上イタシ、帝室ノ文化的御事業ヲ翼賛シ奉ラウト云フノガ此會ノ目的デアリマシテ、之ニ要シマスル費用ガ約八百五十万圓、其中五百万圓ハ民間ヨリ寄附金ヲ集メマシテ、ソレニ充當イタシマシテ、殘リノ三百五十万圓ハ政府カラ補助ヲ請ヒマシテ、此事業ヲ達成シヤウト云フノガ會ノ事業デアルノデアリマス、然ル所此翼賛會ノ事業ガ進捗イタシマシテ、民間ニ於テ集メマスル所ノ寄付金モ大體見込ガ付キマシタノデ、政府ノ方ニ於キマシテモ、前記ノ補助金額ヲ昭和四年度ノ追加豫算ニ計上シテ提出スル運ビニ相成ツテ居ルノデアリマス、而シテ其財源ト致シマスル所ハ、造幣局ノ貨幣利益金ノ中カラ支出イタスノデアリマシテ、一應一般會計ニ繰入レルノ必要ヲ生ジマシタノデ、此法案ヲ提出相成ツタヤウナ次第デアルノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ簡単ナル一二ノ質問ノ後ニ討議ニ付シマシタル所ガ、委員ノ中カラ二人ノ簡單ナル賛成意見ガ出マシタノミデ、何等反對ノ意見モナク採決ニ入りマシタ所ガ全會一致ヲ以チマシテ可決ニ相成リマシタ次第デアリマス

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

以上御報告申上グマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言モナイト存ジマスカラ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筍隆督君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十三、鐵道營業法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

鐵道營業法中改正法律案
右別冊ノ通修正決議セリ依テ及報告候也
昭和四年三月二十二日

右特別委員長

候爵 西 鄉 從 德

貴族院議長公爵徳川家達殿

(特別委員ノ修正ニ係ル條ノミナ印刷シ其ノ
ノ他ハ之ヲ略ス小字及ハ修正ナリ
ノ區間及其ノ)

第十八條ノ四 前二條ノ規定ノ適用ヲ受クヘキ船舶ニ依ル運送ハ其ノ運送ノ
狀態ニ於テ鐵道運送ニ附屬シタルモノニ限り其ノ航路及之カ運送業者ハ命
令ヲ以テ之ヲ定ム

○議長(公爵徳川家達君) 佐竹副委員長ノ登壇ヲ望ミマス

〔「佐竹三吾君演壇ニ登ル〕

○佐竹三吾君 只今日程ニ上ボリマシタ鐵道營業法中改正法律案ノ委員會ノ

經過竝ニ結果ニ付キマシテ、委員長ヨリ御報告ヲ申上ゲル筈デアリマスガ、差
支ノ爲ニ私ガ代リマシテ御報告ヲ申上ゲタイト思ヒマス、鐵道營業法中改正
法律案ノ特別委員會ハ二回開會イタシマシテ、政府委員ヨリ提案ノ趣旨ヲ御
説明ヲ受ケマシテ、委員ヨリ色ニ御質問ガアリマシテ、其結果原案ニ付キマシ
テツノ修正ヲ致シマタノデアリマス、其修正ヲ致シマシタコトヲ御報告ヲ
申上ゲマスルニ先チマシテ、大體今回ノ鐵道營業法ノ改正法律ハドウ云フ點
ニ於キマシテ、現行法ヲ改メマスルカト云フコトニ付キマシテ、其要旨ヲ極ク
簡單ニ御参考ノ爲ニ申上ゲタイト思フノデアリマス、委員會ノ速記録ハマダ
御手許ニ配付ニナッテ居ラヌノデアリマスカラ、此際私カラ申上ゲマシタ方ガ
便宜カト考ヘルノデアリマス、今回ノ改正ノ要點ノ第一ハ、損害要價額ト
云フモノヲ定メル點デアリマスガ、鐵道ニ荷物ヲ託送イタシマシテ、ソレガ
滅失又ハ破損イタシマシタ時ニハ鐵道ニ對シテ損害賠償ノ請求ガ出來ルノデ
アリマスガ、其賠償ノ手續ハ商法ノ規定ニ依リマシテ、損害額ハ實際荷物ノ
引渡ヲ受クベカリシ時ニ於ケル時價ニ依ルト云フコトニナッテ居ルノデアリ
マス、又損害ノ程度ニ付キマシテハ荷主カラシテ證明ノ責任ガアルノデアリ
マスカラシテ、是等ノ點ニ付キマシテハ從來爭ガ多ク、從テ解決ガ困難デア
リマスカラ、今回之ヲ改メル爲ニ損害賠償ノ豫定額ト申シマスカ其額ヲ定メ
マシテ、若シ損害が發生シマシタ時ニハ、ソレダケノ額ノ辨償ヲ受ケル、其
代リニ表示料、一種ノ保險料ノヤウナモノデアリマスガ、表示料ヲ拂フコト
ニナッテ居ルノデアリマスカラ、此規定ガ出來マスル結果荷主竝ニ旅客ハ手荷物或
ハ貨物ノ損害ニ對シマシテハ、鐵道トノ間ノ面倒ガ非常ニ簡單ニ解決スルコ
トガ出來ルノデアリマスカラ、確ニ現行法ニ對シマシテ便利ノ改正ト考ヘル
ノデアリマス、第二ノ改正ノ點ハ引渡期限ヲ鐵道デ定メマシテ、其期限内ニ運
送ヲ完了イタシマセヌ時ニハ、延著トシテ鐵道ニ於テ損害ノ賠償ヲ拂フ規定
デアリマス、是モ現行法ニハナイノデアリマシテ、鐵道ガ貨物ノ輸送竝ニ其引
渡ニ付キマシテ責任ヲ負フト云フコトヲ之ニ依テ明ニスルコトガ出來ルノ
デアリマスカラ、此點モ現行法ニ對シマシテ大變便利ニナルト思フノデアリ
マス、第三ノ點ハ鐵道ト自動車、船舶、軌道、索道等、他ノ運送機關トノ連
絡輸送ヲ致シマシタ時ニ、ツノ切符デ通シ運送トシテ取扱フコトガ出來ル、
斯ウ云フ規定ヲ設ケマシタノデアリマス、其結果鐵道營業法ハ鐵道ニ對シマ
シテノ規定デアリマスルケレドモ、通シ運送ヲ致シマスル場合ニハ、船舶、

軌道、自動車、索道ニモ鐵道營業法ノ中ノ或規定ヲ準用イタシマシテ、一般利用者ノ便宜ヲ圖ルト云フコトデアリマスカラ、是モ亦現行法ニ對シテ一段ノ改善ヲ加ヘタル規定ト認メラレルノデアリマス、其次ノ改正ノ點ハ鐵道ト船舶ノ通シノ運送ヲ致シマスル時ニ、全運送區間ニ對シマシテ一定ノ運送状ヲ發行スル、又一定ノ貨物引換書ヲ發行スルト云フコトニ依テ、荷主ハ多大ノ便宜ヲ受ケルノデアリマス、其規定ヲ今回新ニ鐵道營業法ニ入レマシテ、即チ鐵道營業法ハ此點ニ於キマシテハ、鐵道ノミナラズ船舶ニ付テモ矢張リ適用ノアルコトニナルノデアリマス、是モ亦便利ニナル規定ト認メラレルノデアリマス、然ルニ鐵道ト船舶トノ通シノ運送ヲ致シマスルニ付テ、船舶ノ範圍、航路、船舶業者等ニ對スル制限ヲ加ヘムトスルノガ、第十八條ノ四ノ規定デアリマス、然ルニ此制限ガ實際ニ於キマシテハ、餘リニ狹クナリマスルト云フト、其便益ガ非常ニ少ナクナルノデアリマスカラシテ、其制限ヲ加ヘル程度ヲ命令ニ讓リマシテ、命令ヲ以テ定メルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、以上申上ダマシタ數點ガ現在ノ鐵道營業法ニ對スル改正ノ要旨デアリマシテ、特別委員會ニ於キマシテハ、大體ニ於テ此改正ニハ委員ノ全部ガ贊成ヲ致シタノデアリマスガ、唯之ニ對シテ二三ノ質問應答ガ重ネラレタノデアリマシテ、是カラ其質問應答ノ要旨ヲ申述ベマス、第一ノ點ハ今回賠償額ヲ豫メ定メルト云フコトハ、確ニ現行法ニ對シテハ一ツノ進歩デハアルケレドモ、モウ一步ヲ之ヲ進メマシテ損害保險契約ヲ締結スルト云フコトハ、最近ニ於ケル獨逸、白耳義、喫地利等ニ於キマシテ實行ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ規定ヲ新ニ設ケルト云フ考ヘハナイカ、損害保險契約ニ關スル研究ニ付テ當局者ノ意見ヲ一委員カラ尋ねマシタノデアリマスガ、之ニ對シマシテ政府ノ答辯ハ、保險契約ニ付テハ十分調査研究ヲ重ネタケレドモ、目下ノ狀態ニ於テハ今回ノ改正ヲ以テ足レリトスルト云フ答辯デアリマシタ、第一ノ質問ノ點ハ、損害要償額ノ爲ニ拂ヒマスル表示料ノ額竝ニ引渡期間ノ定メ方、是ハ何レモ命令ヲ以テ定メルコトニナツテ居ルノデアリマシテ、ニナリマスレバ、折角法律ヲ改正シテ便宜ヲ圖リマシテモ、ソレダケノ利益其命令ガドウ云フ風ニ定マルカト云フコトハ、立法府ノ關與スルコトノ出來ナイコトニナツテ居ルノデアリマス、從テ若シ表示料ガ非常ニ高イト云フコトテ定メルコトニナリマシテ、其命令ノ定メ方ガ若シ短キニ失シマスルト云フ

ト、國有鐵道並ニ此適用ヲ受ケマスル民間ノ鐵道會社ニ於キマシテ、隨分迷惑ヲスルコトニナルノデアリマス、サウカト申シテ、此期間ヲ非常ニ長ク致改正案ヲ實行スルニ付キマシテ極メテ大切ナコトデアリマスケレドモ、全部命令ニ規定ガ讓ラレテ居ルノデアリマスカラ、寧ロ其中ノ或モノヲ法律ニ定メテ、サウシテ行政府ニ於テ勝手ニ動カスコトノ出來ナイヤウニシタ方ガ宜クナイカト云フ意味ノ質問ガアツタノデアリマスガ、之ニ對シマシテ鐵道當局ニ於キマシテハ、其趣旨ニ於テハ異存ハナイノデアリマスケレドモ、何分此定メ方如何ト云フコトヲ法律デ一定イタシマスルト云フト、後日之ヲ變更スルノニモ非常ニ手數ヲ要スルノデアリマスカラ、取敢ズ命令ニ依ッテ適當ナル標準ヲ定メ、實行ノ結果ニ依ッテ、更ニ之ヲ法律ニ改メルト云フヤウナコトニシタ方ガ便宜デアルト云フ答辯デアリマシタ、第三ノ質問ハ鐵道ト連帶ヲ致シマスル自動車等ニ付キマシテハ、現在ハ自動車ノ免許ニ關スル法規モ營業取締ノ法規モ誠ニ不完全ナモノデアリマシテ、從テ鐵道營業法ニ於テ營業上ノ取締ヲセムト致シマシテモ、現在ハ府縣令ヲ以テ取締ヲ致シテ居ルヤウナ區々ナル取締ノ狀態デアリマスカラ、之ヲ改メザル限リハ折角ノ法律ガ、其運用ヲ見ル上ニ於キマシテ不都合ヲ生ズルノデアリマシテ、其點ニ於テ鐵道當局ノ意嚮ヲ質シマシタ所ガ、是等ノ法規ノ不完全ハ目下調査中デ、出來ル限り早ク適當ナル法規ヲ定メテ、議會ノ協賛ヲ受クベキモノニ付テ其手續ヲ執リタイト云フコトデアツタノデアリマス、以上ガ改正案ニ對スル質問應答ノ中ノ主ナルモノデアリマスガ、ソレニ引續キマシテ、第十八條ノ四ノ規定ニ付テ、此規定ハ第一意味ガ不明デアル、其意味ヲ申上ゲマスト云フト、「前二條ノ規定ノ適用ヲ受クヘキ船舶ニ依ル運送ハ其ノ運送ノ狀態ニ於テ鐵道運送ニ附屬シタルモノニ限リ其ノ航路及之ガ運送業者ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トスウ云フノデアリマスカラ、運送ノ狀態ニ於テ鐵道運送ニ附屬シテ居ルト云フ船舶運送、ドウ云フ船舶運送ガ鐵道ニ附屬スル、ドウ云フ船舶運送ガ鐵道ニ附屬シナイカト云フコトハ、誠ニ不明瞭ノ言現ハシ方デアリマシテ、船舶ノ輸送ハドコ迄モ鐵道ノ輸送ト別々デアルベキデアリマスカラ、附屬シタル云々ト云フコトノ此句ハ意味ガ不明デアルト云フコトガ第一ノ疑デアリマス、第二ノ疑ハ船舶ト鐵道ト通シ運送ヲシマスルモノニ付テハ、鐵道運送ニ附屬シタ

ルモノニ限^ツテ命令ヲ以テ定メル、附屬セザルモノニ付テハドウスルカト云フコトガ、全ク不明デアリマスカラ、附屬シタモノヲ假ニ原案通リ認メルト致シマシテモ、附屬セザルモノニ付キマシテハ、無制限ニ認メルト云フヤウナ風ニ誤解ヲ受ケル虞レガアリマシテ、併シ之ヲ起草サレマシタ立案ノ意味ヲ承リマスルト、附屬セザルモノニ付テハ、全然之ヲ認メナイト云フ意味デアルト云フコトデアリマスカラ、サウ致シマスト却テ此條文ノ言現ハシ方ガ疑ヲ起ス、是ガ第二ノ疑問ノ點デアリマス、ソレカラ第三ノ疑問ノ點ハ、斯ノ如クニ鐵道ト船舶トノ運送ノ關係ヲ狹ク解釋スル必要ハナイヂヤナイカ、實質的ニ考ヘマシテ、現在鐵道ト船舶ト運送ヲ連絡致シテ居リマス、所謂通シ運送ヲ致シテ居リマスル航路ガ全國ニ瓦^ツテ五十四航路アルノデアリマス、其五十四航路ノ中ニ於キマシテ、鐵道省ノ直營ヲ致シテ居リマス分ハ、其中ノ僅ニ數航路ニ止ルノデアリマス、其外ノ航路ハ近海郵船デアルトカ、或ハ其他商船會社等船會社ノ經營デアリマスカラ、若シ鐵道ノ直營ノ船舶輸送ニ付キマシテ、鐵道トノ通シ運送ヲ認メマスナラバ、船會社ノ場合ニ於キマシテモ、同様ノ取扱ヲシテ差支ハナイト云フコトデ、實質カラ申シマシテモ、斯ノ如ク制限スルノハ不適當デアル、即チ此條文ノ意味ガ不明デアルト云フ點ト、ソレカラ誤解シ易イト云フ點ト、モウ一ツハ實質的ニ斯ノ如ク狹ク制限スルト云フコトハ其當ヲ得ナイ、此三ツノ理由ニ依リマシテ、此字句ヲ修正イタヌコトノ動議ガ出マシタノデアリマス、其動議ハ委員會ノ全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタノデスガ、其意味ハ御手許ニ配付サレテアリマス如クニ「前二條ノ規定ノ適用ヲ受クヘキ船舶ニ依ル運送ノ區間及其ノ運送業者ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」、即チ運送ハ「其ノ運送ノ狀態ニ於テ鐵道運送ニ附屬シタルモノニ限り其ノ航路及之カ」ト云フ文字ヲ削リマシテ、運送ノ區間及其運送業者ハ即チ其運送ノ區間ヲ營業イタシテ居リマス船舶運送業者ハ、命令ヲ以テ之ヲ定メル、斯ウ云フコトニ致シマスルト云フト、原案ニ對スル一ツノ疑ガ解ケマスルシ、又實質上ノ制限モ之ニ依^ツテ廣クナルノデアリマスカラ、斯ウ云フ風ニ修正ヲ加ヘルコトガ適當デアルト云フコトニ委員會ハ決議イタシタノデアリマス、サウシテ其決議ノ理由ト致シマシテ、尙ホ遞信當局ニ對スル希望ガアリマシタノデアリマスガ、ソレハ船ニ關スル監督權ハ遞信大臣ノ所管ニナ^ツテ居ルノデアリマスルガ、其船ニ付テ鐵道營業法ヲ適用スル或ハ鐵道ト通シ運送ヲスル時ニ、鐵道ノ爲ニ出來テ居リマスル貨物引換證ノ規定ヲ船ノ運送ニ

モ當嵌メルト云フコトハ、遞信省デハ非常ニ御嫌ヒノヤウニ見エル、詰リ遞信省ハ船ノコトハドコ迄モ鐵道ト區別シテ取扱フト云フヤウナ風ニ從來往々サウ云フ風ニ誤解ヲ受ケル點ガアルノデアリマスカラ、此改正案ノ趣旨ヲ十分徹底サセマス爲ニ、遞信省ハ從來ノ態度ヲモット包容力ヲ大ニセラレマシテ、大ニ襟度ヲ示サレマシテ、鐵道ト船トノ關係ニ付キマシテハ鐵道營業法ヲ適用シ、或ハ鐵道ニ關スル種々ナル取締規定ヲ船ニ適用シテモ、實際ニソレガ便宜デアレバ、其便宜ヲ主トシテ定メルト云フコトニシテ戴キタイ、殊ニ此規定ヲ運用スルノニハ矢張リ命令ヲ以テ定メルノデアリマスカラ、其命令ニハ遞信大臣ト鐵道大臣ト合議ニ依ツテ定マルノデアリマスカラ、其命令ヲ御相談ナサル際ニ於キマシテモ、只今申述ベマシタ如キ趣旨ノ下ニ於テ遞信省ハ十分寛大ナル態度ヲ以テ鐵道ト協調シテ、成ルベク一般荷主ノ便宜ヲ御考へ下サッテ、サウシテ此命令ヲ御定メニナラムコトヲ希望スルト云フ、サウ云フ意見ガアリマシタノデアリマス、併セテ御報告ヲ申上グル次第デアリマス、委員會ノ經過竝ニ結果ハ以上御報告申上ゲタヤウナ次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵秋元春朝君 贊成

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 櫛筈子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛筈隆督君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) 櫛筈子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ
部一括シテ問題ト致シテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛筈隆督君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵秋元春朝君 贊成

○議長（公爵徳川家達君） 櫛笥子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 第十八條ノ四ニ委員會ノ修正ガゴザイマスガ、全
部一括シテ問題ト致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵秋元春朝君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 柳筍子爵ノ直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クト云フ動議
ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十四、二十五、政府提出、衆議院送付、
第一讀會ノ續、委員長報告

關稅定率法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十二日

右特別委員長
子爵 八條 隆正

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正十三年法律第二十四號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十二日

右特別委員長
子爵 八條 隆正

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵八條隆正君演壇ニ登ル〕

○子爵八條隆正君 只今議題ニ供セラレマシタル關稅定率法中改正法律案並
ニ大正十三年法律第二十四號中改正法律案、兩案ノ特別委員ノ經過並ニ結果
ヲ御報告イタシマス、兩法案ノ關係ヲ申上ゲマスルト、大正十三年法律第二
十四號ト申シマスノハ、所謂贅澤品等ニ對スル輸入税ニ關スル法律デゴザイ

マス、即チ十割關稅ノ法律デアルノデアリマス、是ハ大正十三年ニ發布ニナリ
マシタモノデアリマスガ、其後大正十四年ニ一度改正ガアリマシテ若干ノ贅
澤品トシテノ關稅ヲ削除サレタノデアリマスガ、今回更ニ此中ヨリ時代ノ推
移ニ鑑ミラレマシテ、贅澤品トシテ取扱ハナイト云フコトニサレマシタノデ
茲ニ此改正案ヲ提出サレタノデアリマス、此贅澤品關稅ノ改正トシテ削除セ
ラレマシタ結果、ソレ等ノ品目ハ當然關稅定率法ノ適用ヲ受ケルコトニ相成
ルノデアリマスルガ、嘗テ大正十五年ノ關稅一般改正ノ際ニ於キマシテ、十割
關稅ノ掛カッテ居リマスル品目ハ關稅定率法ノ停止狀態デアリマシタガ爲ニ、
其改正ハ試ミラレナカッタノデアリマス、從テ今回此贅澤品關稅ノ改正トシテ
削除セラレマシタル品目ハ、此古ク行ハレテ居リマス所ノ關稅ガ適用サレル
譯ニナルノデアリマスカラ、一方ニ於キマシテ贅澤品トシテ取扱ハナクナッタ
ト共ニ、是等ノ品目ノ税率ヲ改正スル必要ヲ生ジタ、斯ウ云フ譯ナノデゴザ
イマス、此贅澤品關稅ノ創立セラレマシタ時ニハ、其品目ハ百二十四種アリ
マシタノデアリマスルガ、十四年改正ニ於キマシテ此中四種バカリ削除セラ
レマシテ、現在殘ツテ居リマスルノガ百二十種デアリマス、之ニ對シテ今回全
然削除サレマスモノガ十五種デ、部分改正ヲサレマスモノガ六種アルノデア
リマス、委員會ニ於キマシテハ、政府委員ヨリシテ改正サレルベキ各品目ニ
付キマシテソレノ御説明ガアッタノデアリマス、大體ニ於テ今回改正サレマ
スモノハ食料品トシテ一般ニ使用セラレルモノ、又體育獎勵ノ爲ニ前ニ於キ
マシテハ贅澤品トシテ見テ居ツタモノヲ今回贅澤品トシテ取扱ハナイヤウニ
セムトスルモノ、又文化教育用ノモノ、或ハ公共的ノ用途ニ供セラレルモノ、
又輸出品ノ原料ニ供セラレルモノ、或ハ贅澤品ト見ズシテ寧ロ實用的ノモノ
トシテ取扱フベキモノ、斯ノ如キモノニ對シテ改正ヲ試ミラレムトスルノデ
アリマス、此中ニ付キマシテ委員會ニ於キマシテ論ゼラレタモノニ付キ、少シ
ク御紹介申上ゲマスレバ、先づ第一ニ食糧品ニ於キマシテ、今回紅茶、「コ
ヒー」、或ハ「ジャム」「ビスケット」ノ如キモノニ對シマシテ從來十割關稅ガ
掛シテ居リマシタモノヲ之ヲ削除イタシマシテ、別個ノ税率ヲ盛ラレタノデア
リマス、之ニ付キマシテ委員中ヨリ致シマシテ、今日ハ我國ノ國際貸借ト云
フモノハ極メテ憂フベキ場合デアルノデアル、從テ國民ハ最モ節約ニ心ヲ掛
ケマシテ、輸出輸入ノ均衡ヲ圖ラヌケレバナラヌ、ソレガ爲ニハ國產品ノ獎
勵ト云フモノヲセヌケレバナラヌ場合デアルノデアル、然ルニ此紅茶、「ビス

ケット」「ジャム」ノ如キモノハ我國ニ於テ相當生産サレルノデアル、何モ好ン
デ外國品ヲ用キルニ及バナイノデアル、外國品ヲ用キムトスルガ如キコトハ
課スルコトハ敢テ差支ナイノデハナイカ、然ルニ之ヲ低稅ニ引直サムトスル
コトハ我國策トシテ甚ダ取ラヌ所デアル、甚ダ改正ノ趣旨ノアル所ヲ知ルベキモ
ニ苦シムト云フ御意見ガアリマシタ、之ニ對シテ政府ノ答ヘラレル所ニ依リ
マスルト、紅茶「ビスケット」「ジャム」ノ如キハ寧ロ嗜好品トシテ見ルベキモ
ノデアルノデアル、今日左程上流ノ社會ニアラズトモ是等ノ嗜好品ハ一般ニ
用キラレルノデアルカラシテ、之ヲ贅澤品トシテ取扱フノハ如何カト思フ、
又他ノ食糧品トノ均衡モアルコトデアルカラシテ、十割ノ關稅ハ重キニ失ス
ル、故ニ普通關稅ニ引直スノデアルガ、併ナガラ嗜好品ト云フ點ニ鑑ミテ普
通品トシテモ左程低稅デハナイノデアッテ、可ナリ高イ課稅ヲシテ居ルノデア
ル、斯ウ云フ説明デアリマス、尙又政府ハ進シデ此「ビスケット」ノ如キ、或
ハ紅茶ノ如キ、内地ニ居住シテ居ル所ノ外國人等カラシテ往々不満ノ聲ヲ聞
クノデアル、日本ニ於テハ食糧品ハドウモ高イ、日本ニ居ツテモ甚ダ食糧品
ノ……外國人ノ我ミノ攝ル食糧品ニ對スル課稅ガ高イ、不愉快デアルト云フ
ヤウナ聲ヲ聞クノデ、是等ノ點ニ考ヘマシテ他ノ食糧品トノ權衡モ計リ、低
下スルノガ適當デアルト考ヘタノデアル、斯ウ云フ説明デアリマスルガ、委
員ノ中ニハドウモソレハ仕方ガナイノデアル、我ミ日本人トテモ外國ニ行ツ
タ時ニハ、日本ニ於テ贅澤デアラザルモノガ外國ニ於テ贅澤品デアルトシテ
高イ金ヲ拂ハヌケレバナラヌノデアル、ソレト同ジコトデアッテ、外國人ガ日
本ニ來テ外國ニ居ルガ如キト同様ノ考ヘデ居ルト云フコトハ抑、間違ツテ居ル
ノデアル、ドウモ日本政府ハ外國人ノ聲ト云フト兔角耳ヲ假シ過ギルト云フ
形ガアル、今日國民ハ奢侈ヲ慎ミ、節約ヲセヌケレバナラヌト云フコトハ政
府當局ガ常々高調シテ居ラレル所デアルニ拘ラズ、斯ノ如キ物品ニ付テ稅率
ヲ低下セムトスルト云フコトハ甚ダ面白カラヌコトデアル、國民ノ精神上ニ
モ鬱スルコトデアルト云フヤウナ御意見デアリマシテ、甚ダ追擊急ナルモノ
ガアリマシテ、政府委員モ辯明是レ努メラレタノデアリマス、次ニ白檀、沈
香ト云フ香料ニ對シテ贅澤品ヨリ削除セラレタノデアリマス、是ハ線香ノ原
料デアリマシテ、我國ニ於テ生産ヲシナイカラシテ贅澤品ヨリ削除スルノデ
アル、斯ウ云フノデアリマスルガ、然ルニ啻ニ我國ニ於テ產シナイ所ノ香料

ハ沈香、白檀ニ限ツタ譯デハナイ、其他ニモ天然ノ香料、人造香料等ニ於テ我國ニ於テ生産シナイ所ノモノガ澤山アルノデアル、然ルニ唯此二品ニ限ツテ贅澤品カラ削除セラル、ト云フコトハ甚ダ權衡ヲ失シハセヌカ、天然、人造ノ香料ハ化粧品等ノ工業ノ原デアルノデアル、我國ニ出來ナイモノデアル以上ハ、低稅ヲ課シテ大イニ輸入ノ獎勵ヲ圖ルベキデアル、斯ウ云フ御意見改正ノ時ニ於キマシテモ若干ノ品目ハ贅澤品ヨリ除外ヲシタノデアル、漸次調査ヲシテ除外スペキモノハ漸次削除シテ行キタイト云フ考ヘデアルガ、何分香料ノコトタル、極メテ複雜ナモノデアリマスルカラシテ、其調査ニ暇取シテモ、然ラバ果シテドノ程度ノ課稅ヲシタラバ宜カラウカト云フコトニ付テ、今回ノ改正ニ間ニ合ハナカッタモノモアルノデアリマス、一面又内地ニ於テ人造香料モ相當近頃生産サレルノデアルカラシテ、贅澤品ヨリ削除スルトシテモ、然ラバ果シテドノ程度ノ課稅ヲシタラバ宜カラウカト云フコトニ付テハ、生産ノ狀況等ニ付テ相當研究モセヌケレバナラヌ、是等ニ付テ未ダ研究ガ十分デナカッタガ爲ニ、今回ハ贅澤品削除ノ中ニハ入レナカッタ、他日ノ宿題ニ残シタモノデアル、併ナガラ御趣旨ニ於テハ至極御同感ノコトデアルカラシテ、今後成ルベク速ニ成案ヲ得テ改正ノ提案ヲ致ス考デアルト云フ言明ヲセラレテ居ルノデアリマス、次ニ今回美術品ト見ルベキ書畫、殊ニ肉筆書畫、是ハ從來贅澤品トシテ十割ノ關稅ヲ課セラレテ居ツタノデアリマスガ、近時各國ニ於キマシテモ何レモ美術ノ獎勵ト云フコトハ最モ深ク念頭ニ置イテ、美術品ノ蒐集ニハ何レノ國ニ於テモ努メテ居ル所デアル、依テ十割關稅カラ削除イタシマシテ、今回ノ改正案ニ於テハ無稅トサレタノデアリマス、ソレデ此無稅トスルト云フコトハ誠ニ政府ノ趣旨ハ結構デアル、然ルニ印刷シタル書畫ハ矢張リ今回ノ改正ニ依リマシテモ五割ノ關稅ヲ課スルト云フコトニナツテ居ルノデアル、然ルニ印刷シタル書畫ト雖モ、古イ印刷物ノ如キモノハ今日ニ於テハ寧ロ美術品ト見ルベキモノガアル、例ヘバ我國ニ於ケル浮世繪ノ印刷物ノ如キモノハ寧ロ美術品トシテ極メテ高價ナルモノデアル、印刷物トシテ取扱フヨリモ、寧ロ美術品トシテ取扱ツタガ然ルベキデアル、然ルニ之ニ對シテ五割ノ稅ガ掛カルト云フコトハ肉筆ノ書畫ノ十割削除ト權衡ガ取レナイイデハナイカ、是等ニ付テ矢張リ美術品トシテ相當肉筆ト同様ノ取扱ヲシタナラバドウカト云フ質問デアッタノデアリマス、之ニ對シテ政府ノ答ヘ

ラレル所ハ、御尤デアルケレドモ印刷シタルモノヲ、是ハ美術品デアル、是ハ美術品デナイ印刷物デアルト云フコトヲ區別スルト云フコトハ、税關ニ於ケル取扱上甚ダ困雖デアル、從テ已ムヲ得ズ印刷物ト印刷物ニアラザルモノト云フニツニ分ケタノデアルト云フコトデアリマシタガ、此點ニ付テモ今后何カ適當ナル方法ニ依ツテ區別ヲナシ得ルナラバ、區別シタ方ガ宜イト思フカラシテ、是等ノ點ハ又更ニ考ヘテ見ヤウ、斯ノ如キ答辯ヲシテ居ラレマス、

リマス、或ハ先程申上ゲマシタガ如ク食糧品ニ關シ或ハ美術品ト見ラレル印刷シタル書畫ニ關シ或ハ又贅澤輸入稅ノ削除ニ依リマシテ、之ガ爲ニ國民思想上ニ或ハ誤タル考ヲ起スト云フヤウナ惡影響ヲ齎ラスト云フヤウナコトノナイヤウニシテ貴ヒタイ、ト云フヤウナ御意見モアリマシタ、要スルニ是等ノ委員諸君ノ希望ハ今回ノ改正案ニ對シテ茲ニ之ヲ修正スルトカ云フヤウナコトハ致サナイガ、尙ホ委員會ニ於ケル論議ニ鑑ミラレマシテ、政府ニ於

テハ今後更ニ調査考究ヲ致シテ適當ニ改正スベキモノハ改正シテ貴ヒタイト云フ御希望ニ歸著スルノデアリマス、之ヲ採決イタシマシタル所滿場異議ナク、原案通り兩案トモ可決セラレマシタ、此段御報告申上ゲマス

○議長（公爵徳川家達君）兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵清岡長言君 贊成

○議長（公爵徳川家達君） 櫛笥子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 兩案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵清岡長言君 贊成
○議長（公爵徳川家達君） 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 日程第二十六、製鹽地整理ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

○議長（公爵徳川家達君） 製鹽地整理ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十二日

右特別委員長

伯爵 二荒芳徳

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵二荒芳徳君演壇ニ登ル〕

○伯爵二荒芳徳君 只今上程ニナリマシタ製鹽地整理ニ關スル法律案ニ付キマシテ特別委員會ノ經過並ニ決定ヲ御報告イタシマス、本法律案ハ全部デ八條カラ成立ツテ居ルノデアリマス、其內容ヲ申上ゲマスレバ、政府ガ鹽ノ種類及製造方法ヲ區別イタシマシテ、製鹽地區ヲ制限スルコトヲ得ルト云フ規定、更ニ此制限ニ依リマシテ製鹽ヲ禁止イタシマシタトキニハ製鹽業者、即チ鹽ヲ造リマス者及ビ製鹽地ヲ所有シテ居リマス者、並ニ製鹽ニ要スル建物、器具等ヲ所有イタシテ居リマス者ニ對シマシテ、其請求ニ依リマシテ交付金ヲ與ヘヤウト云フコト、及ビ此交付金ニ關スル條項ヲ規定イタシテ居ルノデアリマス、此法律案ニ付キマシテ政府カラハ種々詳細ナル説明ガゴザイマシタ、例ヘバ此製鹽業ト云フモノガ明治三十七八年ニ於キマシテハ、頗ル順當ニ又生産ノ上ニ於テモ相當ノ價格ヲ保ッテ居リマシタノデアリマスガ、大正七八年

以後ニ於キマシテ、植民地ノ製鹽ガ盛ニナリマシテ、是ガ内地ニ這入ッテ參リマス關係上、種々鹽ノ價格ニ異動ヲ生ジテ參ッタノデアリマス、殊ニ内地ノ鹽ノ價格ハ中々高クゴザイマシテ植民地ノ鹽ニ比較イタシマシテハ競爭ノ上ニ於テモ支障ヲ來シテ參ッタノデアリマス、此故ニ其ノ鹽ヲ買收イタシマシテ、サウシテ生産額ノ自然調節ヲ圖ラウト云フコト、又製鹽業者ノ諒解ヲ求メマシテ、或ハ命令ニ依ツテ製鹽ノ期間又ハ方法ニ制限ヲ加ヘマシテ、生産額ノ抑制ヲ企テルト云フコト、或ハ比較的不良ナル製鹽地ヲ淘汰整理イタシマシテ鹽ノ價格ノ低廉ヲ來サウト云フ色々ノ案ガアリマシタノデアリマス、サウシテ研究ノ結果遂ニ此第三案ニ依リマシテ、比較的不良ナル製鹽地ヲ整理スルト云フ計畫ヲ立テマシテ、此整理ニ關スル法律案ガ出マシタ譯デアリマス、而シテ此法律案ニ付キマシテ衆議院ハ第二條ニ關シマシテ修正ヲ致シタノデゴザイマス、ソレハ第二條ニハ鹽ヲ製造イタス者ニ對シマシテハ、若シ此製造ヲ禁止イタシマシタキニ其交付金ノ額ハ製鹽地一年間ニ納付スル鹽ノ賠償金額ノ三割ニ相當スル金額ト云ノガ政府提出ノ案デアリマス、而シテ三割ノ内二割ハ鹽ヲ製造イタシテ居リマス者ニ與ヘ、他ノ一割ハ鹽ヲ造ッテ居リマス勞働者ニ與ヘルト云フ案デアッタノデアリマスルガ、衆議院ニ於キマシテハ之ヲ三割五分ニ改メタノデアリマス、即チ勞働者ニ與ヘル一割ヲ一割五分ト致シマシタ譯デアリマス、是ハ社會政策ノ意味ヲ持ッテ居リマスノデアリマシテ、勞働者ニ成ルベク甚シキ損害ノナイヤウニト云フ意味デアッタノデアリマス、政府ハ此修正等ニ對シマシテハ同意ヲ表シテ居リマシタノデアリマシテ、而モ斯ノ如ク五分ヲ上ゲマシテモ其交付金ノ總額千三百萬圓ニハ影響ガナイ、千三百萬圓ニ於テ賄ヒ得ルト云フ答辯デアリマシタ、及ビ其六條ノ中ニ三割五分ト云フ修正ヲ致シマシタ當然ノ結果ト致シテ交付金ノ鹽製造業者ニ對シマス條項ニ付キマシテ、本來五分利付國債證券ヲ以テ與ヘルト云フコトニ規定サレテ居リマスノデ、勞働者等ニ對シテハ其交付金ヲ現金デ渡ス關係カラ交付金「ノ一部」ト云フ字ヲ訂正イタシタ譯デアリマス、此説明ヲ聽キマシテ後ニ委員カラ或ハ國家事變ノ際ニ於テ鹽ノ必要額ハ内地デドレ位要ルモノデアルカト云フ質問、又若シ戰時ニ封鎖サレマシタヤウナ場合ニ如何ニスレバ内地デ要求スル鹽ガ直ニ製作出來ルカト云フ質問モゴザイマシタ、而シテ討論ノ結果滿場一致ヲ以チマシテ此法律案ハ可決確定イタシタノデゴザイマス、右御報告ヲ申上ゲヤス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵清岡長言君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 柳筍子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○子爵清岡長言君 贊成

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵柳筍隆督君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵清岡長言君 贊成

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二十七、救護法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

救護法案

右可決スヘキモノト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十二日

右特別委員長

侯爵 佐佐木 行忠

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵佐佐木行忠君演壇ニ登ル〕

○侯爵佐佐木行忠君 本案特別委員會ノ報告ヲ申上ゲマス、特別委員會ニ於キマシテハ、改メテ政府當局ヨリ説明ヲ求メマシテ委員ヨリ質問ヲ致シマシタ、ソレハ本法案ト只今現在アリマスル太政官布告、或ハ太政官達トノ關係、又行路病人取扱ト本法案トノ關係等ニ質問ガアリマシタ、又是マデ現在斯様ナ方面ニ使ツテ居ル經費ト、本法案ガ法律トナッタ後ニ於テノ經費トハ急激ナル增加ヲ來スノデアルガ、是等ハ如何ナル理由デアルカト云フ質問ガアリマシタ、政府ハ本法案ハ大凡、衆議院ノ希望モアリマスルカラ、昭和五年度ヨリ實行シタイ、從テ本年本法案施行ニ要スル八百万圓ト云フモノハ、大約ノ見積リデアッテ、更ニ正確ナル見積リハ、來年度ノ豫算ノ時ニ於テスルノデアル、又方面委員等ニ相當ノ人ヲ得レバ、必シモ將來ニ於テ非常ニ是ガ急激ニ增加スルト云フコトモ考ヘラレナイト云フヤウナ説明ガアリマシタ、又十三歳以下ノ幼者ニ對スル生活扶助ニ付テハ教育費ガ含マレテ居ルカト云フコトガ質問ノ一ツデアリマス、是等ハ舍マレテ居ルト云フ政府ノ答辯デアリマシタ、又本法案ニ於テハ方面委員ト云フ者ガ重大ナ任務ヲ持ツノデアルガ、ソレ等ニ付テハ可ナリ精細ナル質問ガアリマシテ、政府ヨリモ十分ナ答辯ガアッタノデアリマス、ソレハ現在アリマス方面委員ト云フモノノ制度ヲ取入レテ府縣知事ガ其適當ト思フ者ヲ方面委員ニ任命シテソレデ運用スルト云フノデアル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、又細民調査、或ハ軍事救護法トノ關係ニ付テモ質問ガアリマシタ、大體質問ハソレ位ニ致シマシテ討論ニ入リマシテ討論ニ於キマシテハ一委員ヨリ本法案ハ社會政策トシテ最モ重要ナモノデアルカラ、遲滞デアルガ斯様ナモノガ施行サレルコトハ非常ニ贊成デアル、委員ノ多數ニ於テハ贊成ノ意ヲ表サレタノデアリマス、ソレカラ一委員ヨリ斯様ナ希望ガアッタノデアリマス、ソレハ本法施行ニ當リテハ救護ノ實ヲ舉クルコトニ付テ深甚ノ注意ヲ拂ハレ初ヨリ經費ノ膨大ヲ見ルガ如キ弊ナカラシメンコトヲ期セラレタシ

斯様ナ希望ガアリマシテ、是ハ全員何等ノ異議ハ無カッタノデアリマス、次デ採決ニ入リマシテ、全員何等ノ異議ナク本法案ヲ可決イタシマシタ、此段御

報告ヲ申上ゲマス
○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵清岡長言君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 櫛笥子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵清岡長言君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 櫛笥子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十八、造幣局特別會計法中改正法律案、第二十九、日本興業銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

ノ續、委員長報告

造幣局特別會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十二日

右特別委員長 伯爵 二荒芳徳

貴族院議長公爵徳川家達殿

日本興業銀行法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十二日

右特別委員長 伯爵 二荒芳徳

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長 公爵徳川家達君 二荒伯爵ノ登壇ヲ望ミマス

〔伯爵二荒芳徳君演壇ニ登ル〕

○伯爵二荒芳徳君 只今上程ニナリマシタ造幣局特別會計法中改正法律案ニ付キマシテ、特別委員會ノ御報告ヲ致シマス、此法律案ハ特別會計法ニ依リ

マシテ第二條第二項ニ造幣局ノ資金ノ規定ガゴザイマス、ソレハ大正四年度末ニ於テ現在ノ貨幣整理資金特別會計法所屬ノ資金ヲ以テ之ニ充テルト云フ

條項ガアリマス、其次ニ左ノ一項ヲ加ヘルノデアリマス、ソレハ貨幣鑄造ノ準備トシテ必要ナル材料地金ハ資金ヲ以テ之ヲ保有スルコトガ出來ル、更ニ

其二條ノ二ニ、製造濟ノ補助貨ニアッテ年度内ニ發行ヲ致シマセヌモノ、即チ鑄造イタシタ儘ノモノハ之ヲ資金ニ受入レテ保有ヲスル、即チ地金トシテ保有スルコトガ出來ル、ソレカラ第六條ニ作業上ノ益金ガ生ジタトキニハ之ヲ資金ニ編入シ、損失ガ生ジマシタトキニハ之ヲ資金カラ填補スルト云フ三箇條デアリマス、尙ホ他ニ明治四十五年法律第一號ニ依リマシテ清國事件費支辨ノ爲ニ繰替使用シマシタ所ノ造幣局資金二百二十八万七百九十七圓五十七錢五厘及大正五年法律第四號ニ依リマシテ、大正三年ノ臨時事件費ノ支辨ニ繰替使用イタシマシタ所ノ造幣局資金三百五十萬圓ニ付テハ、之ニ相當イタシマス金額ヲ造幣局資金カラ減額シテ整理スルコトガ出來ル、斯ウ云フ案デアリマス、此改正案ニ付キマシテハ、別ニ大シタ質問モゴザイマセヌデ、政府ノ説明ヲ諒トシマシテ、可決確定イタシタノデアリマス、次ニ日本興業銀行法中ノ改正法律案ニ付テ報告ヲ申上ゲタイト存ジマス、日本興業銀行法ニハ其三章ノ第九條ニ於キマシテ、營業ノコトヲ規定イタシテ居ルノデアリ

マス、其九條ノ二ノ一部分ヲ改正イタシタイト云フノガ此法律案提出ノ目的デゴザイマシテ、其九條ノ二ニハ、日本興業銀行ハ工場ニ屬スル敷地又ハ建物竝ニ市制施行地及勅令指定ノ市街地ニ存スル宅地又ハ建物ヲ擔保ト致シテ、當座貸又ハ定期貸ヲスルコトガ出來ルト云フ規定ガアルノデアリマスルコトガ出來ナイト云フ規定ガアルノデアリマス、然ルノラ今回三分ノ二ニ致シタイト云フノガ此法律案提出ノ理由デアルノデゴザイマス、此理由ハ震災以後ニ於キマシテ、興業銀行ノ貸出ガ非常ニ増加ヲ致シマシテ、サウシテ所謂二分ノ一ノ制限ニ將ニ達シヤウトシテ居ルノデアリマス、此故ニ之ヲ三分ノ二ニ致シマシテ、十分ニ此九條ノ二ニ規定イタシマシタ所ノ目的ヲ達セシメヤウト云フ譯デゴザイマス、之ニ付キマシテモ本特別委員會ハ政府ノ説明ヲ諒ト致シマシテ滿場一致ヲ以テ可決確定イタシタノデゴザイマス、御報

告ニ及ビマス
○議長(公爵徳川家達君) 只今二荒特別委員長ノ報告セラレマシタ兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ
○議長(公爵徳川家達君) 〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○子爵櫛笥隆督君 直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス
○子爵清岡長言君 贊成
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
○子爵櫛笥子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
○議長(公爵徳川家達君) 〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
○議長(公爵徳川家達君) ラ全案全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
○子爵櫛笥隆督君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵清岡長言君 贊成
○議長(公爵徳川家達君) 〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君）兩案共第二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシト呼フ者アリ」

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君）日程第三十三、會議、委員長報告

昭和二年歲入歲出總決算並昭和二年各特別會計歲入歲出決算及既往年度
檢查未確定金額ノ検査確定シタルモノヲ審査シ

第一

昭和二年歲入歲出總決算歲入經常部第一款租稅第八項酒稅中川越稅
務署ノ收入未濟ニ係ル件、第三款官業及官有財產收入第一項郵便電信
及電話收入中遞信省ニ於テ歲入ニ編入スヘキ件

昭和二年歲入歲出總決算歲出臨時部司法省所管第六款議員總選舉檢
察費第二項衆議院議員總選舉檢察費中司法省及神戸地方裁判所ノ支出
ニ係ル件

昭和二年歲入歲出總決算歲出臨時部遞信省所管第二十三款災害費第
六項札幌及仙臺遞信局區內電信電話線路風雪害復舊費中札幌遞信局ノ
支出ニ係ル件

昭和二年各特別會計歲入歲出決算大藏省所管朝鮮總督府歲出經常部
第十五款專賣局第二項事業費中大邱專賣支局ノ支出ニ係ル件

昭和二年各特別會計歲入歲出決算大藏省所管樺太廳歲出臨時部第二
款官行砍伐費第一項官行砍伐費中樺太廳ノ支出ニ係ル件、第三款特別
事業費第二項鐵道建設費中樺太廳鐵道事務所ノ支出ニ係ル件

昭和二年各特別會計歲入歲出決算陸軍省所管陸軍造兵廠歲出第一款
陸軍造兵廠作業費第三項材料素品費中陸軍造兵廠火工廠ノ支出ニ係ル
件

昭和二年各特別會計歲入歲出決算農林省所管米穀需給調節歲出第一
款米穀需給調節費第五項營繕費中農林省農務局ノ支出ニ係ル件

昭和二年各特別會計歲入歲出決算鐵道省所管帝國鐵道資本勘定歲出

第一款鐵道建設及改良費第二項改良費中鐵道省ノ支出ニ係ル件
官金中國庫金ノ運用ニ關スル件

官有物中朝鮮總督府ニ於テ礦業權ノ無償讓渡ニ係ル件
大正十五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管專賣局歲出第一款專賣
局作業費第三項材料素品費中大阪地方專賣局ノ支出ニ係ル件

大正十五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管朝鮮總督府歲入經常部
第一款租稅第八項關稅中仁川稅關ノ徵收不足ニ係ル件

昭和元年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管臺灣總督府歲入臨時部
第一款官有物拂下代第一項官有物拂下代中臺中州ノ徵收ニ係ル件
大正十五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管臺灣總督府歲入臨時部
右ハ政府ノ措置穩當ヲ闕クモノト認ム

第二

昭和二年歲入歲出總決算歲入經常部第一款租稅第一項所得稅中久留
米稅務署、永代橋稅務署、久留米稅務署、南稅務署、幸橋稅務署、北
稅務署、永代橋稅務署、兩國橋稅務署、網走稅務署、岸和田稅務署、
淀橋稅務署、永代橋稅務署、淀橋稅務署、葛城稅務署、奈良稅務署、
下京稅務署、名古屋稅務署、幸橋稅務署、伊丹稅務署、淀橋稅務署、
品川稅務署、品川稅務署、上京稅務署、神戸稅務署、板橋稅務署、淀橋稅務署、
富山稅務署、富山稅務署、上京稅務署、網走稅務署、奈良稅
務署ノ徵收過ニ係ルモノ七件、第三項營業稅中南稅務署、網走稅務署、奈良稅
務署ノ徵收不足ニ係ルモノ三件、下京稅務署、德島稅務署、富山稅務
署、神戸稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ四件、第四項資本利子稅中永代橋
稅務署、兩國橋稅務署、下京稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ三件、第四
款雜收入第二項懲罰及沒收金中安濃津地方裁判所ニ於テ歲入ニ編入ス
ヘキ件、京都地方、區裁判所ニ於テ歲入ニ編入スヘキ件

昭和二年歲入歲出總決算歲出經常部陸軍省所管第二款軍事費第九項
船營費中橫須賀、吳及佐世保海軍經理部並舞鶴要港部ノ支出ニ係ル件、
橫須賀、吳及佐世保海軍經理部並舞鶴要港部ノ支出ニ係ル件

昭和二年歲入歲出總決算歲出經常部遞信省所管第三款遞信費第二項遞
信費中第三項材料素品費中陸軍造兵廠火工廠ノ支出ニ係ル件

信事業費中大阪遞信局ノ支出ニ係ル件、名古屋遞信局ノ支出ニ係ル件、第三項諸拂戻立替及補填金中貯金局ノ支出ニ係ル件、第六款諸支出金第一項諸支出金中遞信省ノ支出ニ係ル件

昭和二年歲入歲出總決算歲出臨時部內務省所管第二款治水事業費第二項河川費中內務省新潟土木出張所ノ支出ニ係ル件、第二十八款帝都復興事業費第一項東京復興費中復興局ノ支出ニ係ル件、第二項事務費

中復興局東京第一出張所外四出張所ノ支出ニ係ル件
昭和二年歲入歲出總決算歲出臨時部司法省所管第二款營繕費第十一

項陪審法廷及陪審員宿舍其ノ他新營費中宮城控訴院、廣島外六地方裁判所ノ支出ニ係ル件、第十六項新營費中司法省ノ支出ニ係ル件、第七款恩赦執行費第一項恩赦執行費中廣島、山口、松江各地方裁判所ノ支

出三保ル件

昭和二年歲入歲出總決算歲出臨時部遞信省所管第五款電話交換擴張費第二項事業費中大阪遞信局ノ支出ニ係ル件、東京遞信局ノ支出ニ係ル件、第六款電信擴張及改良費第二項事業費中大阪遞信局ノ支出ニ係ル件、東京遞信局ノ支出ニ係ルモノ二件、遞信省ノ支出ニ係ル件、第二十二款震災復舊及新營費第一項電信電話施設費中東京遞信局ノ支出

二係ル件、第二項郵便局舍其他新營費中東京遞信局ノ支出ニ係ル件、
第二十三款災害費第四項丹後地方電信電話震災復舊費中大阪遞信局ノ

昭和二年各特別會計歲入歲出決算內務省所管健康保險歲出第一款健康保險事業費第二項事務費中福岡健康保險署ノ支出ニ係ル件、第三項保険給付費中廣島健康保險署ノ支出ニ係ル件

昭和二年各特別會計歲入歲出決算大藏省所管國債整理基金歲出第一款國債整理基金支出第一項國債整理基金支出中大藏省ノ支出ニ係ル件

第三款官業及官有財產收入 第三項森林收入 中朝鮮總督府ノ徵收ニ係ル
モノ二件、咸鏡南道新興郡ノ徵收ニ係ル件、歲出臨時部第四款補助費
第四項土木費補助中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル件、朝鮮鐵道用品資金歲

出第一款朝鮮鐵道用品費第二項用品及工作費中朝鮮總督府鐵道局ニ於テ豫算額ニ超過シ契約ヲ爲シタル件

四件、第三款官業及官有財產收入第二項森林收入中網走營林區署ニ於

テ收入ニ至ラサリシ件

大正十五年度歲入歲出總決算歲入經常部第一款租稅第一項所得稅中京橋

昭和元年 稅務署、南稅務署、幸橋稅務署、神田橋稅務署、西稅務署ノ徵收不足

ニ係ルモノ五件、姫路稅務署、橫濱稅務署、魚津稅務署、秩父稅務署、

玉造稅務署、幸橋稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ六件、第三項營業稅中兩

國橋稅務署、京橋稅務署、京橋稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ三件

大正十五年 稅務署、幸橋稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ六件、第三項營業稅中兩

費補助第一項震災土木費補助中神奈川縣ノ支出ニ係ル件

大正十五年 稅務署、京橋稅務署、京橋稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ三件

昭和元年 稅務署、京橋稅務署、京橋稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ三件

大正十五年 稅務署、京橋稅務署、京橋稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ三件

第二
其他異議ナシ

右之通議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十日

決算委員長
侯爵 四 條 隆 愛

貴族院議長公爵德川家達殿

昭和二年三月三十一日現在國有財產現在額總計算書ヲ審査シ總テ異議ナキ

モト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十日

決算委員長
侯爵 四 條 隆 愛

貴族院議長公爵德川家達殿

昭和二年三月三十一日現在國有財產現在額總計算書ヲ審査シ總テ異議ナキ

モト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十日

決算委員長
侯爵 四 條 隆 愛

貴族院議長公爵德川家達殿

昭和二年三月三十一日現在國有財產現在額總計算書ヲ審査シ總テ異議ナキ

モト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十日

〔侯爵四條隆愛君演壇ニ登ル〕

○侯爵四條隆愛君 昭和二年 稅務署ノ決算ニ付キマシテ委員會ノ經過及結果ヲ御

報告イタシマス、同年度ノ經常歲入ハ十四億八千四百七十七萬餘圓、臨時歲

入五億七千七百九十七萬餘圓合計二十億六千二百七十五萬餘圓デアリマシテ

之ニ對スル歲出ハ經常部十一億七千五百七十二萬餘圓デアリマス、歲入歲出ノ

差引ハ二億九千七百三萬餘圓ノ剩餘トナツテ居リマス、又同年度ノ特別會計ハ

三十二會計トナツテ居リマシテ、其金額ハ頗ル煩雜デゴザイマスカラ、茲ニ省

略イタシマス、該年度ノ決算ハ各分科ニ付託イタシマシテ、ソレゾレ其内容ノ審査ヲ致シ、委員會、決算委員會ニ於キマシテ、各分科主査ノ報告ヲ議題ニ供シテ、審査イタシマシタ結果、同年度ニ於テ政府ノ處置穩當ヲ缺クト認メタルモノ十五件、次ニ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スベキモノト認メタルモノ三百二十四件、其他ハ總テ異議ナシト議決イタシマシタ、其各件ニ付キマシテハ一々此處デ申上ゲマセヌカラ、御手許ニ配付イタシマシタ報告書デ御覽ヲ願ヒマス、尙ホ決算委員會ニ於キマシテ同年度ノ審査ヲ終リマスル時ニ、或一委員カラ此決算ノ審査ニ付テノ意見ヲ御提出ガゴザイマシテ、委員會ノ決議トハ致サナイデ、斯ウ云フ意見ガアッタ云フコトヲ此議場デ皆様ニ御報告シテ貴ヒタイト云フコトデ、滿場一致之ヲ認メタ次第デゴザイマス、其御申出ヲ是カラ讀ミマス「貴族院決算委員會ノ實際ヲ見ルニ、會計検査院ノ論告ニ基キ、政府當局ノ辯明ヲ聞キ、其辯明ヲ以テ満足スレバ異議ナシトスレドモ、不都合ト認ムルモノヲ不當トシ、稍、輕キモノヲ不穩當トシ、之ニ次グモノニハ將來ノ注意ヲ促スニ止ムルコト、ナリ居レリ、今貴族院委員會ト會計検査院トノ間ニ於ケル調査ノ相違ヲ見ルニ、會計検査院ハ検査官ヲ派遣シテ實際ヲ調査シテ意見ヲ立ツルモノナレバ、相當ノ根據ニ基キ論告ヲ下スコトヲ得ルガ、貴族院ハ然ラズ、席上ノ説明ヲ聞イテ判断スルヨリ外ニ途ナシ仍テ政府ノ辯明尤モラシクバソレニ動カサレ易シ、然ラザル場合ハ反対ノ結果ヲ見ルコトモアラム、仍テ或時ハ政府ノ過失ヲ看過スルコトモアレバ、又政府ノ處置ニ對シ苛酷ナル判断ヲ下スコトナシトセズ、假ニ委員會ハ判断ヲ誤ラズ、不都合ナル點ヲ指摘シテ、不當ト決定シタリトスルモ、ソレガ貴族院ノ記錄ニ保存セラル、ニ止マリ、政府トシテハ敢テ苦痛ヲ感ズルモノニアラズ、殊ニ不當ノ判決ヲ受クル場合、内閣ハ既ニ更迭シ、又責任アル官吏ハ既ニ退職シタル後ニアルコト多シ、要スルニ決算委員會ハ今日ノ實際ヨリ見レバ財政監督ノ機關トシテハ極メテ微力ノモノト云ハザルヲ得ズ、仍テ決算委員會ハ一層有效ナル機關タラシムルコトニ努力スルコトヲ要ス」、右ニ關聯シテ二三ノ注意ヲ附記スレバ「轉任又ハ退職シタル官吏ヲシテ、在官當時ノ職務ニ付キ責任ヲ有セシムル方法ヲ講ズルコト、豫算ヲ決算ト同一委員ニ付託シ、決算ト關聯シテ豫算ヲ決定セシムルコト、帝國議會ノ決算委員會ニ於キマシテ、委員會ハ一層有效ナル機關タラシムルコトニ努力スルコトヲ要ス」、右ニ關聯シテ二三ノ注意ヲ附記スレバ「轉任又ハ退職シタル官吏ヲシテ、在官當時ノ職務ニ付キ責任ヲ有セシムル方法ヲ講ズルコト、豫算ヲ決算ト同一委員ニ付託シ、決算ト關聯シテ豫算ヲ決定セシムルコト、帝國議會ノ決算委員會ニ於キマシテ、委員會ハ一層有效ナル機關タラシムルコトニ努力スルコトヲ要ス」、右ニ關聯

條項ヲ皆サンニ御報告ヲ申上ゲテ置ケト云フコトデ、委員會ハ全部一致デ之ヲ、此御報告ヲ申上ゲルコトニナリマシタ、次ニ國有財產ノ審議ニ付テ申上ゲマス、茲ニ國有財產即チ大正十五、昭和元年度國有財產增減總計算書、昭和二年三月三十一日現在國有財產現在額總計算書及昭和二年歲入歲出總計算書ニ關スル審査ノ報告ヲ致シマス、先づ大正十五、昭和元年度國有財產ノ増減ニ付テ申上ゲマスレバ、同年中ノ增加額ハ十一億八千五百万餘圓デアリマシテ、減少シタル額ハ四億九千八百五十六萬餘圓デ、之ヲ差引キマス時ハ六億八千六百四十三萬餘圓ノ增加トナツテ居リマス、次ハ昭和二年ノ三月三十日現在、國有財產現在額總計算書、是ハ國有財產法ノ規定ニ依リマシテ五年ニ一回政府ヨリ提出セラル、モノデアリマシテ、昭和二年三月三十一日現在ノ國有財產ハ七十二億五千七百二十四萬餘圓トナツテ居リマス、次ニ昭和二年歲入歲出總計算書、即チ昭和二年中ニ於ケル國有財產ノ增加額ハ五億三千三百二十四萬餘圓、其減少額ハ二億八千七百八萬餘圓差引二億四千六百十六萬圓ノ增加トナツテ居リマス、此二様ノ國有財產ノ審査ハ、決算委員會ニ於テ小委員十二名ヲ選定シテ、先づ其内容ノ審査ヲ付託イタシマシタ、小委員會ニ於キマシテハ今回初メテ國有財產ノ現在總額ニ付テノ審査ヲ致スコトデアリマスレバ、茲ニ審査方針ナルモノヲ定メテ之ニ基イテ其審査ヲ遂ゲ、其經過竝ニ結果ヲ決算委員會ニ報告サレマシタ、其審査ノ方法ヲ茲ニ申上ゲマスト、一、該計算書ニ計上スル國有財產ノ數量及價格ハ正確ナリヤ否ヤ、二、該計算書ニハ現行法令上、之ニ掲載スベキモノト定メラレタル一切ノ國有財產ヲ計上シタリヤ、又該計算書ニ計上スベキ國有財產ノ範圍ハ果シテ適當ナリヤ否ヤ、三、國有財產ノ價格算定ノ方法竝ニ其適否、四、國有財產增減ノ事由、五、雜種財產トシテ處分シ得ベキ財產ノ狀況ニ關スル事項、六、國有財產ノ整理ニ關スル事項、七、國有財產ノ得有、沽賣及利用ニ關シ不當トシテ會計検査院ノ檢查報告書ニ掲記シアル事項、是ダケノ項目ニ分ケテ審査イタシマシタ、決算委員會ニ於キマシテハ、小委員會ノ報告ヲ議題ト致シマシテ審議イタシタ結果、御手許ニ配付シタ所ノ北海道國有未開地賣拂ノ件、並ニ神奈川縣ニ於テ有料官舍ヲ義務官舍トナシテ宿代ヲ免除シタル件ニ對シテ將來ノ注意ヲ促スベキモノト認メ、其他ハ總テ異議ナシト議決テ不當トシ、又ハ不穩當トシタル事項ニ對シテハ、政府ヲシテ將來ニ對スルイタシマシタ、次ニ御報告イタシテ置キタイノハ該計算書ヲ審査スルニ當リマシテ各省所管ニ瓦ツテ國有財產トシテ該計算書ニ登録セラルベク思ハレル

モノガ脱漏シテアルノヲ發見イタシマシタ、例ヘテ見マスレバ内務省デハ道路、港灣、河川等ノ公用財産、是ハ法律上猶豫期間ガ設ケテゴザイマスノデ、表向イテハ載セナクテモ宜イ筈デアリマスケレドモ、其猶豫期間モ隨分過ギテ居リマスカラシテ、何トカ方法ヲ執ラレタラバ宜カラウト云フコトデアリマス、又神社敷地ハ其坪數ヲ計上シテアリマスケレドモ、其價格ガ掲載シテアリマセヌ、ソレカラ大藏省ノ所管デハ預金部等ニ保有スル債券、ソレカラ遞信省所管デハ簡易保險ノ積立金ニ依リ得タル債券、陸軍省デハ所管ノ軍馬、農林省デハ國有種馬、或ハ國有種牛等、是等ハ將來計上セラレルヤウニセラレタイ、又海軍デハ飛行船ノヤウナモノモ計上シテアリマセヌ、又各植民地ノ國有財產モ該年度ニハ計上シテ居リマセヌ、現今ノ法規デハ是ハ計上シナイコトニナツテ居リマスガ、是等モ計上スル必要ガアリハシナイカト云フコトデゴザイマス、以上ハ政府ニ於テ法規上當分ノ内臺帳ニ計上ヲ要セヌトカ、或ハ法規ノ解釋上、ソレ等ノモノハ舍マナイト云フコトノ説明ヲシテ居リマスガ、是等ハ政府ニ於テ將來何ト考究ヲセラレタイト云フノデ、此決算委員會ハ次ノ希望條項ヲ決議イタシマシタ、希望條項

一、現行ノ規定ニ依レバ國有財產ノ臺帳ニ登錄セラルベキ國有財產ノ範圍ハ狹キニ過ギ實狀ニ適セザルノ嫌アリ政府ハ將來適當ニ關係法令ヲ改正シ國有財產臺帳ニ登錄セラルベキ國有財產ノ範圍ヲ擴張セラレムコトヲ

望ム

二、政府ハ國有財產法ヲ速ニ各植民地ニ施行スルノ措置ヲ執ラレムコトヲ

望ム

此二項ヲ決議イタシマシタ、右御報告申上グマス

○議長(公爵徳川家達君) 決算委員長ノ報告ヲ可トセラル、諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本院規則第五十八條ニ依リマシテ延會ヲ宣告イタシマス、明日ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後五時六分散會

昭和四年三月二十三日